

実態把握のための調査実施結果報告書

(市民アンケート)

平成 27 年 12 月
横浜市こども青少年局

目 次

1. 調査の概要.....	1
(1) 調査の目的.....	1
(2) 調査実施方法等の概要.....	1
(3) 調査票の回収状況.....	1
(4) 調査内容.....	1
(5) 貧困線の水準の設定について.....	2
(6) 集計結果の示し方について.....	2
2. 調査結果.....	3
(1) 回答者の属性・世帯類型.....	3
①調査対象、回答者の属性.....	3
②世帯主の属性、世帯員の状況.....	5
(2) 経済的貧困の状況.....	7
①「貧困線」を下回る世帯で生活する子どもの割合.....	7
②「貧困線」を下回る世帯の割合.....	8
③可処分所得の分類別の世帯所得の状況.....	9
(3) 社会的排除・剥奪の状況.....	11
①主観的貧困（暮らし向きに対する認識）.....	11
②基本ニーズ（食料・衣料）.....	12
③物質的剥奪（子どもが必要とする文具・教材）.....	14
④医療へのアクセス.....	15
⑤外出等の状況（旅行、外食）.....	17
⑥家族での買い物.....	19
(4) 住まいの状況.....	20
①住居の状況.....	20
②借入金の有無.....	21
③家賃等滞納の有無.....	23
④転居の有無.....	24
(5) 就業の状況.....	25
①就業の有無、離職・転職経験.....	25
②ダブルワーク等の状況.....	27
③就業形態.....	29
④就労意向、働けない理由.....	30

(6) 健康状態.....	32
①保護者の健康状態	32
②保護者の病気・障害等の有無.....	33
③子ども・若者の健康状態.....	35
④子ども・若者の障害等の有無.....	36
(7) 子どもが置かれている生活環境（基本的生活習慣）	37
①朝の起床.....	37
②朝食の摂取	38
③「孤食」の状況.....	39
④入浴の状況	40
(8) 子どもが置かれている学習・進学に関する環境.....	41
①保護者の学習・進学に関する期待意識	41
②保護者の勉強への関与	43
③学習塾等習い事の状況	44
④子どもの学校等での成績の状況	47
⑤経済的な理由による進学断念経験	48
⑥不登校経験	49
⑦子ども・若者の最終学歴.....	50
⑧学校等卒業後の就業等の状況.....	52
(9) 貧困の背景、貧困の連鎖.....	54
①保護者自身の親との関係性.....	54
②配偶者間の関係性	56
③学歴の再生産.....	57
(10) 必要としている支援	59
①子どものことについての悩み.....	59
②子どもにとってあるとよいと思う支援	63
③学習支援制度の利用意向.....	67
④相談相手の有無.....	69
3. 参考資料	71
(1) 調査票.....	71
(2) 集計値	89

1. 調査の概要

(1) 調査の目的

本市において、相対的貧困¹の状況にある世帯（国の貧困線の水準を下回る世帯）で生活する子どもの推計に必要な情報（世帯人員数、所得の水準等）を把握すること、ならびに、各世帯における生活の様子や物質的剥奪²の状況、保護者や子ども・若者の健康状態、就業の状況等を把握し、「貧困」の状態にあると考えられる方の状況を様々な観点から分析することを目的に、アンケート調査を実施した（以下、「市民アンケート」と表記）。

(2) 調査実施方法等の概要

市民アンケートは、平成27年4月1日現在で、年齢が0歳から24歳未満の子ども・若者がひとり以上いる世帯のうち、6,000世帯を対象にして実施した。アンケート調査票を対象となる各世帯に郵送で配布し、同封の返信用封筒にて返送いただいた。調査期間は平成27年8月7日から8月24日までとし、期間中に1回、御礼状兼督促状の発送を行った。

なお、調査対象の子ども・若者が保護者の方と住居と生計を共にしている場合には保護者に回答していただき、ひとり暮らしをしている場合や自ら生計を立てている方の場合には、子ども・若者本人に回答いただくようにした。

(3) 調査票の回収状況

有効回答数、有効回答率は以下の通りである。

配布数	有効回答数	有効回答率
6,000	2,657	44.3%

(4) 調査内容

本報告書では、アンケート結果について、「経済的貧困の状況」、「社会的排除・剥奪の状況」、「住まいの状況」、「就業の状況」、「健康状態」、「子どもが置かれている生活環境（基本的生活習慣）」、「子どもが置かれている学習・進学に関する環境」、「貧困の背景、貧困の連鎖」、「必要としている支援」の各観点から分析した結果を順に掲載した。

¹ 「相対的貧困」とは、一定基準（貧困線）を下回る等価可処分所得しか得ていない状況にあることを指す。なお、「等価可処分所得」とは、世帯の可処分所得（収入から税金・社会保険料等を除いたいわゆる手取り収入）を世帯人員の平方根で割って調整した所得をいう。「貧困線」とは、等価可処分所得の中央値の半分の額をいう。（厚生労働省「国民生活基礎調査」より）

² 「物質的剥奪（material deprivation）」とは、貧困の状態について、「金銭的な」または「インプット」側の指標ではなく、「非金銭的な」「アウトプット」側の側面に着目した際に用いられる概念・用語であり、社会において最低限必要な物が得られていない状況をいう。（OECD「Growing Unequal? INCOME DISTRIBUTION AND POVERTY IN OECD COUNTRIES」(2008)より）

(5) 貧困線の水準の設定について

貧困の状況にあると考えられる方の把握にあたり、市民アンケートでは、「貧困線」の水準について、以下のように、国が国民生活基礎調査により定めている基準を基にして設定した。

【国民生活基礎調査による方法】

- 所得額（万円単位で把握）、課税等の額（千円単位で把握）、ならびに世帯人員数の情報から、「等価可処分所得」を算出し、等価可処分所得の中央値の半分の額を貧困線として定める。（貧困線は、平成 24 年データでは 122 万円。世帯の可処分所得額としては、2人世帯の場合は 173 万円に相当）
- 「等価可処分所得」は、世帯の可処分所得（収入から税金・社会保険料等を除いたいわゆる手取り収入）を世帯人員の平方根で割って調整した所得として算出する。

【市民アンケートによる方法】

- アンケート調査票で世帯の可処分所得額について世帯員人数別に 6 段階の選択肢を設定し、いずれに該当するかを回答していただいた。
- 6 段階の選択肢は、国民生活基礎調査による方法で定められた貧困線の基準を基に設定し、下から 2 つ目までの選択肢に回答した世帯を貧困線以下に該当するものと判断した。
- 貧困線以下とする水準は、世帯員人数が 1 人の場合には「120 万円未満」、2 人の場合は「175 万円未満」（以下、世帯員人数に応じて設定）とした。

【調査票での世帯人員別可処分所得の水準】

世帯員 人数	可処分所得の水準						(参考) 国の貧困線 の基準
	分類Ⅰ	分類Ⅱ	分類Ⅲ	分類Ⅳ	分類Ⅴ	分類Ⅵ	
1 人	60 万円未満	120 万円未満	180 万円未満	240 万円未満	300 万円未満	300 万円以上	122 万円
2 人	85 万円未満	175 万円未満	260 万円未満	345 万円未満	430 万円未満	430 万円以上	173 万円
3 人	105 万円未満	210 万円未満	315 万円未満	420 万円未満	525 万円未満	525 万円以上	211 万円
4 人	120 万円未満	245 万円未満	365 万円未満	485 万円未満	605 万円未満	605 万円以上	244 万円
5 人	135 万円未満	275 万円未満	410 万円未満	545 万円未満	680 万円未満	680 万円以上	273 万円
6 人	150 万円未満	300 万円未満	450 万円未満	600 万円未満	750 万円未満	750 万円以上	299 万円
7 人	160 万円未満	325 万円未満	485 万円未満	645 万円未満	805 万円未満	805 万円以上	323 万円

※調査票では世帯員人数が「8 人」の場合、「9 人以上」の場合について選択肢を用意していたが、該当する回答者はいなかった。

※参考として掲載した国の貧困線の基準は平成 24 年データに基づくものである。

(6) 集計結果の示し方について

結果数値 (%) は小数点第 2 位を四捨五入して表示しているため、内訳の計が合計 (100%) に一致しないことがある。なお、図表中に示した「n=○○」という表記は、質問に対する回答者数で、100%が何人の回答に基づくものかを示している。

2. 調査結果

(1) 回答者の属性・世帯類型

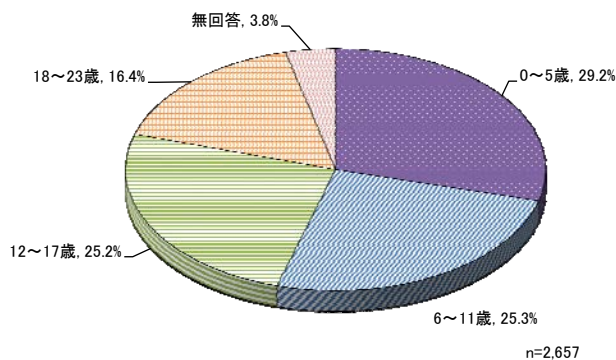
①調査対象、回答者の属性

回答が得られた 2,657 件について、宛名の子ども・若者の年齢段階別にみると、「0～5 歳」が 29.2% と若干多く、「18～23 歳」が 16.4% と若干少なくなっている（図表 1-1-1）。なお、兄弟姉妹を含めて、世帯員に含まれる子ども・若者の状況についてみると、「12～17 歳」の子どもがいる世帯が 38.0% となっており、中学生～高校生段階の子どもが含まれる世帯が最も多くなっている（図表 1-1-2）。

回答者に関しては、「母親」が 69.1%、「父親」が 28.7% となっている（図表 1-1-3）。なお、市内の 18 区すべてから回答が得られており、「青葉区」が 10.2% と最も多くなっている（図表 1-1-4）。

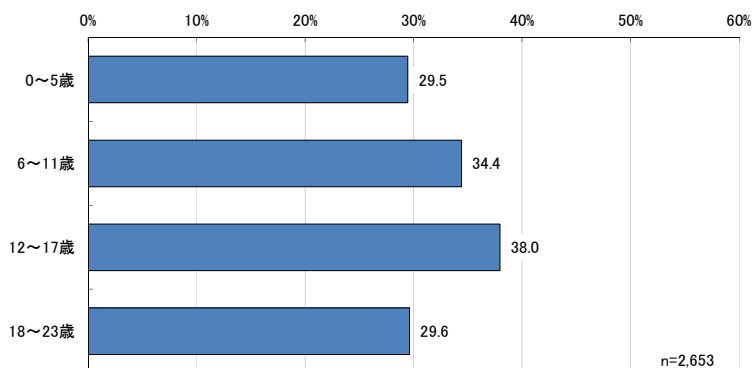
設問 宛名でお送りさせていただいた 0 歳から 24 歳未満の方のことに、また、その兄弟姉妹のことに、それぞれ以下の①～⑨の点について教えてください（問 9①生年月）

図表 1-1-1 宛名の子ども・若者の年齢段階



設問 世帯員のうち、子ども・若者（平成 27 年 4 月 1 日現在 0 歳から 24 歳未満の方）の人数について教えてください（問 4）

図表 1-1-2 世帯に含まれる子ども・若者の年齢段階



※子どもの年齢段階別の人数を回答いただいた設問に、それぞれ 1 人以上と回答があった世帯の割合を求めた
 ※子どもの年齢段階別人数について無回答を除く

②世帯主の属性、世帯員の状況

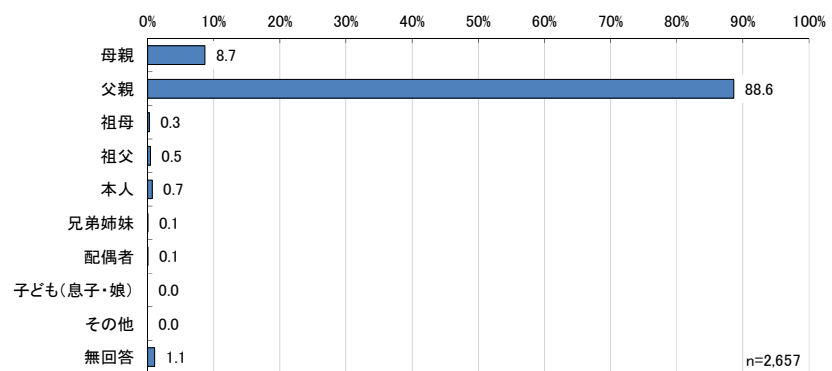
世帯主に関しては、「父親」である場合が 88.6%、「母親」である場合が 8.7%で、「本人」の場合は全体の 0.7%となっている（図表 1-2-1）。なお、世帯主の年齢は、「40~49 歳」が 43.1%と最も多くなっている（図表 1-2-2）。

世帯員の構成について、まず、ひとり親世帯か否かについてみると、「該当する」との回答は合わせて 8.8%となっている（図表 1-2-3）。なお、理由別には「離婚」による場合がもっとも多く、全体で 6.3%が該当している。

世帯員人数は、ひとり親世帯に該当する場合には「2 人」が 41.1%と最も多く、ひとり親世帯に該当しない場合には、「4 人」が 45.9%と最も多くなっている（図表 1-2-4）。なお、世帯員に含まれる方の属性に関して、ひとり親世帯に該当する場合には、「祖母」や「祖父」が世帯に含まれる割合が若干高くなっている（図表 1-2-5）。

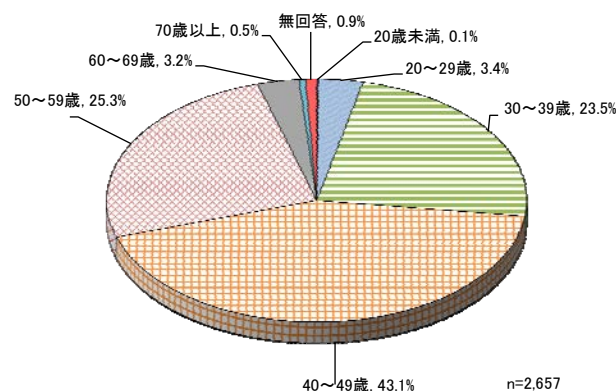
設問 あなたの世帯の世帯主（家計の主たる収入を得ている人）はどなたですか。宛名でお送りさせていただいた 0 歳から 24 歳未満の方からみた続柄についてお教えてください（問 6）

図表 1-2-1 世帯主の属性



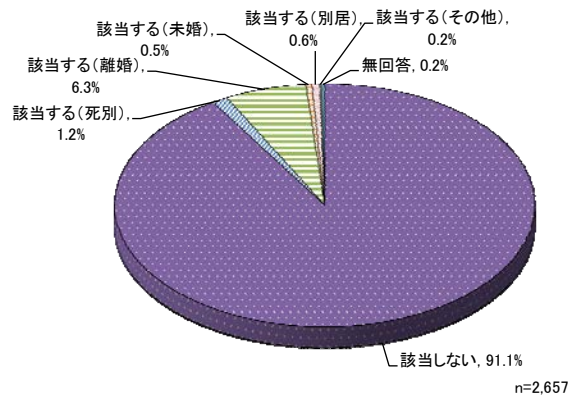
設問 あなたの世帯の世帯主の方の生年月（西暦）についてお教えてください（問 7）

図表 1-2-2 世帯主の年齢



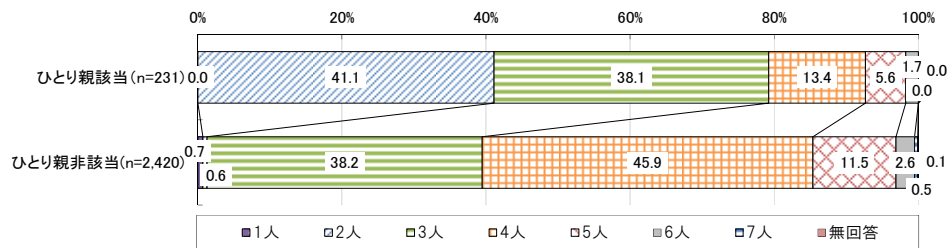
設問 あなたの世帯は「ひとり親世帯」に該当しますか（問 8）

図表 1-2-3 ひとり親世帯の該当の有無



設問 普段一緒にお住まいで、生計を共にしている方（世帯員）は、あなたを含めて何人ですか（問 3）

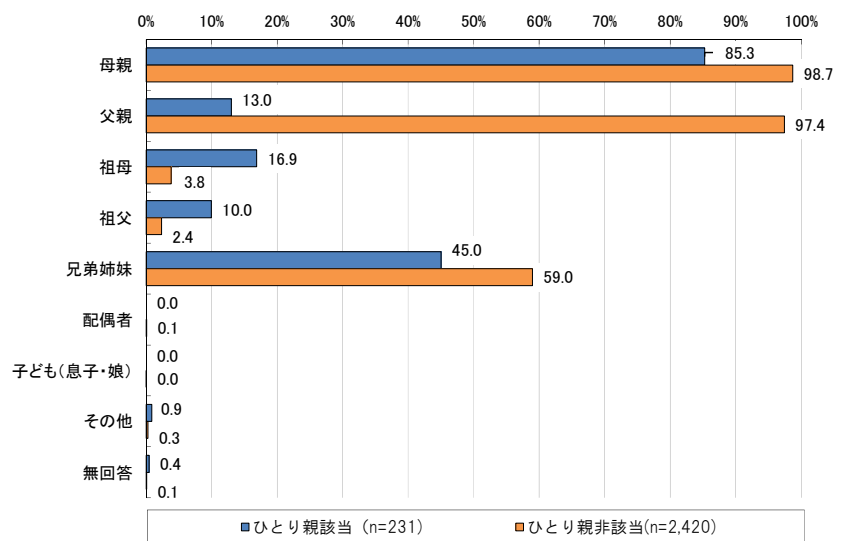
図表 1-2-4 世帯員人数



※ひとり親か否かの設問に対して無回答であったものを除いて集計している

設問 あなたの世帯に含まれる方全員の、宛名でお送りさせていただいた0歳から24歳未満の方から見た続柄について教えてください（問 5・複数回答）

図表 1-2-5 世帯員の属性



※ひとり親か否かの設問に対して無回答であったものを除いて集計している。なお、「本人」との回答は全ての世帯が該当するため、除いた結果を掲載している。

(2) 経済的貧困の状況

①「貧困線」を下回る世帯で生活する子どもの割合

国が「相対的貧困率」を算出する際の基準としている可処分所得額（貧困線）を基に、本市において国の貧困線を下回る水準で生活する 18 歳未満の子どもの割合を算出したところ、7.7%となった(図表 2-1-1)。

また、24 歳未満の子ども・若者についてその割合を算出したところ、同じく 7.7%となった。なお、ひとり親世帯のなかでは、45.6%の方が貧困線を下回る水準で生活している状況にある。

図表 2-1-1 貧困線を下回る世帯で生活する子ども等の割合

指標	横浜市 市民アンケート調査
世帯に含まれる 18 歳未満の子どものうち、貧困線を下回る世帯で生活する子どもの割合	7.7%
世帯に含まれる 24 歳未満の子ども・若者のうち、貧困線を下回る世帯で生活する子ども・若者の割合	7.7%
子どもがいる現役世帯のうち大人が一人の世帯に含まれる世帯員のなかで、貧困線を下回る世帯で生活する方の割合 ³	45.9%
子どもがいる現役世帯のうちひとり親世帯に含まれる世帯員のなかで、貧困線を下回る世帯で生活する方の割合 ⁴	45.6%

上記「世帯に含まれる 18 歳未満の子どものうち、貧困線を下回る世帯で生活する子どもの割合」は、国において「相対的貧困率」を算出する際の基準としている、国民生活基礎調査に基づく可処分所得額（貧困線）を下回る水準で生活する子どもの割合であり、市民アンケートの回答結果に基づき、以下のような方法により算出している。なお、横浜市の中での世帯所得の額・分布を基に新たに貧困線を定め、横浜市内における相対的貧困率を算出したものではないという点には留意が必要である。

○市民アンケートの設問（問 50）により、世帯の可処分所得の水準について、6 つの選択肢の中から該当するものを回答いただき、国の示す貧困線を下回る水準の所得に該当するか否かを世帯ごとに判断した。

○貧困線の水準を下回る世帯に属する子どもの数について、アンケート対象の世帯に含まれる全ての子どもに占める割合を算出した。

また、算出結果について、次のような点には留意が必要である。

○可処分所得の水準をたずねた設問（問 50）について、アンケート回答者の約 2 割の世帯は無回答であった。（18 歳未満の子どもがいる世帯の有効回答数 2,183 件のうち、428 件が無回答）

○この可処分所得の水準をたずねた設問（問 50）に無回答であった約 2 割の世帯について、問 50 に回答した世帯と比較して、別の設問（問 49）から把握される世帯所得額の平均額が約 120 万円低い状況であった。

○このようなことから、問 50 に無回答であった約 2 割の世帯には、世帯所得が相対的に低い方がより多く含まれていると推察され、他方で、問 50 の集計対象となった世帯では所得が相対的に多い方がより多く含まれていた可能性がある。

³ 「現役世帯」とは、世帯主が 18 歳以上 65 歳未満の世帯を指す。なお、ここで「大人が一人の世帯」といったときの「大人」には、親以外の場合も含まれる（「祖父(母)と子ども」「18 歳以上の兄姉と子ども」といった場合が該当する）ため、必ずしも「ひとり親世帯」とは限らない。

⁴ ここでの「ひとり親」とは、「死別、離別、未婚などにより、現に配偶者のいない男性または女性が、20 歳未満の子どもを育てている世帯」に、市民アンケートの回答者が「該当する」と答えた世帯を指す。

②「貧困線」を下回る世帯の割合

市民アンケートでは、世帯の可処分所得の水準について、回答者本人に、世帯員人数別に設定した選択肢より回答してもらう方法により把握した（図表 2-2-1）。

あらためて、この点についての回答状況についてみると、図表 2-2-2 のようになっており、全体としては「分類Ⅰ」に該当する世帯が 2.4%、「分類Ⅱ」に該当する世帯が 4.9%となっている。

図表 2-2-1 調査票での世帯人員別可処分所得の水準（再掲）

世帯員人数	可処分所得の水準						(参考) 国の貧困線の基準
	分類Ⅰ	分類Ⅱ	分類Ⅲ	分類Ⅳ	分類Ⅴ	分類Ⅵ	
1人	60万円未満	120万円未満	180万円未満	240万円未満	300万円未満	300万円以上	122万円
2人	85万円未満	175万円未満	260万円未満	345万円未満	430万円未満	430万円以上	173万円
3人	105万円未満	210万円未満	315万円未満	420万円未満	525万円未満	525万円以上	211万円
4人	120万円未満	245万円未満	365万円未満	485万円未満	605万円未満	605万円以上	244万円
5人	135万円未満	275万円未満	410万円未満	545万円未満	680万円未満	680万円以上	273万円
6人	150万円未満	300万円未満	450万円未満	600万円未満	750万円未満	750万円以上	299万円
7人	160万円未満	325万円未満	485万円未満	645万円未満	805万円未満	805万円以上	323万円

※調査票では世帯員人数が「8人」の場合、「9人以上」の場合について選択肢を用意していたが、該当する回答者はいなかった。

※参考として掲載した国の貧困線の基準は平成24年データに基づくものである。

図表 2-2-2 世帯人員別可処分所得の水準

世帯員人数	可処分所得の水準						集計度数 (世帯数)
	分類Ⅰ	分類Ⅱ	分類Ⅲ	分類Ⅳ	分類Ⅴ	分類Ⅵ	
1人	0.0%	38.5%	23.1%	30.8%	0.0%	7.7%	13
2人	14.1%	21.8%	20.5%	14.1%	7.7%	21.8%	78
3人	1.7%	4.4%	7.8%	15.8%	17.2%	53.1%	816
4人	1.4%	3.2%	9.9%	14.6%	24.1%	46.8%	911
5人	3.2%	4.9%	16.2%	14.6%	19.8%	41.3%	247
6人	7.8%	5.9%	25.5%	17.6%	13.7%	29.4%	51
7人	0.0%	16.7%	0.0%	16.7%	33.3%	33.3%	6
合計	2.4%	4.9%	10.7%	15.2%	20.0%	46.9%	2,122

※世帯員人数が「1人」の世帯は、全て宛名の若者が世帯主の世帯である。世帯員人数が「2人」の世帯は、8割以上が「ひとり親」に該当する世帯である。また、7割以上が世帯主が「母親」の世帯である。

※子どもの年齢が18歳未満であるかや現役世帯であるか否かに関わらず、回答のあった全世帯についての結果を示している。

③可処分所得の分類別の世帯所得の状況

今回把握した世帯員人数別の可処分所得の回答に関して、分類Ⅰ・Ⅱを貧困線以下に該当する世帯、分類Ⅲ・Ⅳを中央値以下に該当する世帯、分類Ⅴ・Ⅵを中央値以上の世帯と考え、それぞれの世帯の所得の状況についてあらためて把握を行った。

まず、世帯の所得水準の平均値・中央値についてみると、今回把握した可処分所得の分類別に、明確な違いがあることが確認できる（図表 2-3-1）。

また、可処分所得の分類別に、世帯の所得に含まれているもののなかで最も多いものについてみると、可処分所得の分類が「Ⅰ・Ⅱ」の場合には、「父親が働いて得た所得」である回答割合が 45.1%と比較的低く、「母親が働いて得た所得」や「その他の所得」との回答割合が比較的高くなっている（図表 2-3-2）。

さらに、可処分所得の分類別に、世帯所得に含まれている所得の種類についてみると、可処分所得の分類が「Ⅰ・Ⅱ」の場合には、「児童扶養手当」をはじめ、「親・親族からの仕送り」「元配偶者からの養育費」「生活保護」などが含まれる割合が比較的高くなっていることがわかる（図表 2-3-3）。

なお、可処分所得の分類別に、ひとり親世帯に該当するか否かについてみると、「分類Ⅰ・Ⅱ」に関しては、ひとり親世帯に該当する割合が 41.8%、「分類Ⅲ・Ⅳ」の場合には 11.5%、「分類Ⅴ・Ⅵ」の場合には 2.1%となっている（図表 2-3-4）。

設問 あなたの世帯の昨年 1 年間（平成 26 年 1 月 1 日～12 月 31 日の期間）の所得の合計（税込み）はいくらですか（問 49）

図表 2-3-1 等価可処分所得の分類別、世帯の所得水準

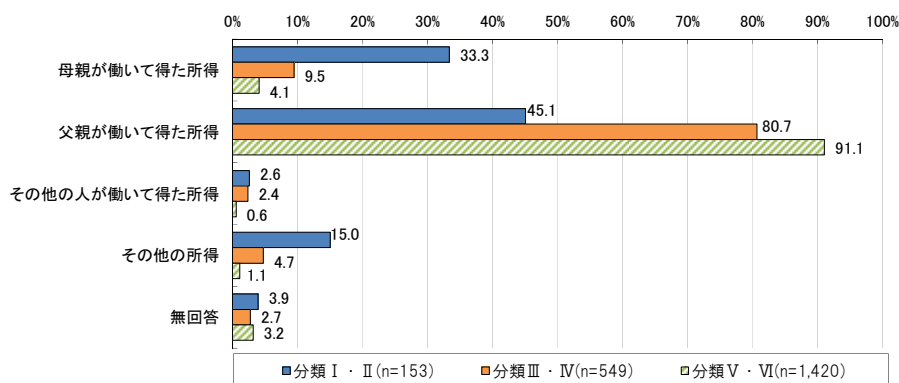
可処分所得の水準	平均値	中央値	集計度数 (世帯数)
分類Ⅰ・Ⅱ	359.2 万円	255 万円	138
分類Ⅲ・Ⅳ	535.5 万円	500 万円	526
分類Ⅴ・Ⅵ	1,051.9 万円	984 万円	1,357

※世帯所得について無回答の者は集計の対象外としている。

※子どもの年齢が 18 歳未満であるかや現役世帯であるか否かに関わらず、回答のあった全世界帯についての結果を示している。

設問 世帯に含まれる所得のうち、主な所得はどれですか。選択肢の中から所得の多い順に 5 つまで選び、その番号をご記入ください（問 48・「最も所得の多いもの」）

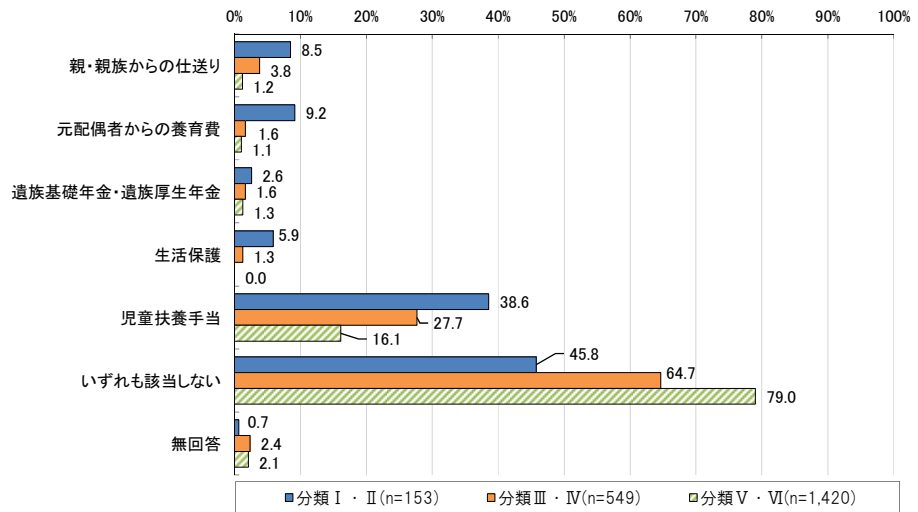
図表 2-3-2 可処分所得の分類別、世帯の所得に含まれているなかで最も多いもの



※「その他の人が働いて得た所得」とは、「祖母が働いて得た所得」「祖父が働いて得た所得」「本人が働いて得た所得」「兄弟姉妹が働いて得た所得」「配偶者が働いて得た所得」「その他の方が働いて得た所得」のいずれかに該当する場合である。また、「その他の所得」とは、「財産による所得」「公的年金・恩給による所得」「雇用保険による所得」「児童手当等による所得」「その他の社会保障給付金による所得」「仕送りによる所得」「企業年金・個人年金等による所得」「その他の所得」のいずれかに該当する場合である。

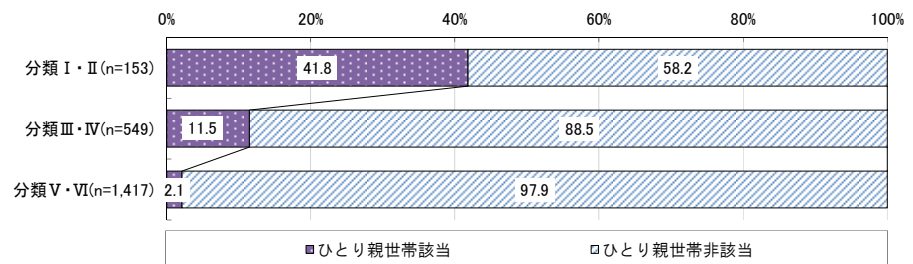
設問 世帯に含まれる所得の内容について、あらためておたずねします。あなたの世帯では、昨年1年間（平成26年1月1日～12月31日の期間）で、次のような形での所得はありますか（問47・複数回答）

図表 2-3-3 可処分所得の分類別、世帯に含まれている所得の種類



※「児童扶養手当」に関して、「分類Ⅴ・Ⅵ」の場合でも16.1%の回答がみられるが、これらの回答状況に関して、「児童手当」と混同して回答している者も一定程度いるのではないかと考えられる。

図表 2-3-4 可処分所得の分類別、ひとり親世帯の該当の有無



※ひとり親か否かの設問に対して無回答であったものを除いて集計している。

(3) 社会的排除・剥奪の状況

①主観的貧困（暮らし向きに対する認識）

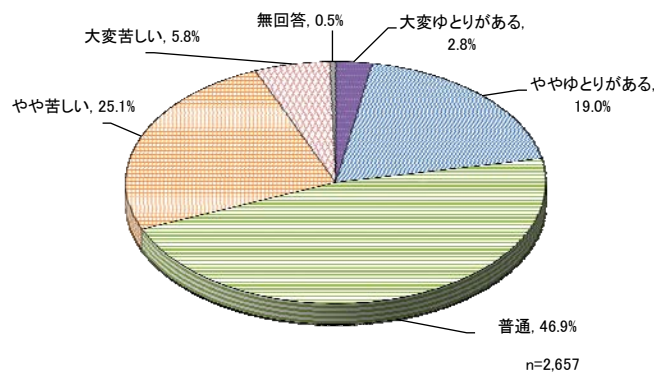
現在の暮らしの状況に対する認識についてたずねたところ、「普通」との回答が 46.9%と最も高くなっている（図表 3-1-1）。また、「大変苦しい」と「やや苦しい」との解答は合わせて 30.9%で、「大変ゆとりがある」と「ややゆとりがある」の回答の合計（21.8%）よりも高くなっている。

この点について、回答者属性・世帯類型別にみると、回答者が宛名の子ども・若者本人の場合、「大変苦しい」「やや苦しい」の回答割合が比較的低下している（図表 3-1-2）。また、ひとり親世帯に該当する場合には、ひとり親世帯に該当しない場合（以下、「ふたり親世帯等」と表記）と比較して、「大変苦しい」「やや苦しい」の割合が高くなっている。

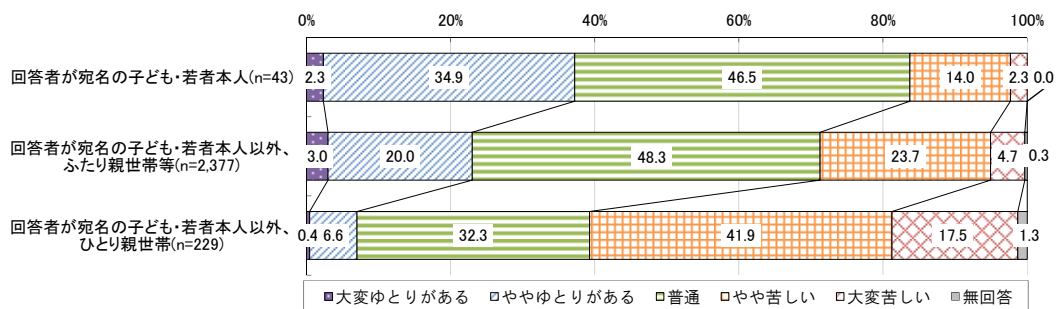
同様に、可処分所得の分類別にみると、「分類Ⅴ・Ⅵ」の場合には「大変苦しい」「やや苦しい」の回答割合は合わせて 16.6%であるのに対して、「分類Ⅰ・Ⅱ」の場合には、その割合は 64.7%となっており、明確な違いがあることがわかる（図表 3-1-3）。なお、「分類Ⅰ・Ⅱ」の場合には、「大変ゆとりがある」の回答は 0%（0件）であった。

設問 現在の暮らしの状況を総合的にみて、どう感じていますか（問 42）

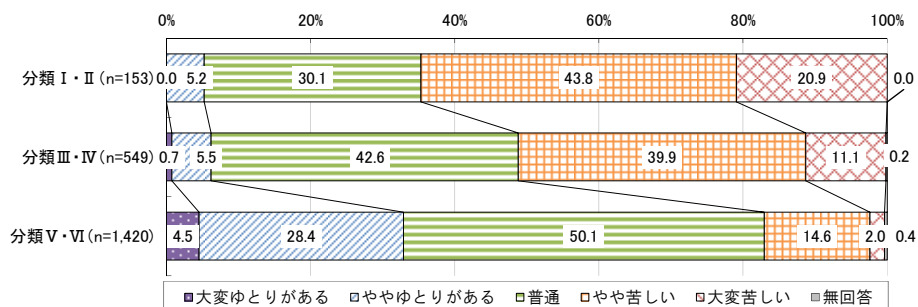
図表 3-1-1 現在の暮らしの状況に関する認識



図表 3-1-2 回答者属性・世帯類型別、現在の暮らしの状況に関する認識



図表 3-1-3 可処分所得の分類別、現在の暮らしの状況に関する認識



②基本ニーズ（食料・衣料）

基本ニーズの充足状況に関して、過去1年間にお金が足りなくて必要とする「食料」ならびに「衣料」が買えないことがあったかについてたずねた。

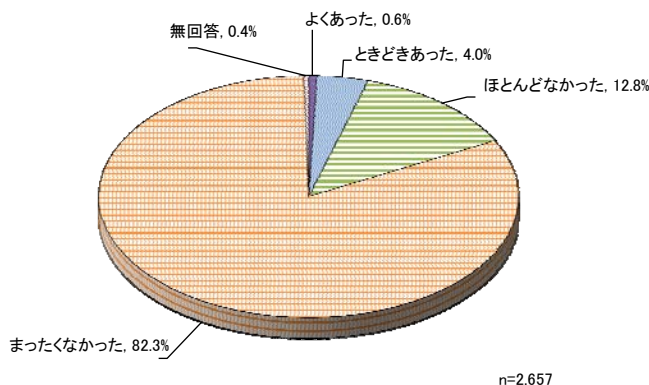
まず、「食料」に関する状況を見ると、「まったくなかった」が82.3%と大部分を占めるが、「よくあった」が0.6%、「ときどきあった」が4.0%と、一定割合でそのような状況が発生している世帯があることがわかる（図表3-2-1）。

この点について回答者属性・世帯類型別にみると、ひとり親世帯に該当する場合に、「よくあった」が2.6%、「ときどきあった」が14.0%と、比較的その割合が高くなっている（図表3-2-2）。また、可処分所得の分類別にみると、「分類Ⅰ・Ⅱ」の場合に、「よくあった」「ときどきあった」の割合が合わせて約2割と比較的高くなっている（図表3-2-3）。

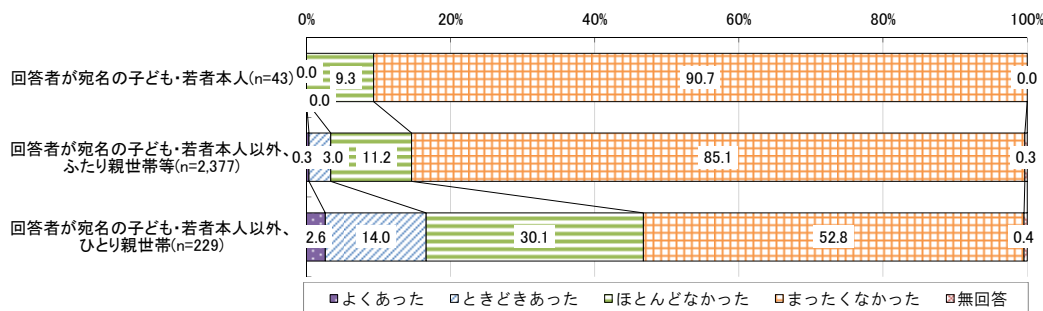
これらの回答結果については、「衣料」に関する状況についても同様に見られる。回答者全体のうち過去1年間に必要とする衣料が買えないことが「よくあった」との回答は1.2%、「ときどきあった」との回答は5.3%となっている（図表3-2-4）。回答者属性・世帯類型別にはひとり親世帯に該当する場合に「よくあった」「ときどきあった」との割合が比較的高く（図表3-2-5）、また、可処分所得の分類別には、「分類Ⅰ・Ⅱ」に該当する場合にその割合が高いという傾向がみられる（図表3-2-6）。

設問 あなたの世帯では、過去1年間に、お金が足りなくて、必要とする食料が買えないことがありましたか。ただし、嗜好品は含みません（問40）

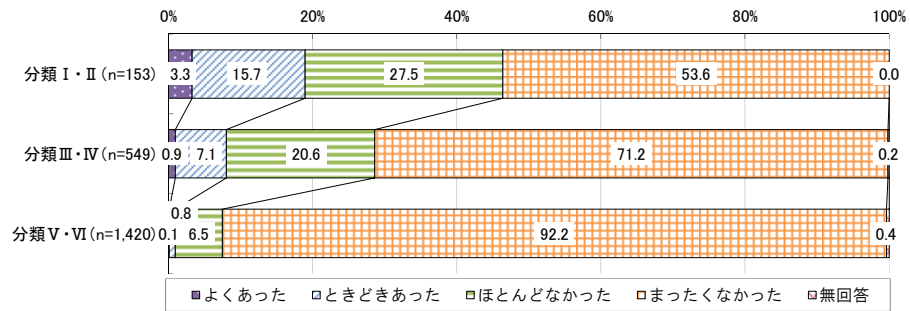
図表3-2-1 必要とする食料が買えないことがあった



図表3-2-2 回答者属性・世帯類型別、必要とする食料が買えないことがあった

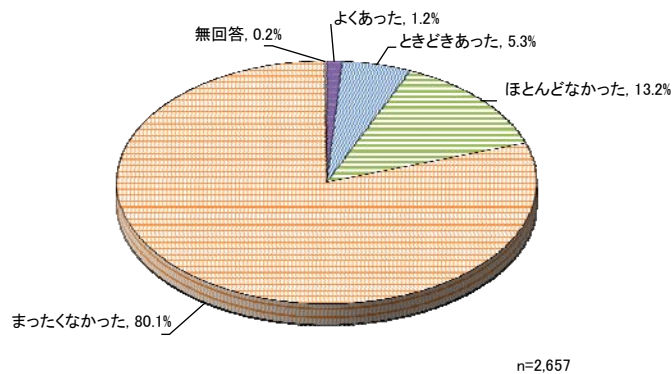


図表 3-2-3 可処分所得の分類別、必要とする食料が買えないことがあった

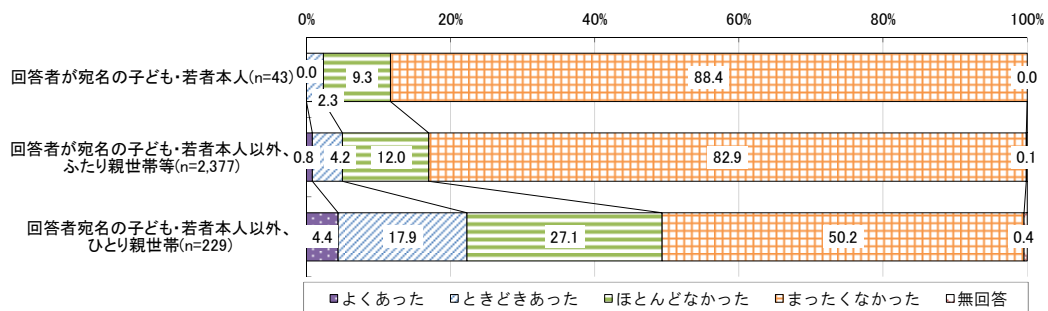


設問 あなたの世帯では、過去1年間に、お金が足りなくて、必要とする衣料が買えないことがありましたか。ただし、高価な衣服や貴金属・宝飾品は含みません（問41）

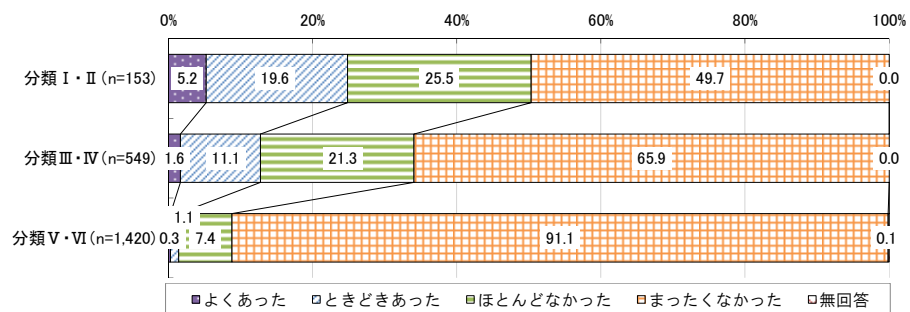
図表 3-2-4 必要とする衣料が買えないことがあった



図表 3-2-5 回答者属性・世帯類型別、必要とする衣料が買えないことがあった



図表 3-2-6 可処分所得の分類別、必要とする衣料が買えないことがあった



③物質的剥奪（子どもが必要とする文具・教材）

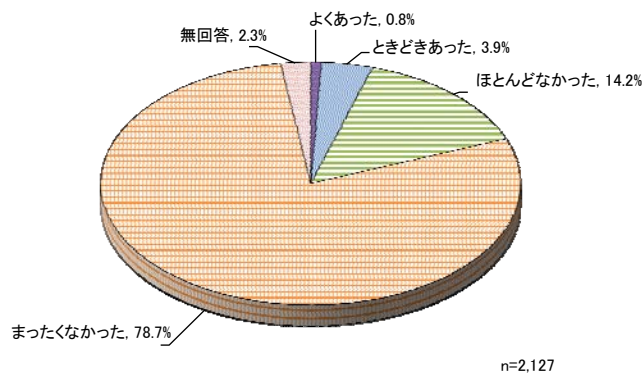
物質的剥奪の状況として、過去1年間にお金が足りなくて、子どもが必要とする文具や教材が買えないことがあったかについてたずねた。

回答結果をみると、「まったくなかった」が78.7%と大部分を占めるが、「よくあった」が0.8%、「ときどきあった」が3.9%と、食料や衣服に関する回答結果と同様に、一定割合でそのような状況が発生している世帯があることがわかる（図表3-3-1）。

この点について世帯類型別にみると、ひとり親世帯に該当する場合は、「よくあった」が4.5%、「ときどきあった」が14.7%となっている（図表3-3-2）。可処分所得の分類別には、「分類Ⅰ・Ⅱ」の場合に、「よくあった」が4.0%、「ときどきあった」が17.6%と、合わせて2割を超える水準となっている（図表3-3-3）。

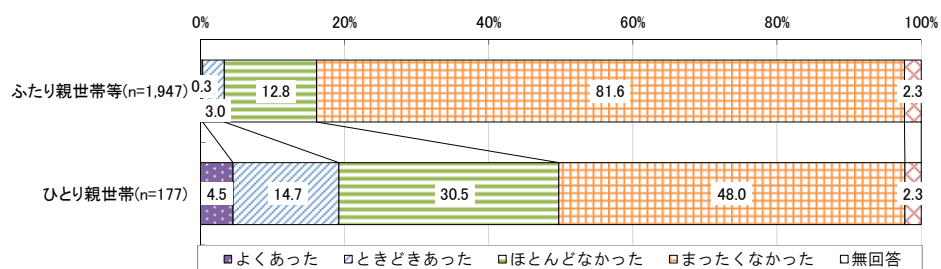
設問 あなたの世帯では、過去1年間に、お金が足りなくて、子どもが必要とする文具や教材が買えないことがありましたか（問17、宛名の方が18歳未満の場合のみ）

図表3-3-1 子どもが必要とする文具や教材が買えないことがあった

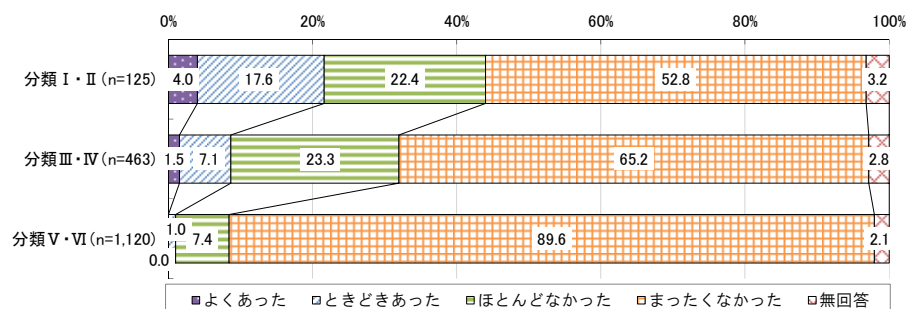


※宛名の方が18歳未満の子どもの場合に、その保護者が回答。なお、子どもが0歳の場合等についても集計対象に含む。

図表3-3-2 世帯類型別、子どもが必要とする文具や教材が買えないことがあった



図表3-3-3 可処分所得の分類別、子どもが必要とする文具や教材が買えないことがあった



④医療へのアクセス

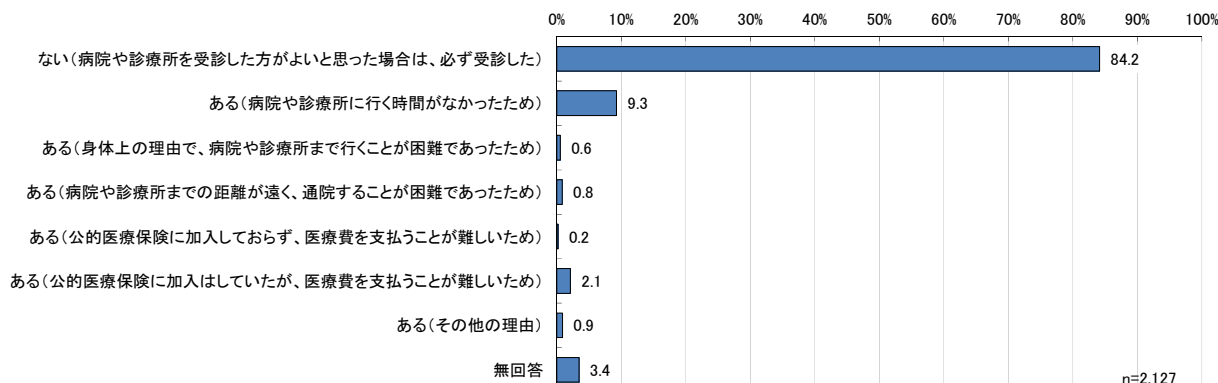
過去1年間に子どもが病気や怪我をしたときに病院を受診しなかったことが「ある」と回答した割合は、回答者全体のうち12.4%であった（「ない」「無回答」以外に回答したものの割合で、いずれかの理由により「ある」と回答した割合、図表3-4-1）。なお、受診しなかった理由で最も多くみられたのは、「病院や診療所に行く時間がなかったため」で、全体の9.3%を占めている。

この点について世帯類型別にみると、ひとり親世帯に該当する場合には、「ない（病院や診療所を受診したほうがよいと思った場合には、必ず受診した）」の回答割合が比較的低くなっている（図表3-4-2）。

同様に、可処分所得の分類別にみると、所得の水準が低い場合ほど、「ない」の割合が低い傾向があることがわかる（図表3-4-3）。また、「分類Ⅰ・Ⅱ」の場合では、「公的医療保険に加入していたが、医療費を支払うことが難しいため」病院を受診しなかったことがあると回答した割合が7.2%と比較的高くなっている。

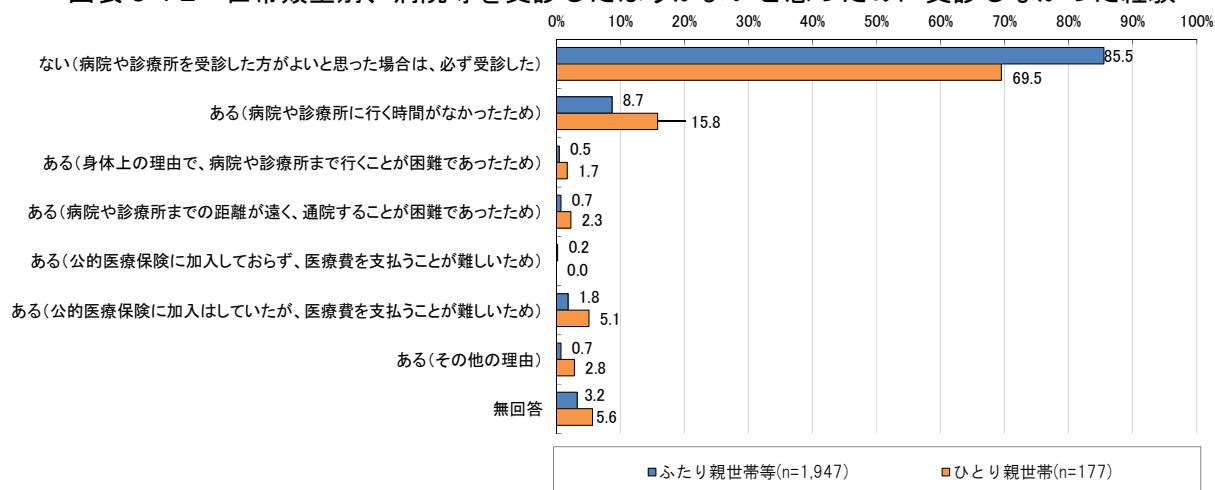
設問 過去1年間に、子どもについて病気や怪我の治療のために病院や診療所を受診したほうがよいと思ったのに、実際には受診しなかったことがありますか（問19・複数回答）

図表3-4-1 病院等を受診したほうがよいと思ったのに受診しなかった経験

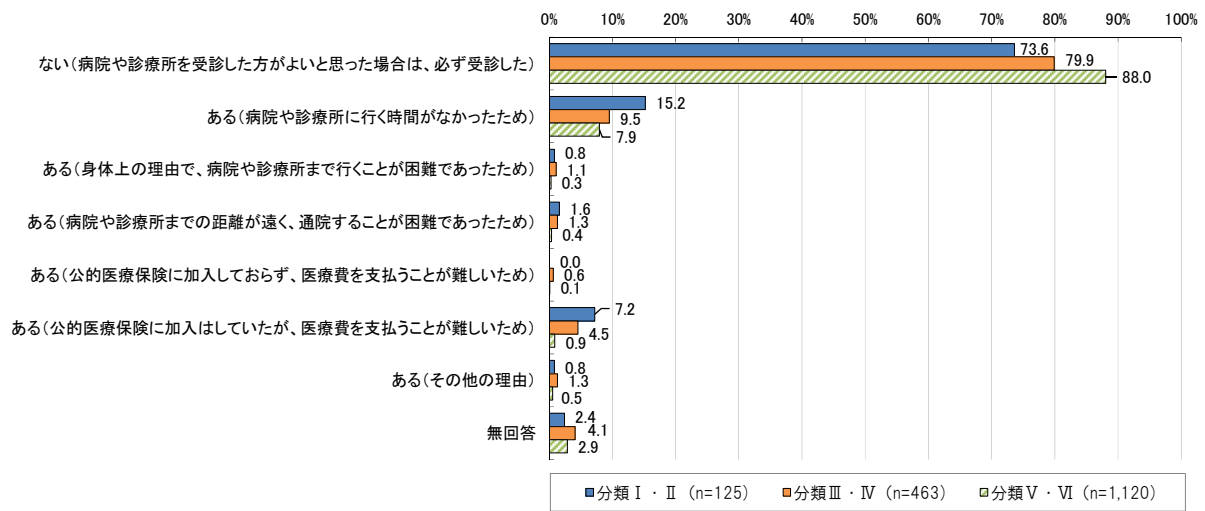


※宛名の方が18歳未満の子どもの場合に、その保護者が回答

図表3-4-2 世帯類型別、病院等を受診したほうがよいと思ったのに受診しなかった経験



図表 3-4-3 可処分所得の分類別、病院等を受診したほうがよいと思ったのに受診しなかった経験



⑤外出等の状況（旅行、外食）

日常生活の様子に関するものとして、「家族での旅行」「家族でのファミリーレストラン等での外食」の頻度についてたずねた。

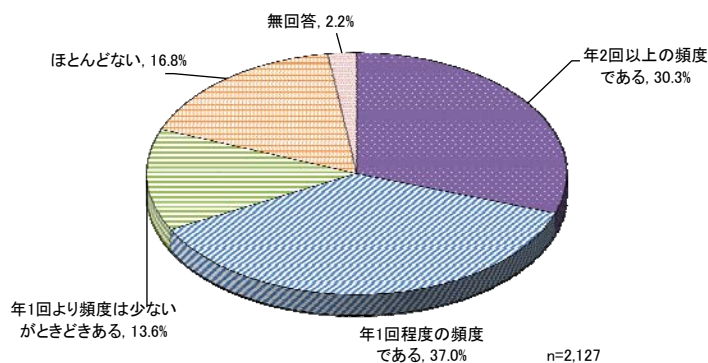
まず、「家族での旅行」についてみると、回答者全体としては、「年1回程度の頻度である」との回答が37.0%と最も多くなっている（図表3-5-1）。なお、「ほとんどない」との回答は16.8%であった。

この点について世帯類型別にみると、ひとり親世帯に該当する場合には、「ほとんどない」の割合が41.2%となっている（図表3-5-2）。また、可処分所得の分類別にみると、「分類Ⅰ・Ⅱ」の場合、その割合は39.2%と、やはり約4割の水準になっている（図表3-5-3）。

同様に、「家族でのファミリーレストラン等での外食」の状況についてみると、回答者全体としては「月2回以上の頻度である」が37.6%で最も多くなっており、「ほとんどない」との回答は9.6%である（図表3-5-4）。世帯類型別にみると、ひとり親世帯に該当する場合に、「ほとんどない」の回答割合は16.4%であり（図表3-5-5）、可処分所得の分類別では、「分類Ⅰ・Ⅱ」の場合その割合は19.2%となっている（図表3-5-6）。

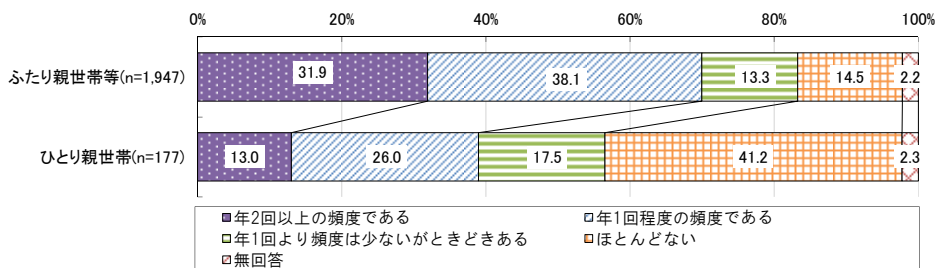
設問 あなたの世帯では、次の（ア）（イ）のようなことがどれくらいありますか
（ア）家族で旅行に行くこと（問16・ア）

図表 3-5-1 家族での旅行の頻度

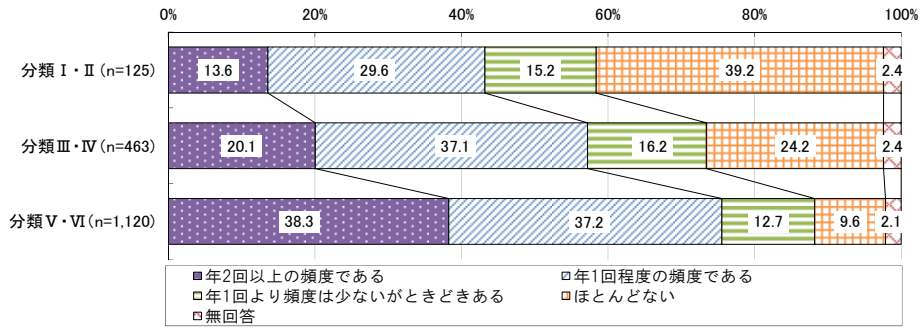


※宛名の方が18歳未満の子どもの場合に、その保護者が回答

図表 3-5-2 世帯類型別、家族での旅行の頻度



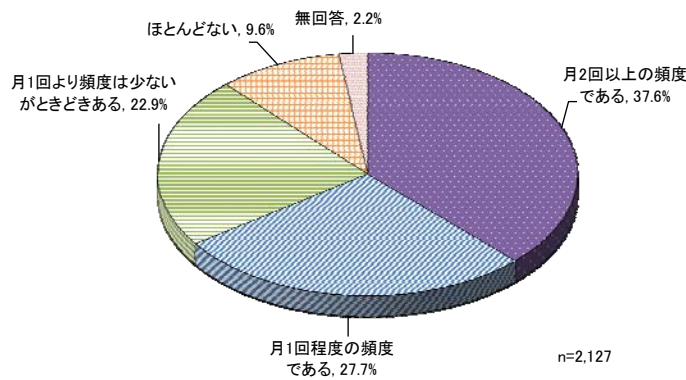
図表 3-5-3 可処分所得の分類別、家族での旅行の頻度



設問

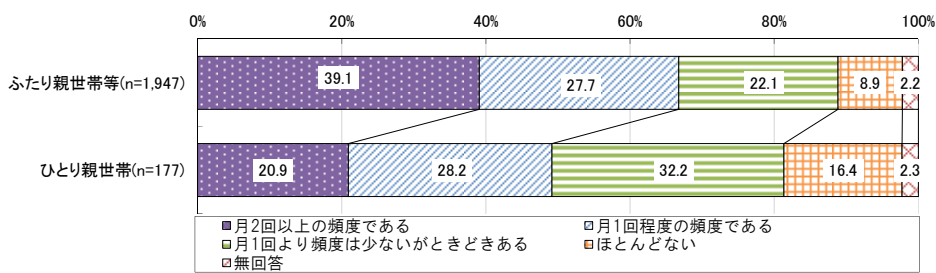
あなたの世帯では、次の（ア）（イ）のようなことがどれくらいありますか
（イ）家族でファミリーレストラン等で外食すること（問 16・イ）

図表 3-5-4 家族での外食の頻度

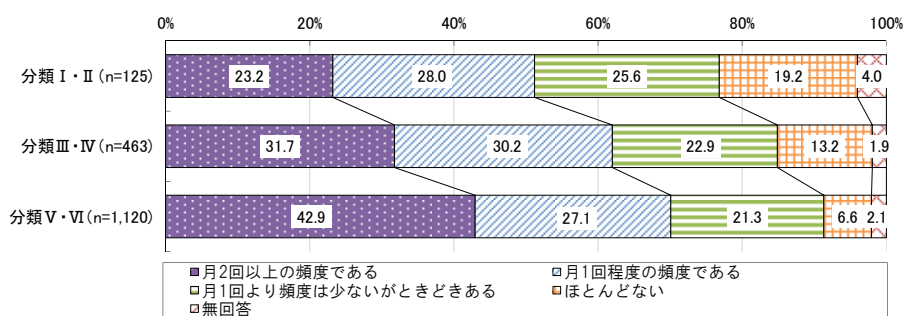


※宛名の方が18歳未満の子どもの場合に、その保護者が回答。

図表 3-5-5 世帯類型別、家族での外食の頻度



図表 3-5-6 可処分所得の分類別、家族での外食の頻度



⑥家族での買い物

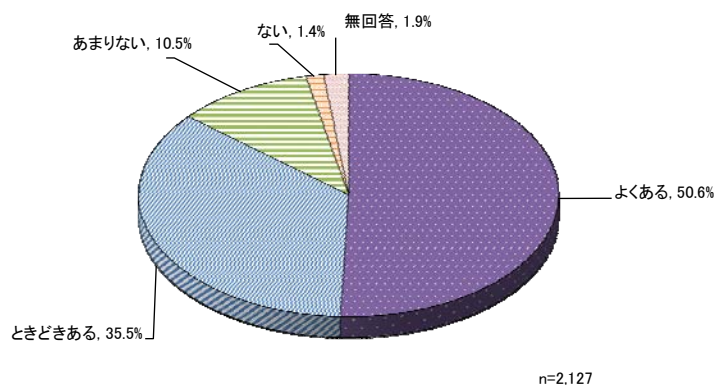
「家族での旅行」「家族でのファミリーレストラン等での外食」に対比させる形で、「家族で買い物に出かけること」の頻度についてたずねた。

まず、回答者全体としては、「よくある」との回答が 50.6%と最も多く、「ときどきある」の 35.5%と合わせると、その割合は 86.1%となっている（図表 3-6-1）。なお、「あまりない」は 10.5%、「ない」との回答は 1.4%であった。

この点について世帯類型別にみると、ひとり親世帯に該当する場合には、「あまりない」「ない」との回答割合が比較的高く、「よくある」との回答割合が比較的低くなっている（図表 3-6-2）。また、可処分所得の分類別にみると、必ずしも所得の水準が高いほうが「よくある」の回答割合が高いという傾向にあるわけではないが、「分類Ⅰ・Ⅱ」に該当する場合には、やはり「あまりない」「ない」の回答割合が高くなっており、合わせて 2 割以上となっている（図表 3-6-3）。

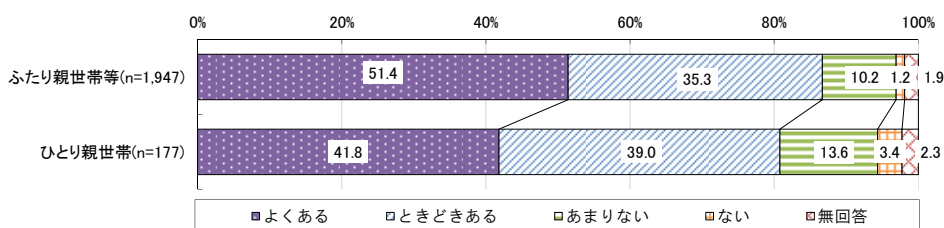
設問 あなたの世帯では、次の（ア）（イ）のようなことがどれくらいありますか
（ア）家族で買い物に出かけること（問 15・ア）

図表 3-6-1 家族での買い物の頻度

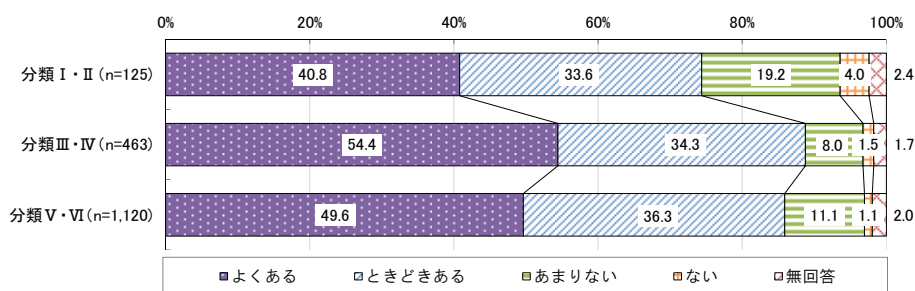


※宛名の方が 18 歳未満の子どもの場合に、その保護者が回答

図表 3-6-2 世帯類型別、家族での買い物の頻度



図表 3-6-3 可処分所得の分類別、家族での買い物の頻度



(4) 住まいの状況

①住居の状況

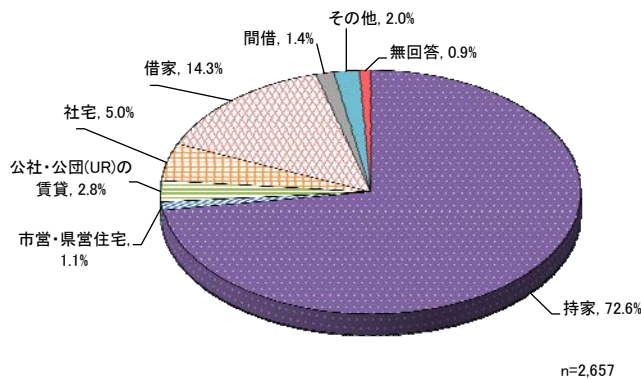
住居の状況についてみると、回答者全体としては、「持家」が72.6%と最も多くなっている（図表4-1-1）。なお、次いで多いのは民間の「借家」で14.3%である。

この点について回答者属性・世帯類型別にみると、回答者が宛名の子ども・若者本人の場合には、「社宅」が14.0%と比較的高いのが特徴となっている（図表4-1-2）。また、ひとり親世帯に該当する場合には、「借家」の割合が30.1%と比較的高くなっているほか、「市営・県営住宅」が6.6%、「間借」が4.8%と、他と比べ高くなっていることがわかる。

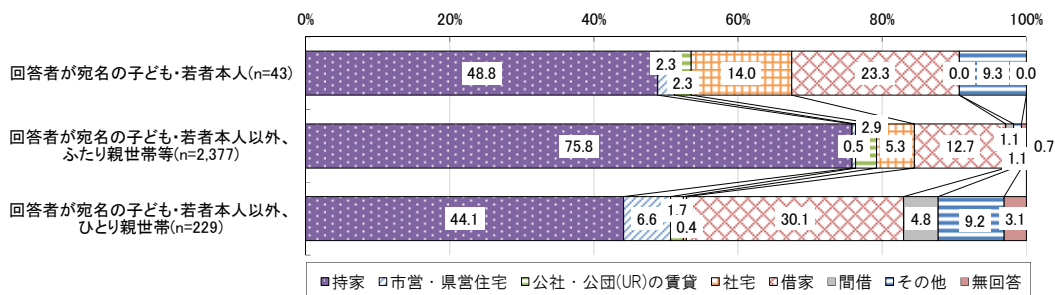
可処分所得の分類別にみると、所得の水準が高いほど「持家」の割合が高く「借家」の割合が低い傾向がみられ、「分類Ⅰ・Ⅱ」の場合には「市営・県営住宅」の割合が比較的高いなど、所得の水準別に住居の状況に違いがみられる（図表4-1-3）。

設問 現在の住居の状況について教えてください（問37）

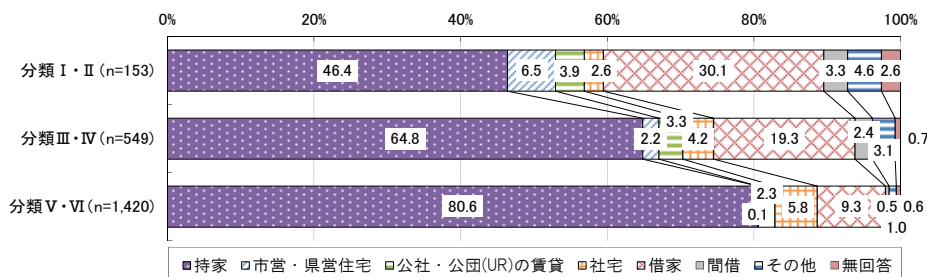
図表 4-1-1 現在の住居の状況



図表 4-1-2 回答者属性・世帯類型別、現在の住居の状況



図表 4-1-3 可処分所得の分類別、現在の住居の状況



②借入金の有無

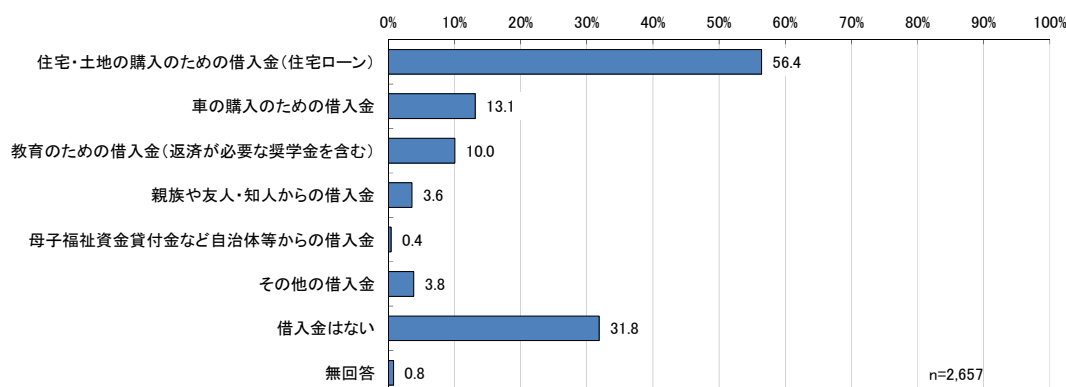
各種の借入金があるかについてたずねたところ、回答者全体としては、「住宅・土地の購入のための借入金（住宅ローン）」がある場合が56.4%で最も多く、「借入金はない」との回答は31.8%となっている（図表4-2-1）。

この点について回答者属性・世帯類型別にみると、回答者が宛名の子ども・若者本人の場合やひとり親世帯に該当する場合には、「借入金はない」の回答割合が最も高くなっている（図表4-2-2）。ただし、「教育のための借入金（返済が必要な奨学金を含む）」については、これらの者の方が該当する割合が比較的高くなっている。

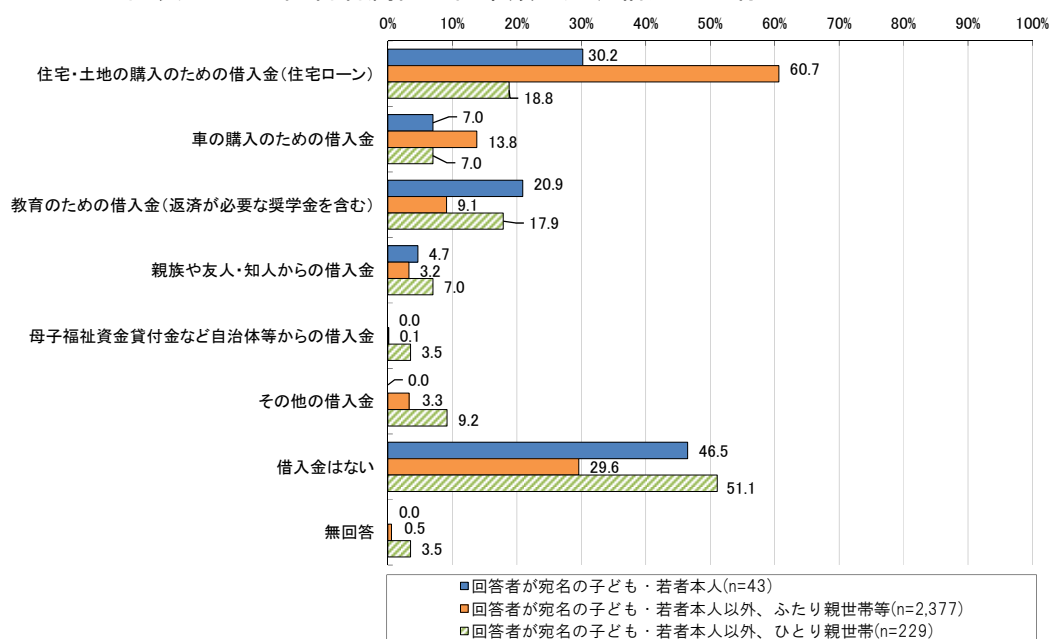
可処分所得の分類別にみると、所得の水準が高いほど「住宅・土地の購入のための借入金（住宅ローン）」がある割合が高く、他方で、「教育のための借入金（返済が必要な奨学金を含む）」や「親族や友人・知人からの借入金」「母子福祉資金貸付金など自治体等からの借入金」「その他の借入金」については、「分類Ⅰ・Ⅱ」において比較的割合が高くなっている（図表4-2-3）。

設問 あなたの世帯では、次のような借入金はありますか（問38・複数回答）

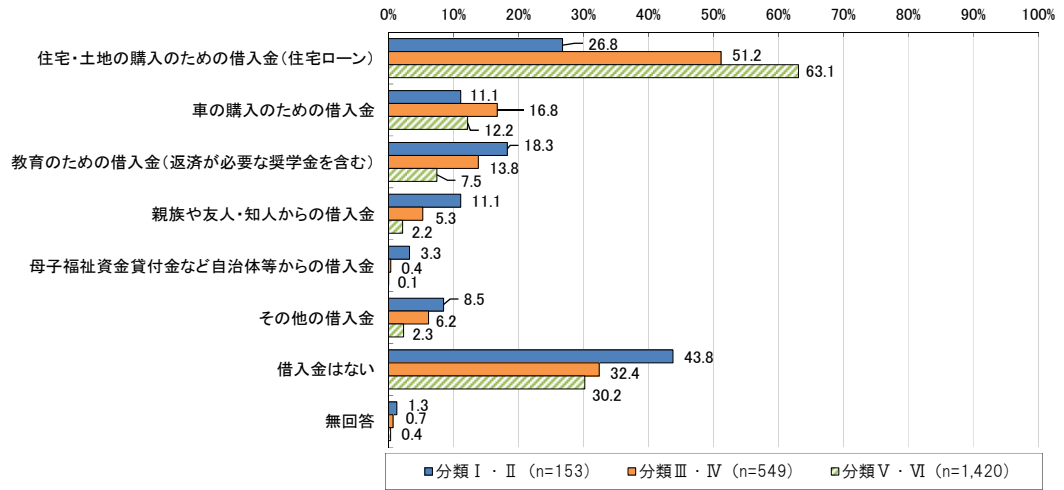
図表4-2-1 借入金の有無



図表4-2-2 回答者属性・世帯類型別、借入金の有無



図表 4-2-3 可処分所得の分類別、借入金の有無



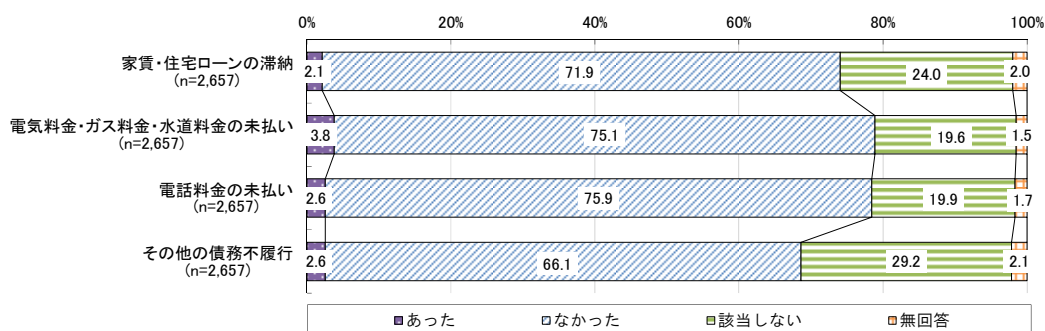
③家賃等滞納の有無

家賃等の滞納の有無についてたずねたところ、回答者全体としては、「家賃・住宅ローンの滞納」「電気料金・ガス料金・水道料金の未払い」「電気料金の未払い」「その他の債務不履行」のそれぞれについて、「あった」との回答割合は5%未満となっている（図表4-3-1）。

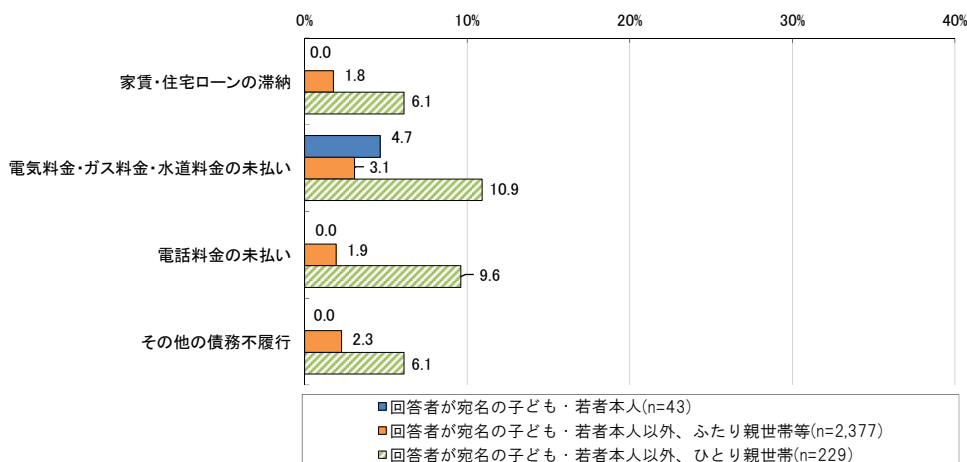
この点について、それぞれ「あった」との回答割合に着目して、回答者属性・世帯類型別にみると、いずれの点についても、ひとり親世帯である場合にその割合が高くなっている（図表4-3-2）。また、可処分所得の分類別にみた場合には、所得の水準が低いほどそれぞれ「あった」との回答割合が高くなっていることがわかる（図表4-3-3）。

設問 あなたの世帯では、過去1年間に、経済的な理由で家賃・住宅ローンの滞納、各種料金の未払い、債務の返済ができないことがありましたか（問39）

図表 4-3-1 家賃等滞納の有無

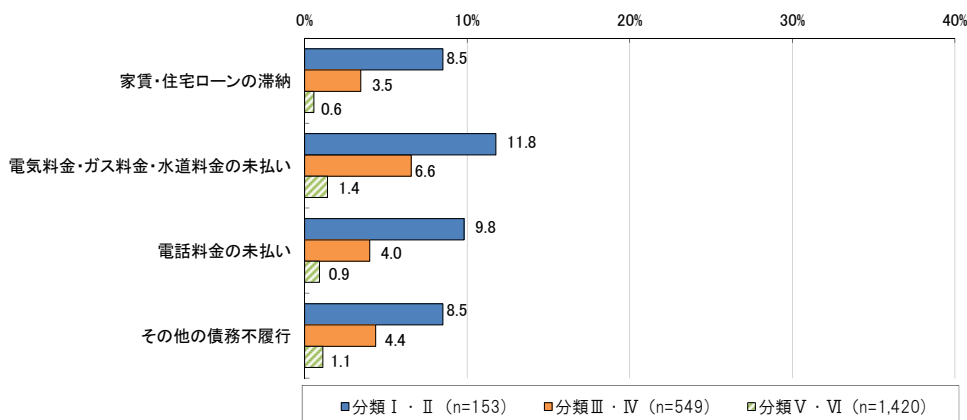


図表 4-3-2 回答者属性・世帯類型別、家賃等滞納が「あった」との回答割合



※集計には「該当しない」や「無回答」であったものも分母を含む。

図表 4-3-3 可処分所得の分類別、家賃等滞納が「あった」との回答割合



※集計には「該当しない」や「無回答」であったものも分母を含む。

④ 転居の有無

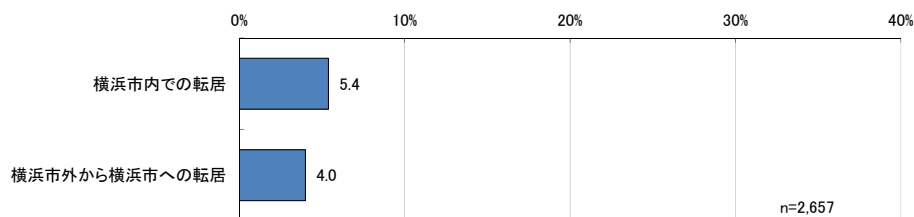
過去 1 年間の転居の有無についてみると、回答者全体では、「横浜市内での転居」があった割合は 5.4%、「横浜市外から横浜市への転居」は 4.0%となっている（図表 4-4-1）。

この点について回答者属性・世帯類型別にみると、回答者が宛名の子ども・若者本人の場合には、「横浜市外から横浜市への転居」の割合が比較的高くなっている（図表 4-4-2）。また、ひとり親世帯の場合には、「横浜市内での転居」の割合が比較的高くなっている。

可処分所得の分類別にみると、「分類Ⅰ・Ⅱ」の場合に「横浜市内での転居」が 11.1%と、比較的高くなっている（図表 4-4-3）。

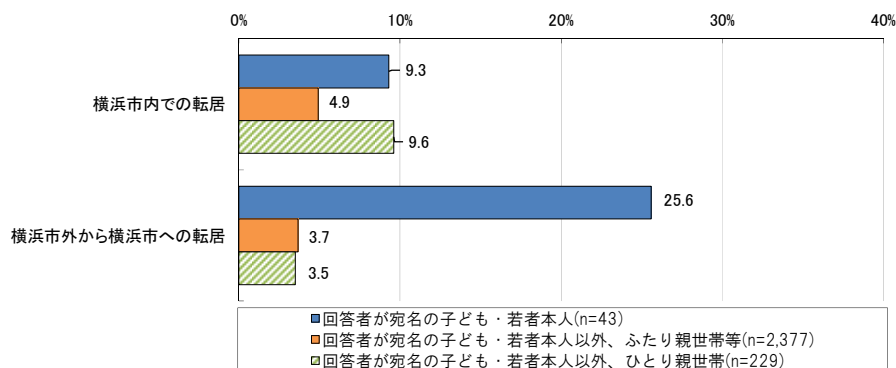
設問 あなたは、過去 1 年間に次のようなことを経験しましたか（問 24・複数回答）

図表 4-4-1 転居があった人



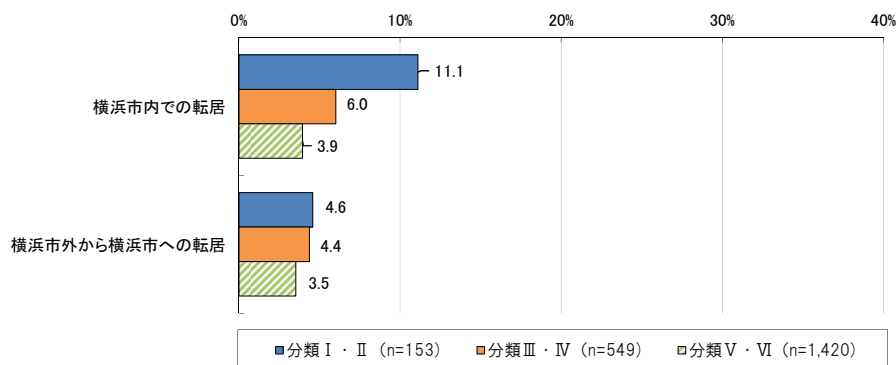
※離職・転職の有無や離婚の有無等とあわせてたずねた設問。集計には無回答であったものも分母に含む。

図表 4-4-2 回答者属性・世帯類型別、転居があった人



※離職・転職の有無や離婚の有無等とあわせてたずねた設問。集計には無回答であったものも分母に含む。

図表 4-4-3 可処分所得の分類別、転居があった人



※離職・転職の有無や離婚の有無等とあわせてたずねた設問。集計には無回答であったものも分母に含む。

(5) 就業の状況

①就業の有無、離職・転職経験

現在の就業の状況について、回答者が宛名の子ども・若者本人の場合には本人に関して、保護者の場合には、配偶者に関する情報もあわせて、父親・母親の別にたずねた。

回答結果についてみると、ふたり親世帯等の場合には、「父親」の96.8%がひとつまたは複数の仕事をしており、他方で「母親」の約4割は働いていないとの回答となっている(図表5-1-1)。これに対し、ひとり親世帯の場合、「父親」(父子世帯)の場合には、ひとつまたは複数の仕事をしているのは90.3%、「母親」(母子世帯)の場合には、80.5%となっている。

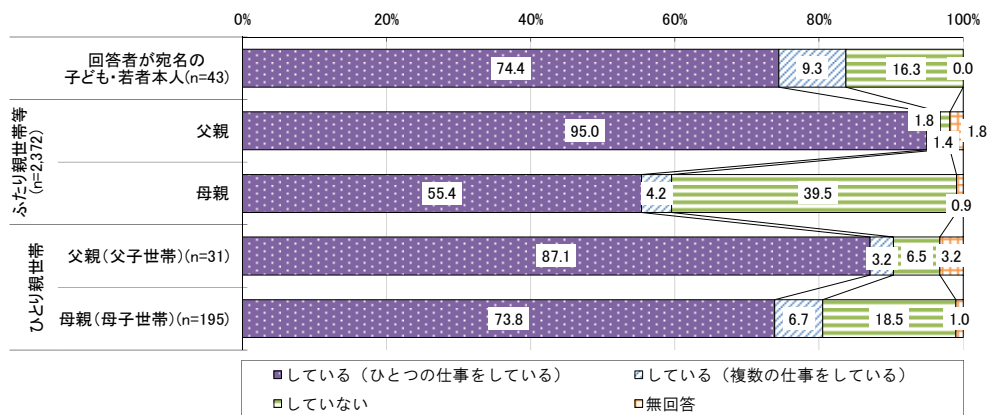
また、ふたり親世帯等に関して、可処分所得の分類別に就業の状況についてみると、「分類Ⅰ・Ⅱ」の場合には、「父親」について「働いていない」の回答割合が8.5%と、「分類Ⅲ・Ⅳ」、「分類Ⅴ・Ⅵ」の「父親」と比較した場合に若干高くなっている(図表5-1-2)。なお、「複数の仕事をしている」の割合についても、「父親」「母親」ともに、「分類Ⅰ・Ⅱ」で比較的高くなっていることがわかる。

このほか、過去1年間での離職・転職経験の有無についてみると、転職経験について、ひとり親世帯の母親で該当するとの回答割合が比較的高くなっている(図表5-1-3)。

設問 あなたは、現在収入をとまなう仕事をしてしていますか(問25)

設問 配偶者の方は、現在収入をとまなう仕事をしてしていますか(問32)

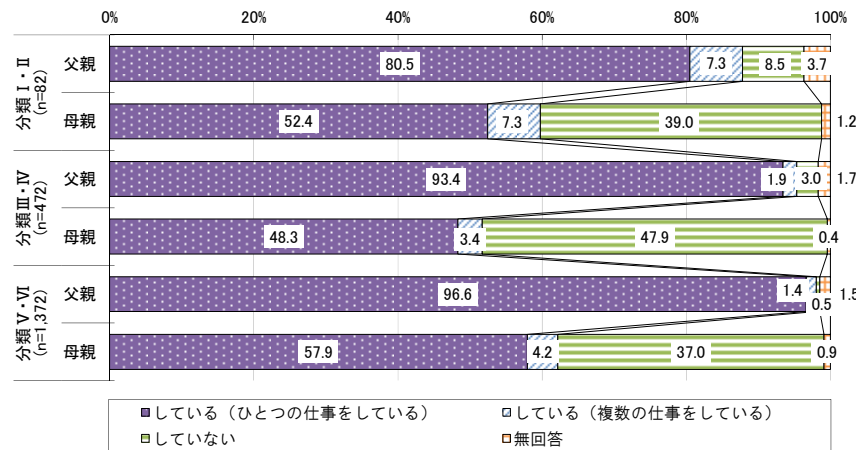
図表 5-1-1 回答者属性・世帯類型別、就業の有無



※回答者が「本人」「父親」「母親」のいずれか以外のもはここでは集計の対象外とした。

※ふたり親世帯等について、「父親」の回答は、回答者が「父親」の場合の本人の就業状況と、回答者が「母親」の場合の配偶者の就業状況を合計して算出している。「母親」の回答は、回答者が「母親」の場合の本人の就業状況と、回答者が「父親」の場合の配偶者の就業状況を合計して算出している。

図表 5-1-2 可処分所得の分類別、父親・母親の就業の有無（ふたり親世帯等のみ）

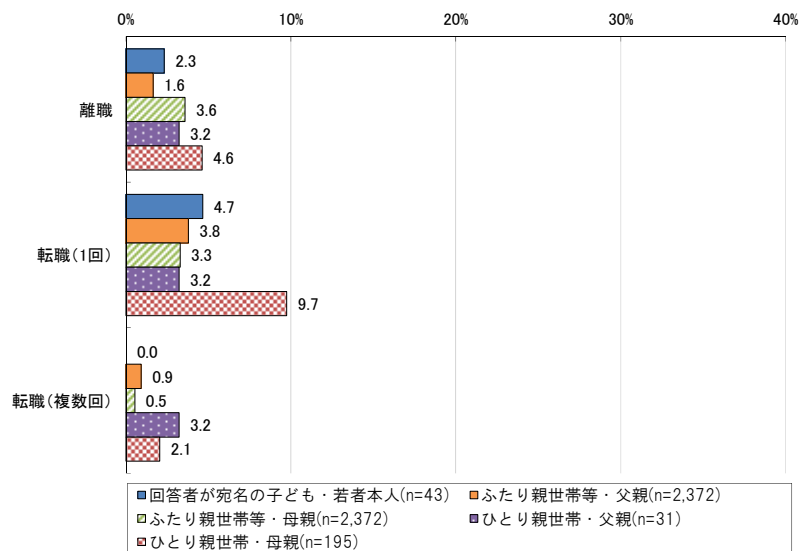


※回答者が「父親」「母親」のいずれか以外のものはここでは集計の対象外とした。

※「父親」の回答は、回答者が「父親」の場合の本人の就業状況と、回答者が「母親」の場合の配偶者の就業状況を合計して算出している。「母親」の回答は、回答者が「母親」の場合の本人の就業状況と、回答者が「父親」の場合の配偶者の就業状況を合計して算出している。

設問 あなたは、過去1年間に次のようなことを経験しましたか（問24・複数回答）

図表 5-1-3 回答者属性・世帯類型別、過去1年間での離職・転職経験（経験がある人の割合）



※転居の有無や離婚の有無等とあわせてたずねた設問。集計には無回答であったものも分母に含む。

※回答者が「本人」「父親」「母親」のいずれか以外のものはここでは集計の対象外とした。

※ふたり親世帯等について、「父親」の回答は、回答者が「父親」の場合の本人の就業状況と、回答者が「母親」の場合の配偶者の就業状況を合計して算出している。「母親」の回答は、回答者が「母親」の場合の本人の就業状況と、回答者が「父親」の場合の配偶者の就業状況を合計して算出している。

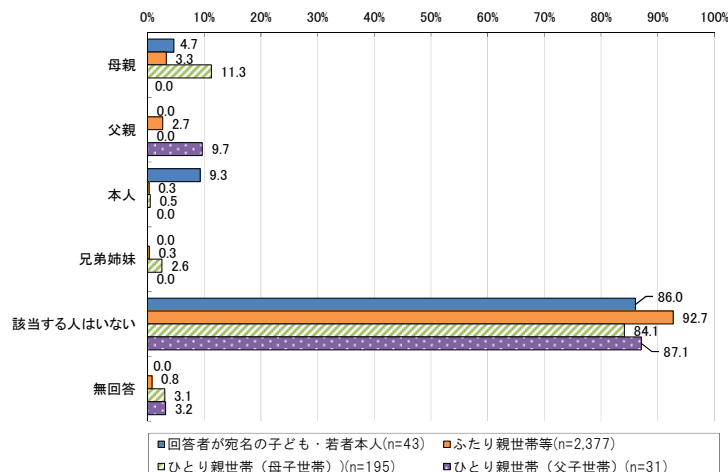
②ダブルワーク等の状況

就業の状況について、あらためて、ダブルワークの状況（世帯の中で同時に複数の仕事を掛け持ちした人があるかどうか）について把握したところ、ふたり親世帯等では、「母親」について3.3%、「父親」について2.7%であるのに対して、母子世帯では11.3%、父子世帯では9.7%と、それぞれ比較的高くなっている。なお、回答者が宛名の本人であった場合、「本人」との回答割合が9.3%となっている（図表 5-2-1）。また、可処分所得の分類とダブルワークの関係についてみると、「分類Ⅰ・Ⅱ」の場合について「父親」「母親」共に該当する割合が高くなっており、他方で「該当する人はいない」の割合は比較的低くなっている（図表 5-2-2）。

さらに、深夜・早朝の時間帯での勤務の有無について把握したところ、回答者属性・世帯類型別には、ふたり親世帯等では、「母親」が4.4%であるのに対して、母子世帯では15.9%と比較的高くなっている（図表 5-2-3）。可処分所得の分類別にみると、「父親」に関しては「分類Ⅲ・Ⅳ」の場合に最もその割合が高く、「母親」については「分類Ⅰ・Ⅱ」で最も高いという結果となっている（図表 5-2-4）。

設問 あなたの世帯に含まれる方で、昨年1年間（平成26年1月1日～12月31日の期間）に、同時に複数の仕事を掛け持ちした人はいますか（問43・複数回答）

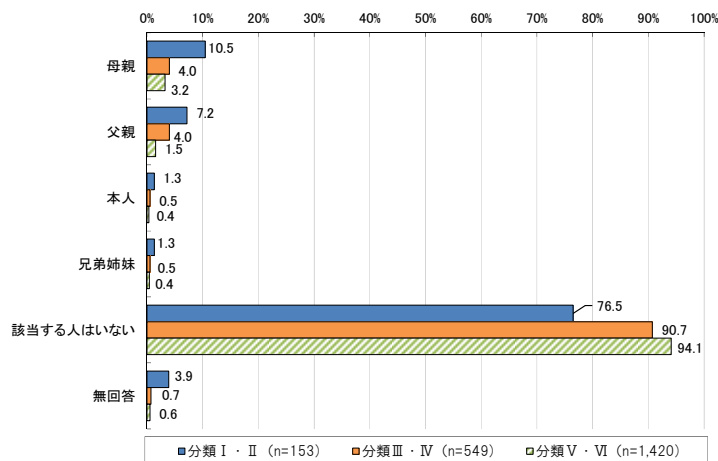
図表 5-2-1 回答者属性・世帯類型別、ダブルワーク等の状況（経験がある人の割合）



※「祖母」「祖父」「配偶者」「その他」についても調査しているが、これらについては該当者が少ないことからここでは非掲載とした。

※「兄弟姉妹」について、ここでの集計では、兄弟姉妹がいない世帯も集計の対象としている。

図表 5-2-2 可処分所得の分類別、ダブルワーク等の状況（経験がある人の割合）

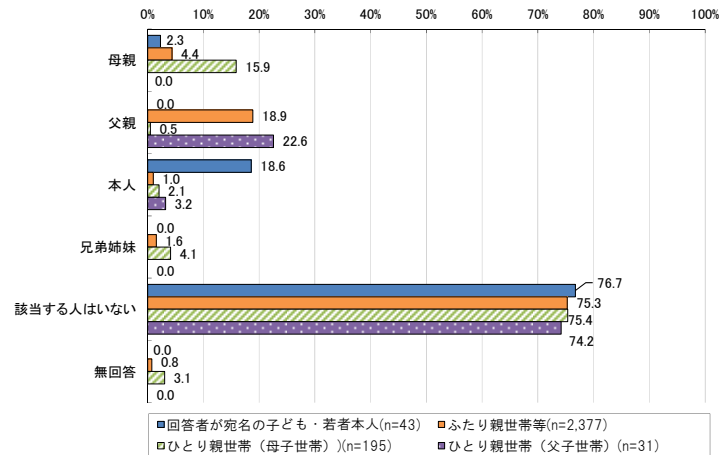


※「祖母」「祖父」「配偶者」「その他」については、該当者が少ないことからここでは非掲載とした。

※「兄弟姉妹」について、ここでの集計では、兄弟姉妹がいない世帯も集計の対象としている。

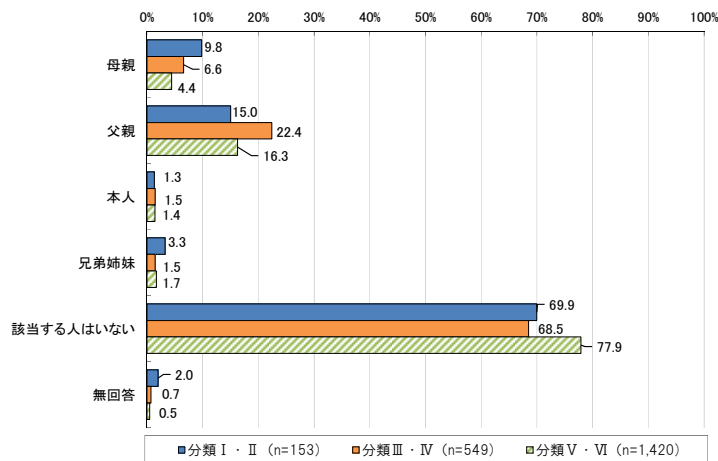
設問 あなたの世帯に含まれる方で、昨年1年間（平成26年1月1日～12月31日の期間）に、深夜（22時～5時頃）や早朝（5時～8時）の時間を勤務時間として仕事をしていましたか（問44・複数回答）

図表 5-2-3 回答者属性・世帯類型別、深夜・早朝の時間帯での勤務の状況（経験がある人の割合）



※「祖母」「祖父」「配偶者」「その他」については、該当者が少ないことからここでは非掲載とした。
 ※「兄弟姉妹」について、ここでの集計では、兄弟姉妹がいない世帯も集計の対象としている。

図表 5-2-4 可処分所得の分類別、深夜・早朝の時間帯での勤務の状況（経験がある人の割合）



※「祖母」「祖父」「配偶者」「その他」については、該当者が少ないことからここでは非掲載とした。
 ※「兄弟姉妹」について、ここでの集計では、兄弟姉妹がいない世帯も集計の対象としている。

③就業形態

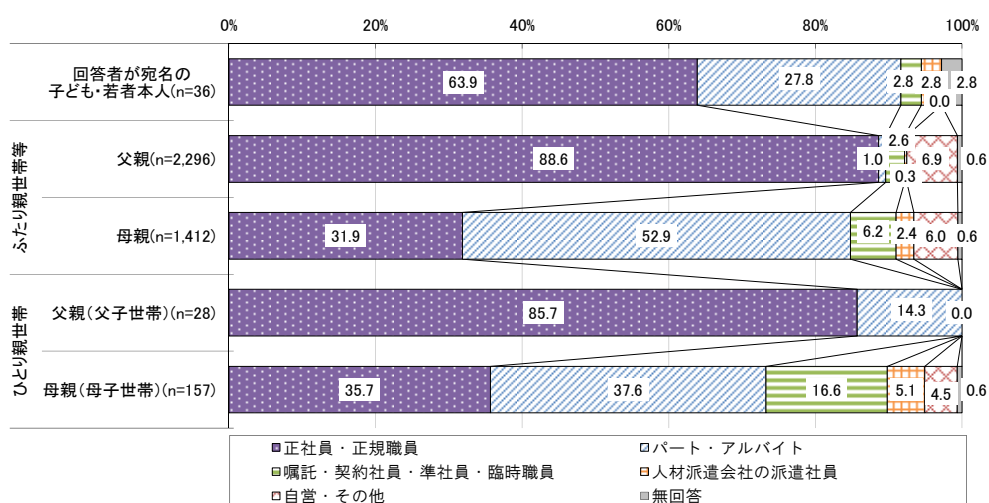
就業している場合の就業形態についてみると、ふたり親世帯等・ひとり親世帯の場合ともに、「父親」に関しては、「正社員・正規社員」の割合が8割以上となっている（図表 5-3-1）。他方で、「母親」の場合には、「正社員・正規職員」の割合は3割強となっている。

ふたり親世帯等に関して、可処分所得の分類別に就業形態についてみると、「父親」「母親」とともに、「分類Ⅰ・Ⅱ」の場合には、「正社員・正規職員」の回答割合が低くなっている（図表 5-3-2）。他方で、「自営・その他」については、「分類Ⅰ・Ⅱ」において割合が高くなっている。

設問 【問 25 で「している」と回答した人のみ】現在の仕事の就業形態は次のどれにあてはまりますか（問 25-1-1）

設問 【問 32 で「している」と回答した人のみ】配偶者の方の現在の仕事の就業形態は次のどれにあてはまりますか（問 32-1-1）

図表 5-3-1 就業形態

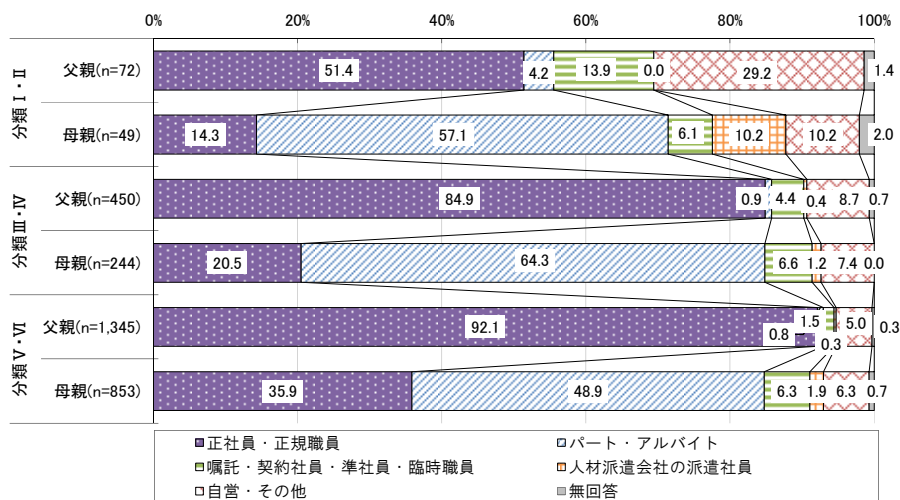


※回答者が「本人」「父親」「母親」のいずれか以外のものはここでは集計の対象外とした。

※ふたり親世帯等について、「父親」の回答は、回答者が「父親」の場合の本人の就業状況と、回答者が「母親」の場合の配偶者の就業状況を合計して算出している。「母親」の回答は、回答者が「母親」の場合の本人の就業状況と、回答者が「父親」の場合の配偶者の就業状況を合計して算出している。

※「自営・その他」は、「自営業主（商店主・農業など）」「自家営業の手伝い」「その他」を合わせた値である。

図表 5-3-2 可処分所得の分類別、父親・母親の就業形態（ふたり親世帯等のみ）



※回答者が「本人」「父親」「母親」のいずれか以外のものはここでは集計の対象外とした。

※「自営・その他」は、「自営業主（商店主・農業など）」「自家営業の手伝い」「その他」を合わせた値である。

④就労意向、働けない理由

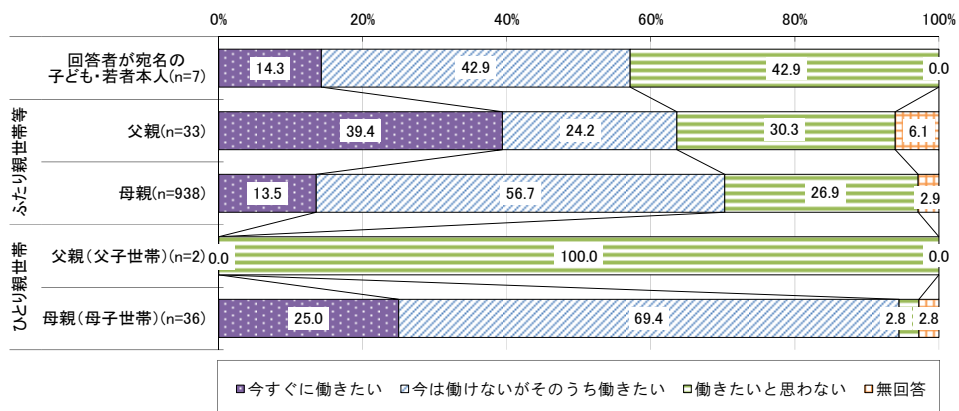
現在就業していない人に関して、働く意向があるかをたずねたところ、ふたり親世帯等の父親については、「今すぐに働きたい」が39.4%と比較的高くなっている（図表5-4-1）。ひとり親世帯では、「父親」（父子世帯）の2件についていずれも「働きたいと思わない」となっており、「母親」（母子世帯）では、「今は働けないがそのうち働きたい」の回答が69.4%と比較的高くなっている。なお、「母親」（母子世帯）について、「働きたいと思わない」との回答は2.8%であった。

「今は働けないがそのうち働きたい」と回答した場合について、集計対象者を「母親」に限定し、どのような状況になれば働きたいと思うかについて世帯類型別・可処分所得の分類別にみると、ひとり親世帯の場合、またはふたり親世帯等の場合でも可処分所得が「分類Ⅰ・Ⅱ」の場合について、「自分の問題（健康など）が解決したら」の回答割合が比較的高くなっている（図表5-4-2）。他方で、「分類Ⅲ・Ⅳ」「分類Ⅴ・Ⅵ」の場合には、「子どもが小学校に入学したら」の回答割合が比較的高くなっており、回答に違いがあることがわかる。

設問 【問25で「していない」と回答した人のみ】あなたは現在働きたいと思っていますか（問25-2-1）

設問 【問32で「していない」と回答した人のみ】配偶者の方は現在働きたいと思っていますか（問32-2-1）

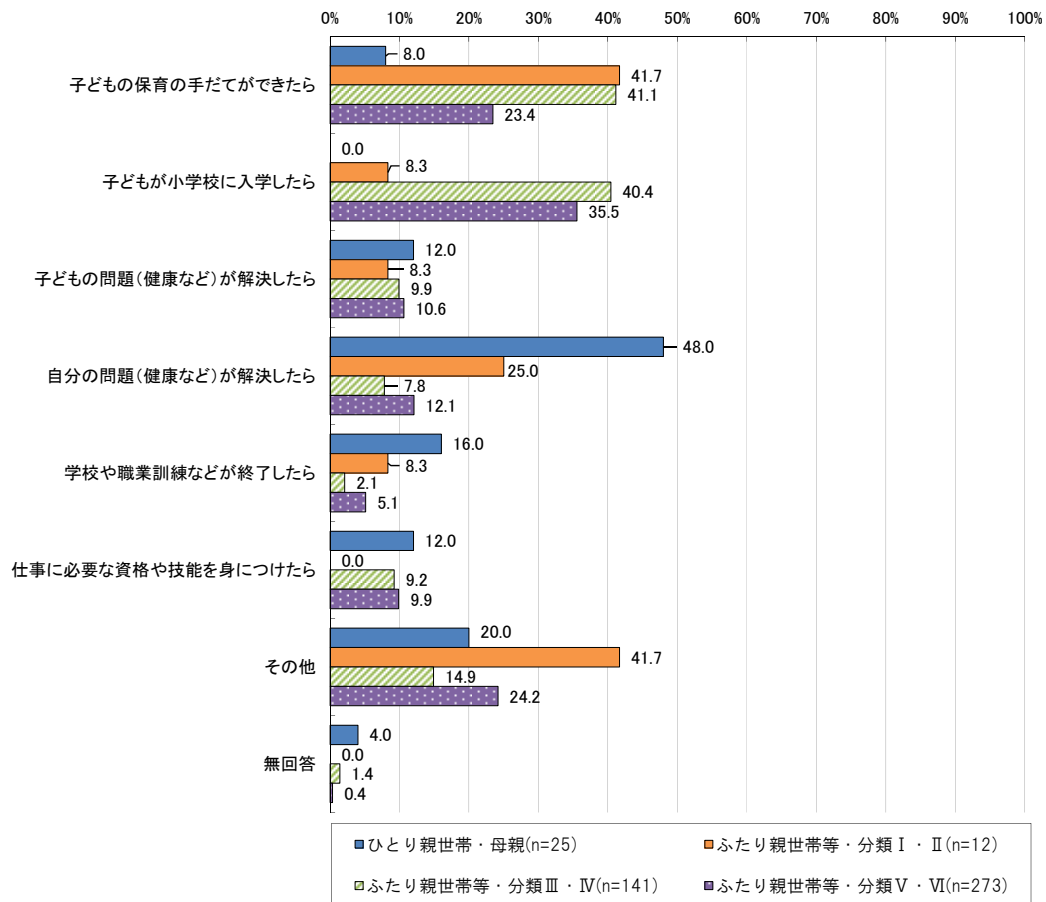
図表 5-4-1 就労意向



※回答者が「本人」「父親」「母親」のいずれか以外のものはここでは集計の対象外とした。

- 【問 25-2-1 で「今は働けないがそのうち働きたい」と回答した人のみ】どのような状況になれば働きたいと思いますか（問 25-2-3）
- 【問 32-2-1 で「今は働けないがそのうち働きたい」と回答した人のみ】（配偶者の方について）どのような状況になれば働きたいと思いますか（問 32-2-3）

図表 5-4-2 働くための条件（「母親」のみ）



※「父親」に関しては、集計対象の度数が少ないことから、ここでは集計の対象外とした

(6) 健康状態

①保護者の健康状態

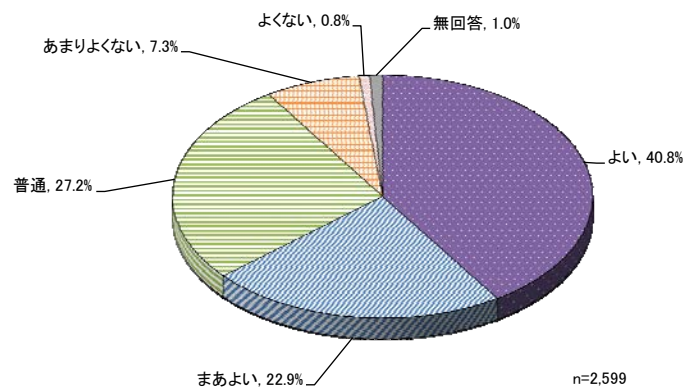
保護者の現在の健康状態についてみると、4割以上が「よい」と回答している（図表 6-1-1）。なお、「あまりよくない」は7.3%、「よくない」は0.8%であった。

この点について、世帯類型別にみると、ふたり親世帯等では、健康状態について4割以上が「よい」と回答しているが、他方で、ひとり親世帯の場合には、「よい」との回答割合が比較的低く、「あまりよくない」「よくない」の割合が比較的高くなっている（図表 6-1-2）。

また、可処分所得の分類別にみると、所得の水準が低いほど健康状態について「よい」との回答割合は低くなっており、「あまりよくない」「よくない」の割合が比較的高くなっている（図表 6-1-3）。

設問 あなたの現在の健康状態はいかがですか（問 26）

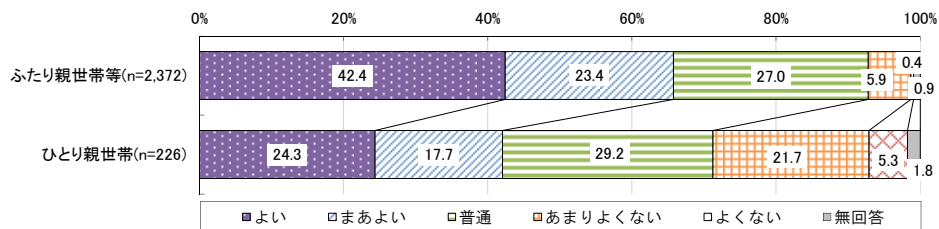
図表 6-1-1 世帯類型別、保護者の健康状態（回答者：父親・母親のみ）



※回答者本人の健康状態について集計した。

※回答者が「父親」「母親」のいずれか以外のものであれば集計の対象外とした。

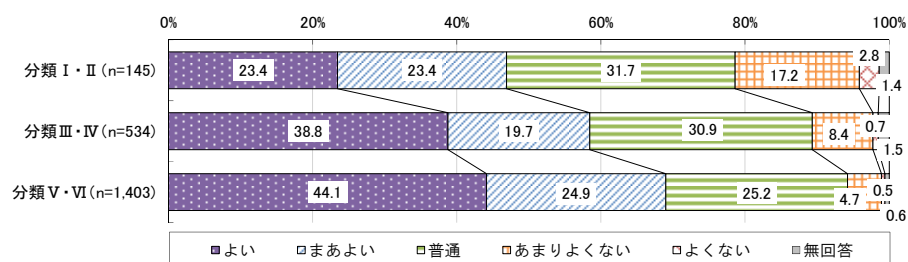
図表 6-1-2 世帯類型別、保護者の健康状態（回答者：父親・母親のみ）



※回答者本人の健康状態について集計した。

※回答者が「父親」「母親」のいずれか以外のものであれば集計の対象外とした。

図表 6-1-3 可処分所得の分類別、保護者の健康状態（回答者：父親・母親のみ）



※回答者本人の健康状態について集計した。

※回答者が「父親」「母親」のいずれか以外のものであれば集計の対象外とした。

②保護者の病気・障害等の有無

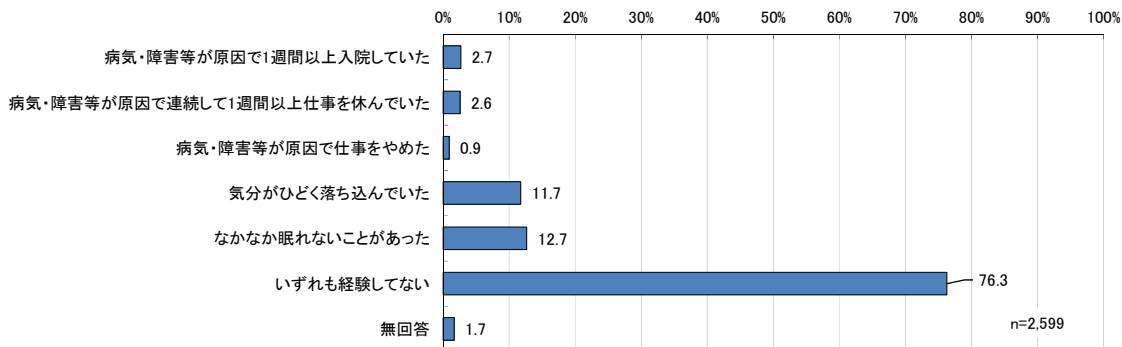
保護者について、過去1年間での病気や障害等による入院等の経験の有無についてみると、「気分がひどく落ち込んでいた」「なかなか眠れないことがあった」がそれぞれ1割強となっており、76.3%は「いずれも経験していない」との回答となっている（図表 6-2-1）

この点について、世帯類型別にみると、ふたり親世帯等の場合には、「いずれも経験していない」が約8割となっているのに対し、ひとり親世帯の場合には、「気分がひどく落ち込んでいた」や「なかなか眠れないことがあった」について3割以上となっており、必ずしも明確な病気・障害等ではなくとも、精神的に問題を抱えていたことが比較的多いことがうかがえる（図表 6-2-2）。

また、可処分所得の分類別にみると、「分類Ⅰ・Ⅱ」の場合には、やはり、「気分がひどく落ち込んでいた」「なかなか眠れないことがあった」等の回答割合が比較的高くなっている（図表 6-2-3）。

設問 あなたは、過去1年間で、病気・障害等に関する次のような経験がありますか
（問 27・複数回答）

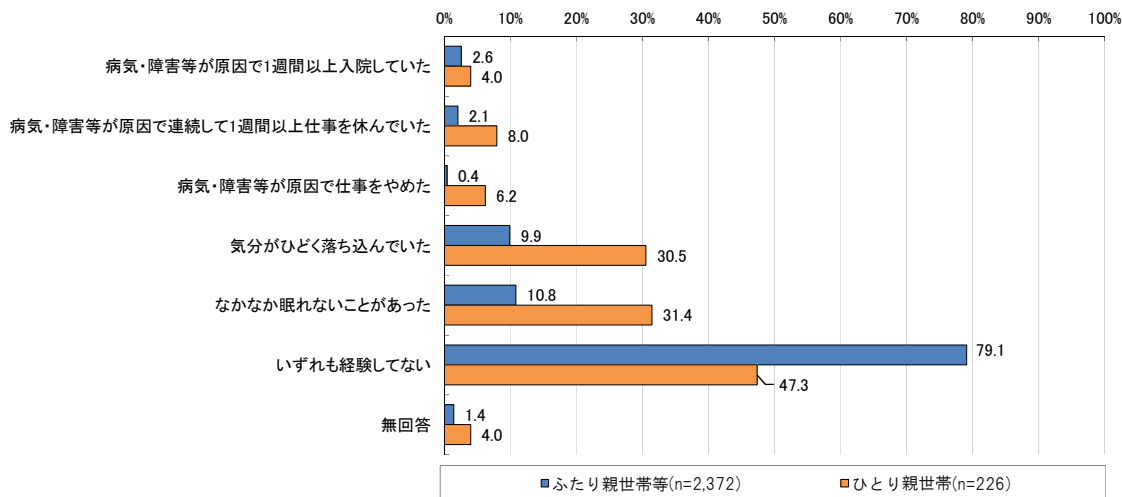
図表 6-2-1 世帯類型別、保護者の病気・障害等の有無（回答者：父親・母親のみ）



※回答者本人の状態について集計した。

※回答者が「父親」「母親」のいずれか以外のものはここでは集計の対象外とした。

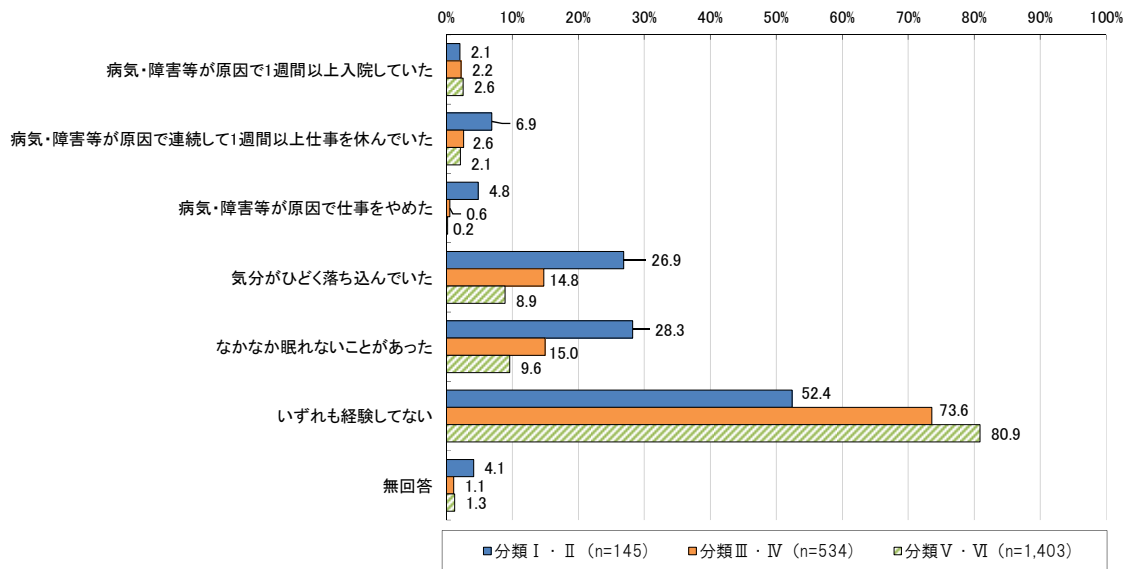
図表 6-2-2 世帯類型別、保護者の病気・障害等の有無（回答者：父親・母親のみ）



※回答者本人の状態について集計した。

※回答者が「父親」「母親」のいずれか以外のものはここでは集計の対象外とした。

図表 6-2-3 可処分所得の分類別、保護者の病気・障害等の有無（回答者：父親・母親のみ）



※回答者本人の状態について集計した。

※回答者が「父親」「母親」のいずれか以外のものはここでは集計の対象外とした。

③子ども・若者の健康状態

宛名の子ども・若者の健康状態についてたずねたところ、全体としては、「よい」が 84.3%となっている（図表 6-3-1）。なお、「あまりよくない」は 1.0%、「よくない」は 0.2%であった。

この点について、回答者属性・世帯類型別にみると、回答者が宛名の子ども・若者本人の場合には、「よい」との回答割合が比較的 low、「普通」との回答割合が高くなっている（図表 6-3-2）。また、回答者が宛名の子ども・若者本人以外の場合については、ひとり親世帯に該当する子ども・若者について、「よい」との回答割合が比較的 low になっている。

回答者が宛名の子ども・若者本人以外の場合に限定して、可処分所得の分類別にみると、所得の水準が低いほど健康状態について「よい」との回答割合が低くなっていることがわかる（図表 6-3-3）。

設問 宛名でお送りさせていただいた 0 歳から 24 歳未満の方のことで、また、その兄弟姉妹のことで、それぞれ以下の①～⑨の点について教えてください（問 9④健康状態）

図表 6-3-1 宛名の子ども・若者の健康状態

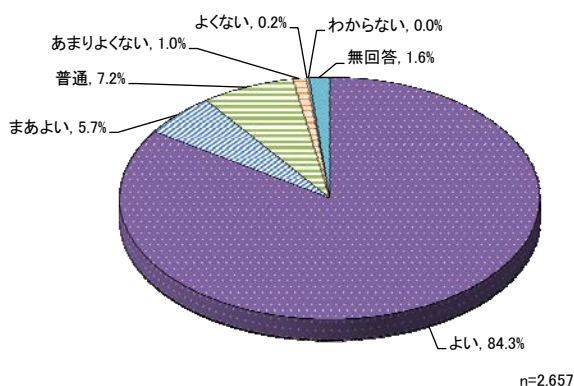
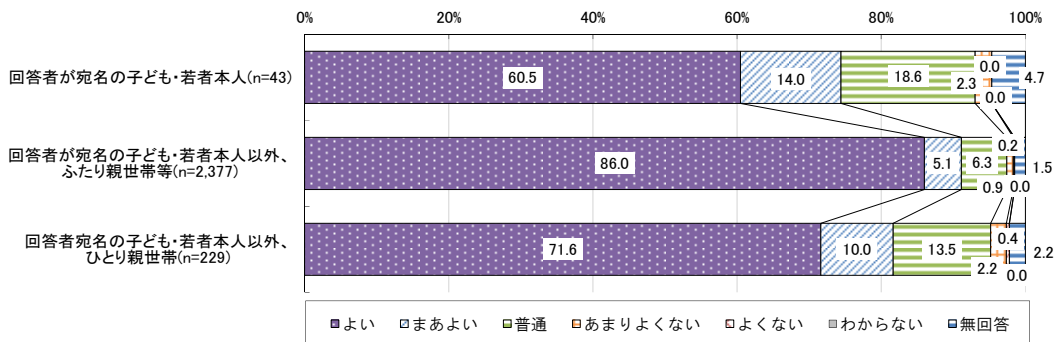
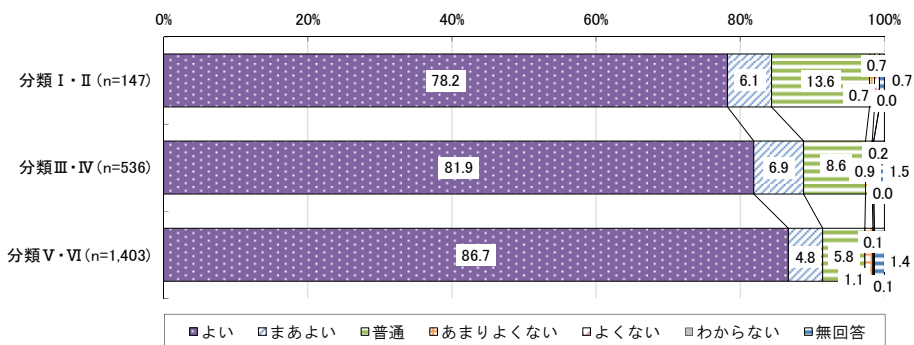


図 6-3-2 回答者属性・世帯類型別、宛名の子ども・若者の健康状態



図表 6-3-3 可処分所得の分類別、宛名の子ども・若者の健康状態



※ここでは、回答者が宛名の子ども・若者本人の場合には集計の対象外とした

④子ども・若者の障害等の有無

宛名の子ども・若者の障害等の有無についてたずねたところ、全体としては、「身体障害」がある人は 0.7%、「知的な遅れ」がある人は 1.7%、「発達障害」がある人は 2.9%、「その他」が 0.6%であった（図表 6-4-1）。

この点について、回答者属性・世帯類型別に、宛名の子ども・若者だけでなく、兄弟姉妹を含めて、回答者の世帯に該当する子ども・若者がいるかについてみると、ひとり親世帯の場合には、兄弟姉妹を含めた場合に 14.8%の世帯で何かしらの障害がある子ども・若者がいるという状況となっている（図表 6-4-2）。また、可処分所得の分類別にみると、宛名の本人について、また、兄弟姉妹を含めた場合についてともに、所得の水準が低い場合ほど、何かしらの障害がある子ども・若者がいる割合が高くなっている（図表 6-4-3）。

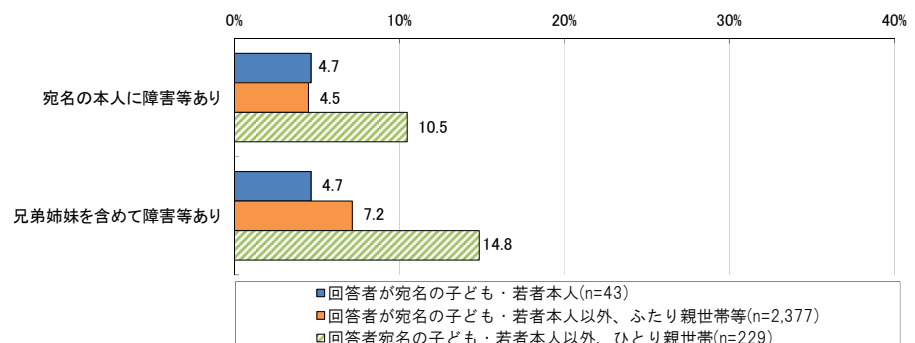
設問 宛名でお送りさせていただいた 0 歳から 24 歳未満の方のことで、また、その兄弟姉妹のことで、それぞれ以下の①～⑨の点について教えてください（問 9⑤障害等の有無・複数回答）

図表 6-4-1 宛名の子ども・若者の障害等の状況



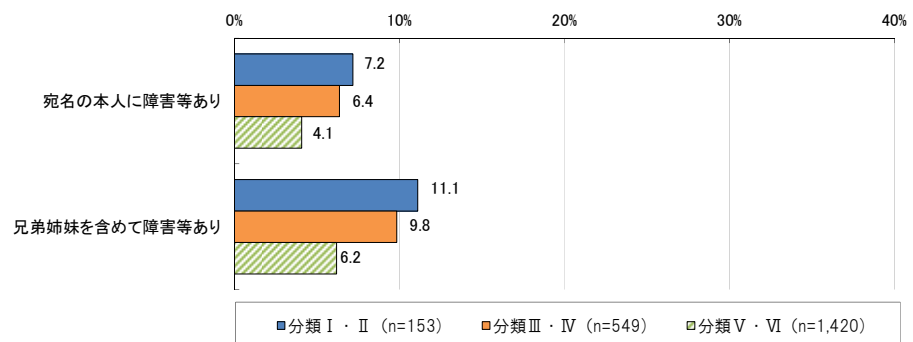
※集計には無回答であったものも分母を含む。なお、「特になし」の結果についてここでは非掲載としている。

図表 6-4-2 回答者属性・世帯類型別、子ども・若者の障害等の状況



※「身体障害」「知的な遅れ」「発達障害」「その他」のいずれかに該当する場合の割合を集計した。
 ※「兄弟姉妹を含めて障害等あり」は、回答者の世帯に該当する子ども・若者がいる場合の割合を示している。
 ※集計には無回答であったものも分母を含む。

図表 6-4-3 可処分所得の分類別、子ども・若者の障害等の状況



※「身体障害」「知的な遅れ」「発達障害」「その他」のいずれかに該当する場合の割合を集計した。
 ※「兄弟姉妹を含めて障害等あり」は、回答者の世帯に該当する子ども・若者がいる場合の割合を示している。
 ※集計には無回答であったものも分母を含む。

(7) 子どもが置かれている生活環境（基本的生活習慣）

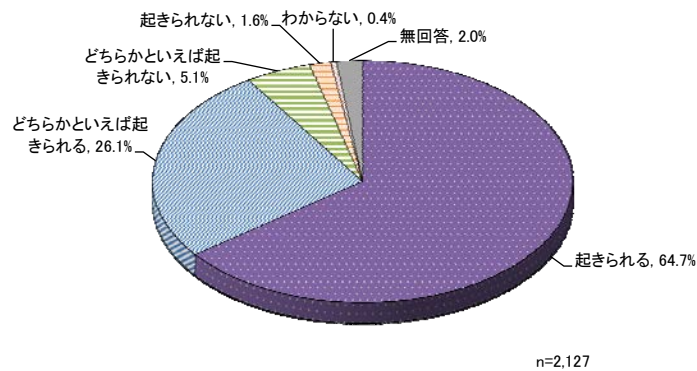
①朝の起床

宛名の子どもについて、基本的な生活習慣として、朝決まった時間に起きられるかについてたずねたところ、全体としては、64.7%が「起きられる」との回答となっている（図表 7-1-1）。

この点について、世帯類型別にみると、ひとり親世帯に該当する場合には、「起きられる」との回答割合が若干低くなっている（図表 7-1-2）。また、可処分所得の分類別にみると、「分類Ⅴ・Ⅵ」について「起きられる」の回答割合が若干高くなっているが、所得の水準が低いとその割合が低い傾向にあるという関係が必ずしも明確にみられるわけではないことがわかる（図表 7-1-3）。

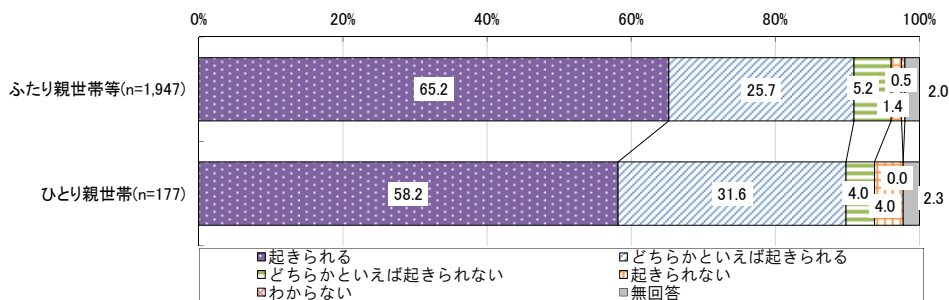
設問 宛名の子どもは、普段（月曜日～金曜日）、朝決まった時間に起きられますか（問 10）

図表 7-1-1 宛名の子どもの起床の習慣

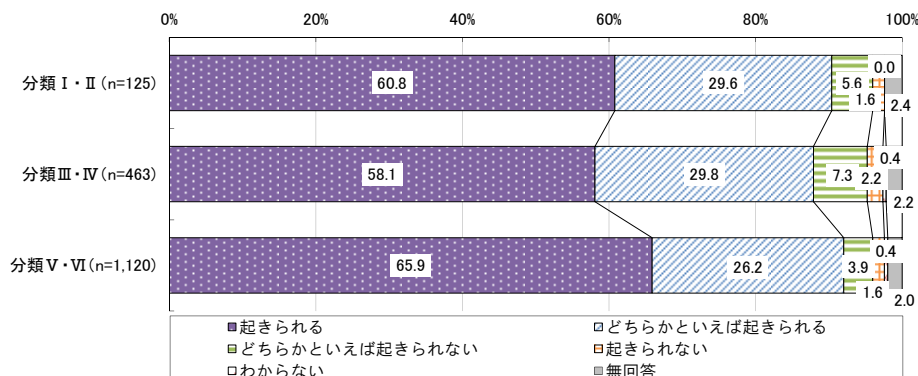


※宛名の方が 18 歳未満の子どもの場合に、その保護者が回答

図表 7-1-2 世帯類型別、宛名の子どもの起床の習慣



図表 7-1-3 可処分所得の分類別、宛名の子どもの起床の習慣



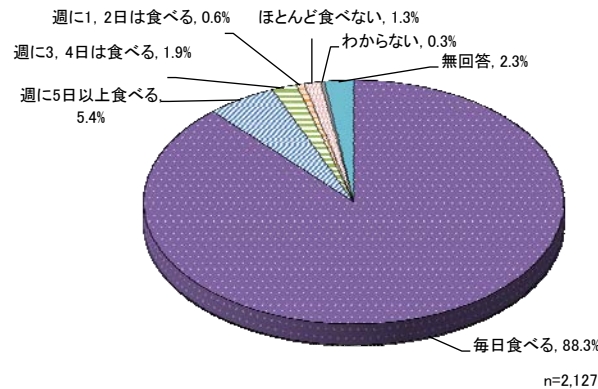
②朝食の摂取

宛名の子どもについて、朝食の摂取状況についてたずねたところ、全体としては、88.3%が「毎日食べる」との回答となっている（図表 7-2-1）。

この点について、世帯類型別にみると、ひとり親世帯に該当する場合には、「毎日食べる」との回答割合が若干低くなっている（図表 7-2-2）。また、可処分所得の分類別にみると、「分類Ⅴ・Ⅵ」について「毎日食べる」の回答割合が若干高くなっているが、所得の水準の違いによって回答状況にそれほど明確な差が見られるわけではないことがわかる（図表 7-2-3）。

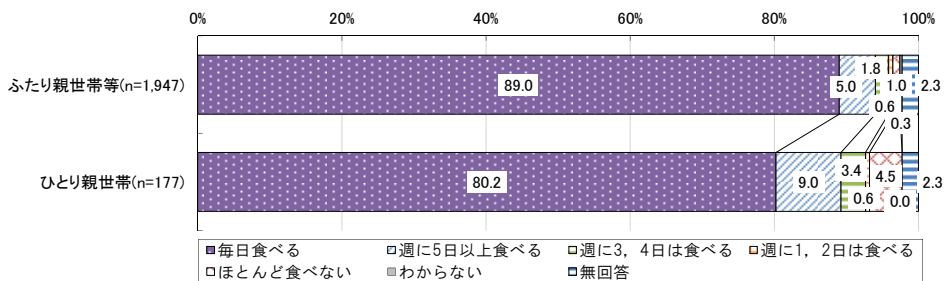
設問 宛名の子どもは、1週間に朝ごはんをどれくらい食べていますか（問 11）

図表 7-2-1 宛名の子どもの朝食の摂取状況

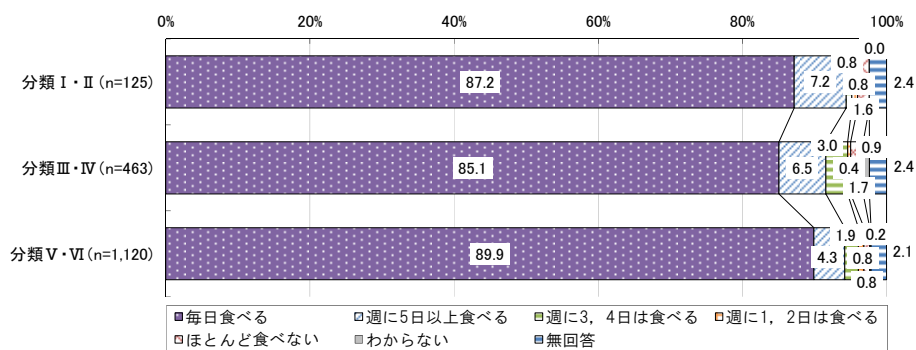


※宛名の方が18歳未満の子どもの場合に、その保護者が回答

図表 7-2-2 世帯類型別、宛名の子どもの朝食の摂取状況



図表 7-2-3 可処分所得の分類別、宛名の子どもの朝食の摂取状況



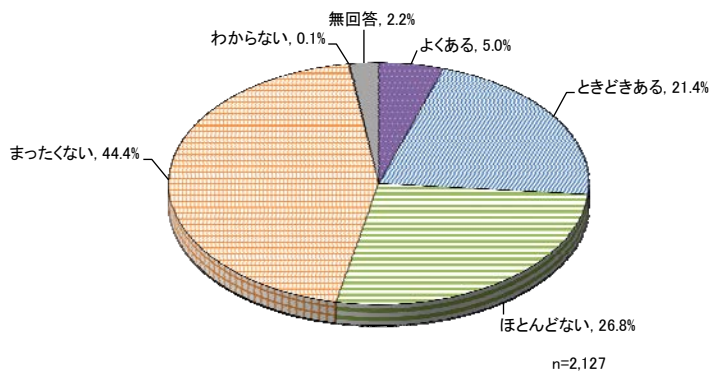
③「孤食」の状況

普段子どもだけでご飯を食べることがあるかについてたずねたところ、全体としては、「まったくない」が44.4%と最も多くなっているが、「よくある」が5.0%、「ときどきある」が21.4%となっており、約3割の世帯で「ときどき」以上の頻度で「孤食」の状況が生じていることがわかる(図表7-3-1)。

この点について世帯類型別にみると、ひとり親世帯に該当する場合には、「よくある」が10.7%、「ときどきある」が35.6%となっており、合わせて5割近くとなっている(図表7-3-2)。また、可処分所得の分類別にみると、「分類Ⅰ・Ⅱ」の場合に、「よくある」「ときどきある」の回答割合が比較的高くなっている(図表7-3-3)。

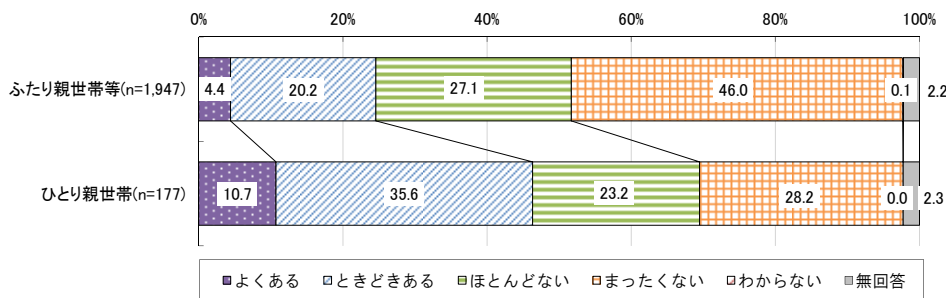
設問 普段、子どもだけでごはんを食べることがありますか(問13)

図表 7-3-1 子どもの「孤食」の状況

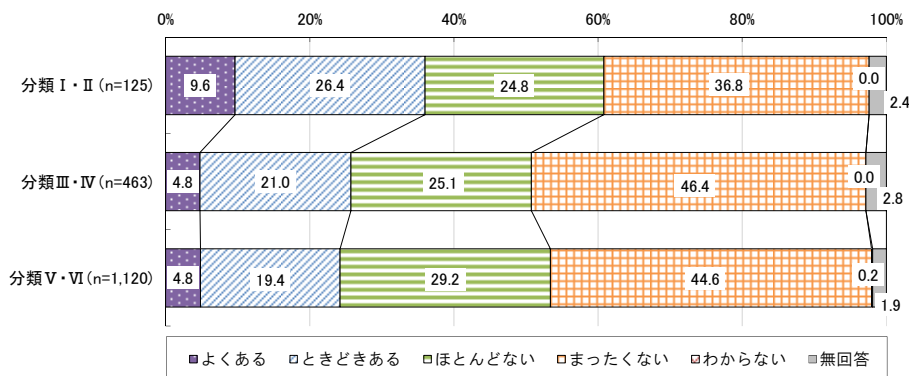


※宛名の方が18歳未満の子どもの場合に、その保護者が回答。なお、子どもが0歳の場合等についても集計対象に含む。

図表 7-3-2 世帯類型別、子どもの「孤食」の状況



図表 7-3-3 可処分所得の分類別、子どもの「孤食」の状況



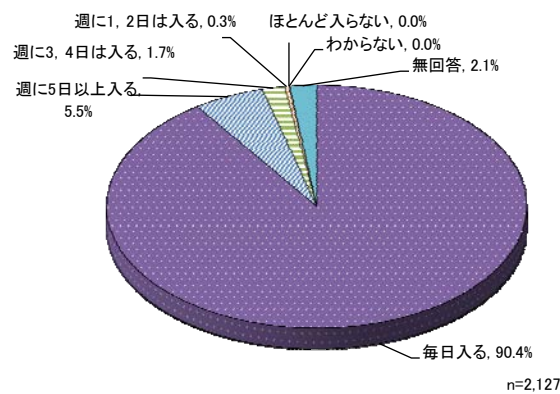
④入浴の状況

宛名の子どもについて、入浴の状況についてたずねたところ、全体としては、90.4%が「毎日入る」との回答となっている（図表 7-4-1）。

この点について世帯類型別にみると、ひとり親世帯に該当する場合には、「毎日入る」の回答割合が比較的低くなっている（図表 7-4-2）。また、可処分所得の分類別にみると、「分類Ⅰ・Ⅱ」の場合に、「毎日入る」の回答割合が比較的低くなっている（図表 7-4-3）。

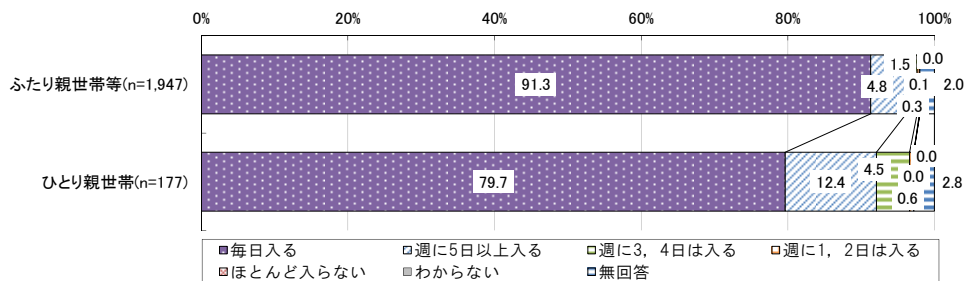
設問 宛名の子どもは、1週間にお風呂（シャワーのみの場合も含む）にどれくらい入っていますか（問 12）

図表 7-4-1 宛名の子ども・若者の入浴の状況

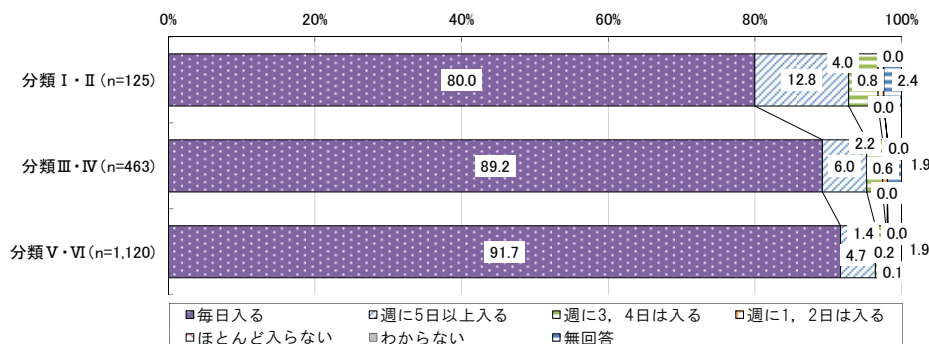


※宛名の方が18歳未満の子どもの場合に、その保護者が回答。

図表 7-4-2 世帯類型別、宛名の子ども・若者の入浴の状況



図表 7-4-3 可処分所得の分類別、宛名の子ども・若者の入浴の状況



(8) 子どもが置かれている学習・進学に関する環境

①保護者の学習・進学に関する期待意識

保護者の子どもの学習等に関する意識として、「一生懸命勉強すること」「高校卒業後大学・短大・専門学校等に進学すること」「一生懸命働くこと」「家族の介護やきょうだいの世話をすること」の4点についてどの程度重要と考えているかをたずねた。

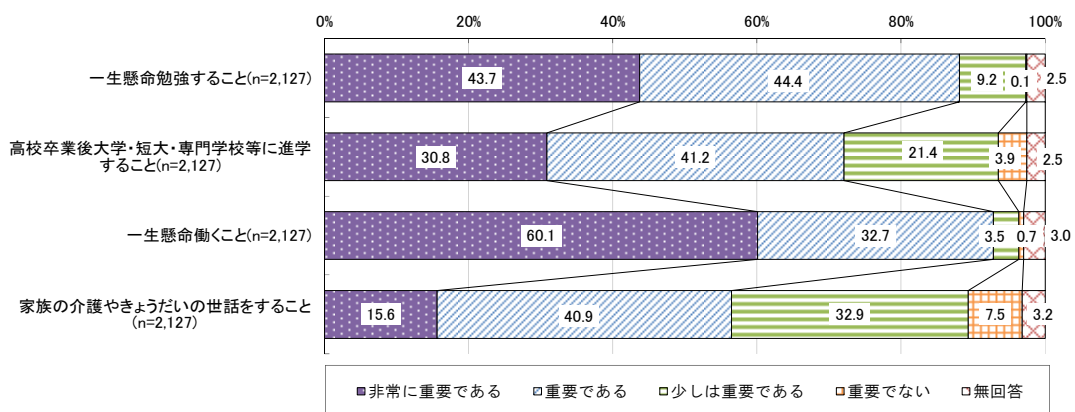
回答結果についてみると、全体としては「一生懸命働くこと」について「非常に重要である」との回答割合が60.1%となっており、多くの保護者が「重要である」と考えていることがわかる(図表8-1-1)。

世帯類型別にみると、いずれの点についても、ひとり親世帯の場合に「非常に重要である」との回答割合が比較的低くなっている(図表8-1-2)。また、可処分所得の分類別にみると、「一生懸命働くこと」「家族の介護やきょうだいの世話をすること」の回答に比べ、「一生懸命勉強すること」「高校卒業後大学・短大・専門学校等に進学すること」についての差が大きく、「分類V・VI」の場合に「非常に重要である」「重要である」の回答割合が高くなっている(図表8-1-3)。

設問 子どもにとって次のことはどの程度重要だと思いますか

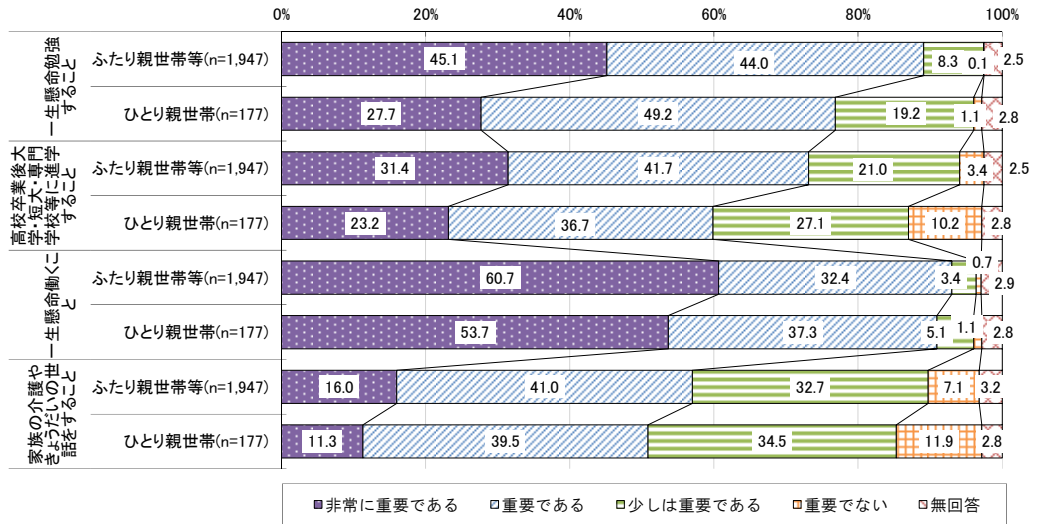
- (ア) 一生懸命勉強すること(問20・ア)
- (イ) 高校卒業後大学・短大・専門学校等に進学すること(問20・イ)
- (ウ) 一生懸命働くこと(問20・ウ)
- (エ) 家族の介護やきょうだいの世話をすること(問20・エ)

図表8-1-1 保護者の学習・進学等に関する期待意識

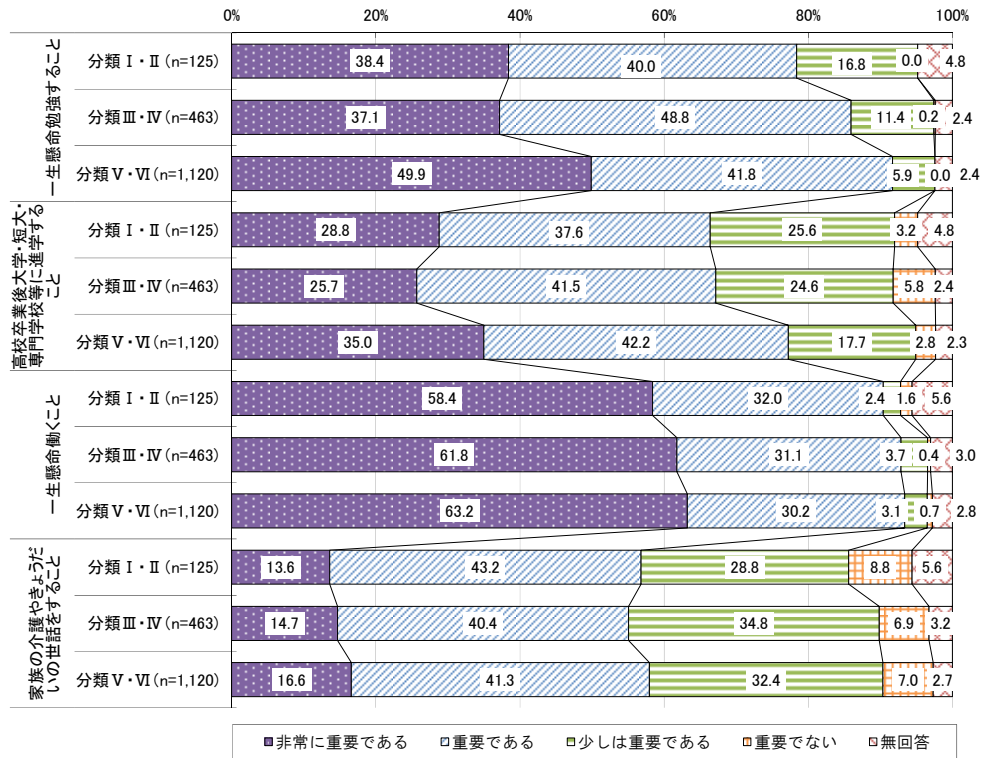


※宛名の方が18歳未満の子どもの場合に、その保護者が回答。

図表 8-1-2 世帯類型別、保護者の学習・進学等に関する期待意識



図表 8-1-3 可処分所得の分類別、保護者の学習・進学等に関する期待意識



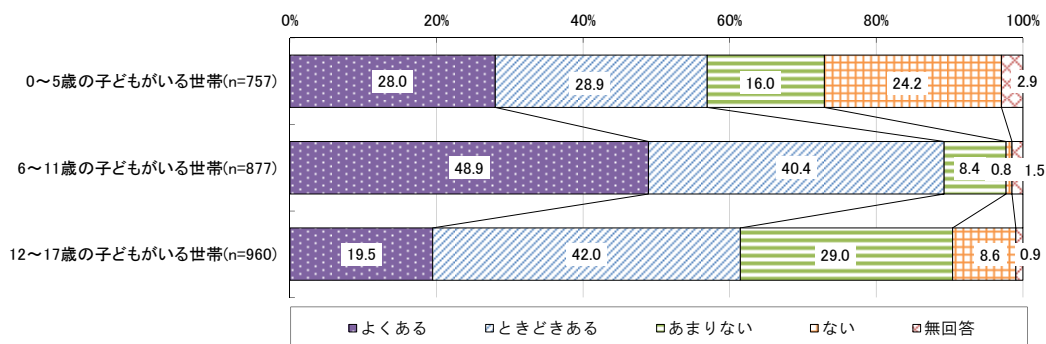
②保護者の勉強への関与

保護者が直接的に子どもに勉強を教えることがあるかについて、世帯に含まれる子どもの年齢段階別にみると、「よくある」との回答割合は「6～11歳の子どもがいる世帯」で最も高く、48.9%と約半数となっている（図表 8-2-1）。

この点について、「6～11歳の子どもがいる世帯」に限定し、世帯類型別にみると、ふたり親世帯等では「よくある」との回答が 50.9%となっているが、ひとり親世帯では、その割合は 25.4%となっている（図表 8-2-2）。また、可処分所得の分類別にみると、「分類Ⅴ・Ⅵ」の場合には、「よくある」との回答が 5割以上となっているのに対して、「分類Ⅰ・Ⅱ」では約 3割となっており、回答状況に差があることがわかる（図表 8-2-3）。

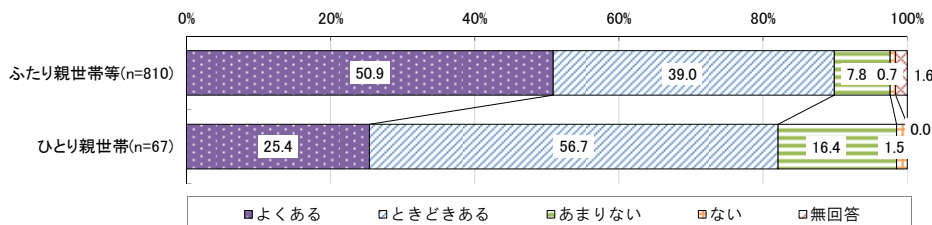
設問 あなたの世帯では、次の（ア）（イ）のようなことがどれくらいありますか
（イ）子どもに勉強を教えること（問 15・イ）

図表 8-2-1 世帯に含まれる子どもの年齢段階別、保護者の勉強への関与の度合い



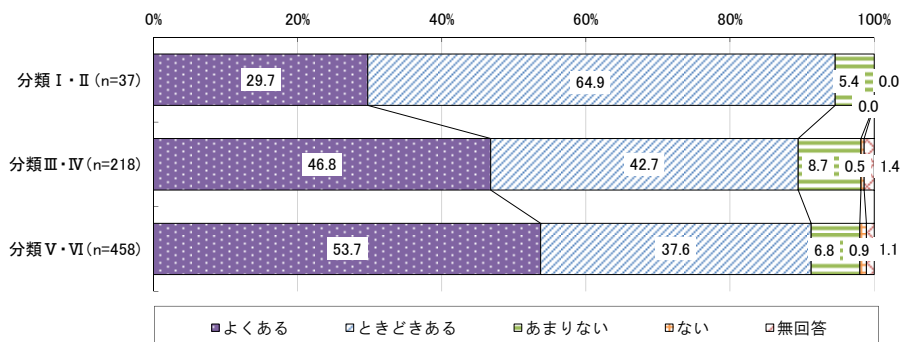
※宛名の方が 18 歳未満の子どもの場合に、その保護者が回答。

図表 8-2-2 世帯類型別、保護者の勉強への関与の度合い



※「6～11歳の子どもがいる世帯」についてのみ集計対象とした。

図表 8-2-3 可処分所得の分類別、保護者の勉強への関与の度合い



※「6～11歳の子どもがいる世帯」についてのみ集計対象とした。

③学習塾等習い事の状況

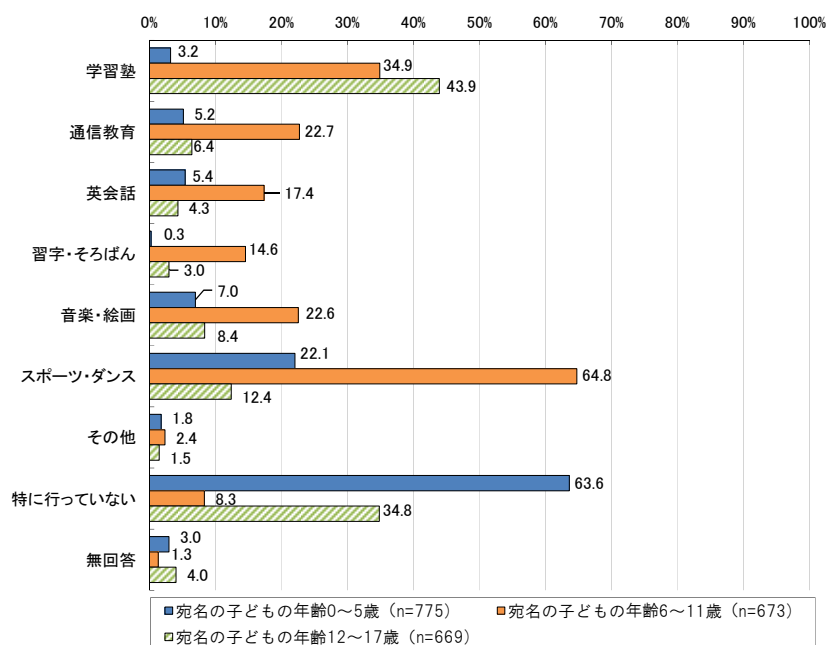
宛名の子どもの習い事の状況についてみると、宛名の子どもが「6～11歳」の場合、64.8%が「スポーツ・ダンス」を行っており、34.9%が「学習塾」に行っている。同様に、宛名の子どもが「12～17歳」の場合には、43.9%が「学習塾」に行っている（図表 8-3-1）。

宛名の子どもが「6～11歳」「12～17歳」のそれぞれの場合について、世帯類型別にみると、ひとり親世帯に該当する場合には、それぞれ「特に行っていない」の回答割合が比較的高くなっている（図表 8-3-2、図表 8-3-3）。

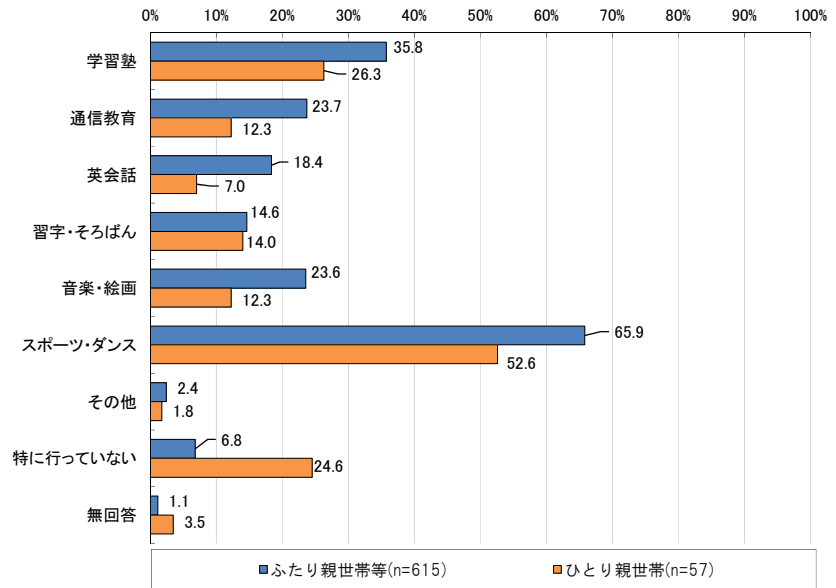
また、可処分所得の分類別にみると、宛名の子どもが「6～11歳」の場合には「学習塾」に行っている割合について、必ずしも所得が低い場合に低くなっているというわけではないが、宛名の子どもが「12～17歳」の場合には明確な違いがあり、「学習塾」に行っているのは「分類Ⅰ・Ⅱ」の場合には25.0%、「分類Ⅴ・Ⅵ」の場合には47.7%となっている（図表 8-3-4、図表 8-3-5）。

設問 宛名の子どもは、現在習い事等をしていますか（問 21・複数回答）

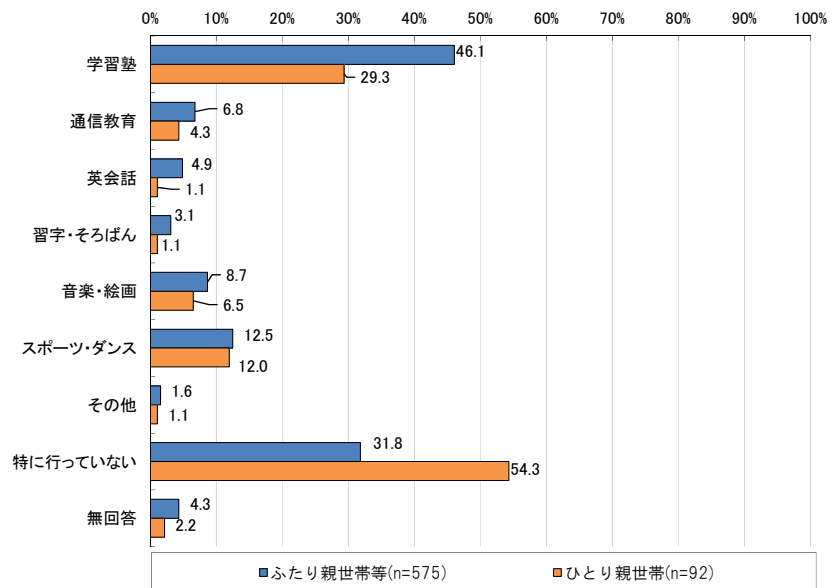
図表 8-3-1 宛名の子どもの年齢段階別、子どもの習い事の状況



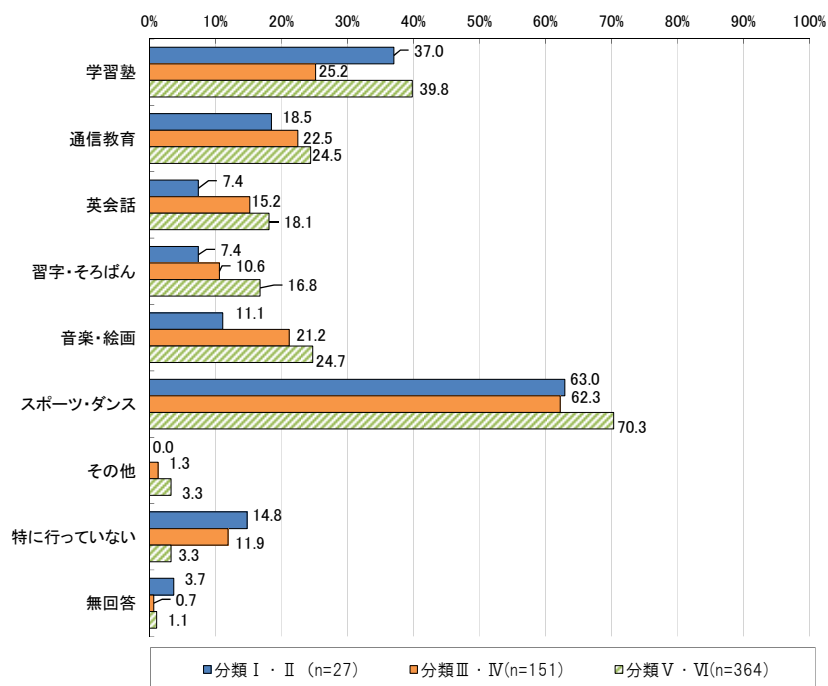
図表 8-3-2 世帯類型別、子どもの習い事の状況（宛名の子ども：6～11 歳）



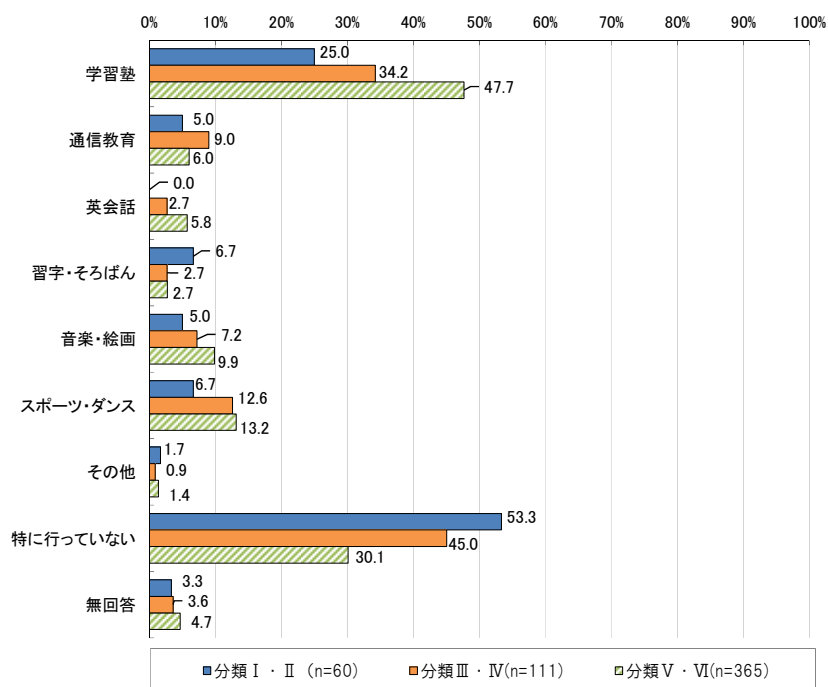
図表 8-3-3 世帯類型別、子どもの習い事の状況（宛名の子ども：12～17 歳）



図表 8-3-4 可処分所得の分類別、子どもの習い事の状況（宛名の子ども：6～11歳）



図表 8-3-5 可処分所得の分類別、子どもの習い事の状況（宛名の子ども：12～17歳）



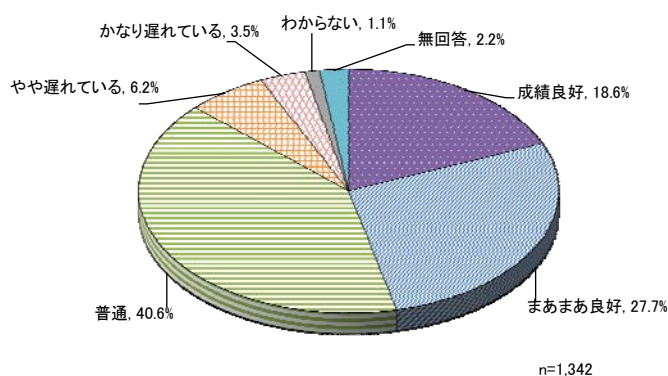
④子どもの学校等での成績の状況

宛名の子どもが6～17歳の場合に、学校等での成績の状況についてみると、「普通」が40.6%と最も多くなっており、「やや遅れている」は6.2%、「かなり遅れている」は3.5%となっている(図表8-4-1)。

この点について世帯類型別にみると、ひとり親世帯に該当する場合には、「やや遅れている」「かなり遅れている」の回答割合が比較的高くなっている(図表8-4-2)。また、可処分所得の分類別にみると、「分類Ⅰ・Ⅱ」の場合に、「やや遅れている」「かなり遅れている」の回答割合が比較的高くなっている(図表8-4-3)。

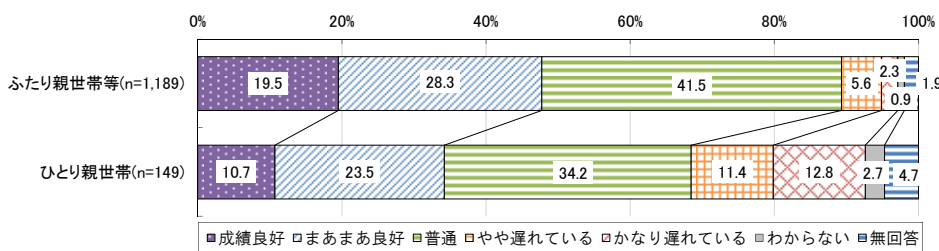
設問 宛名でお送りさせていただいた0歳から24歳未満の方のことに、また、その兄弟姉妹のことに、それぞれ以下の①～⑨の点について教えてください(問9⑥学校等での勉強全般)

図表 8-4-1 宛名の子どもの学校等での成績の状況



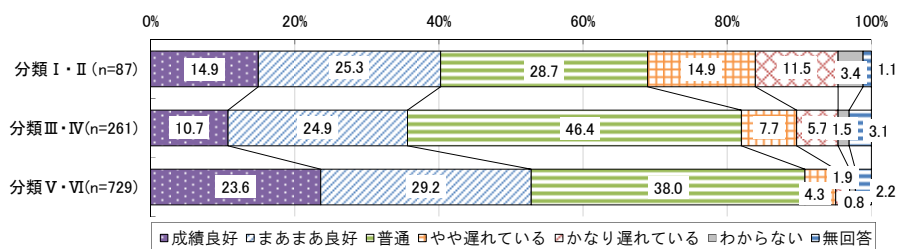
※宛名の子どもが6～17歳の場合についてのみ集計。

図 8-4-2 世帯類型別、宛名の子どもの学校等での成績の状況



※宛名の子どもが6～17歳の場合についてのみ集計。また、保護者が回答した場合についてのみ集計。

図表 8-4-3 可処分所得の分類別、宛名の子どもの学校等での成績の状況



※宛名の子どもが6～17歳の場合についてのみ集計。また、保護者が回答した場合についてのみ集計。

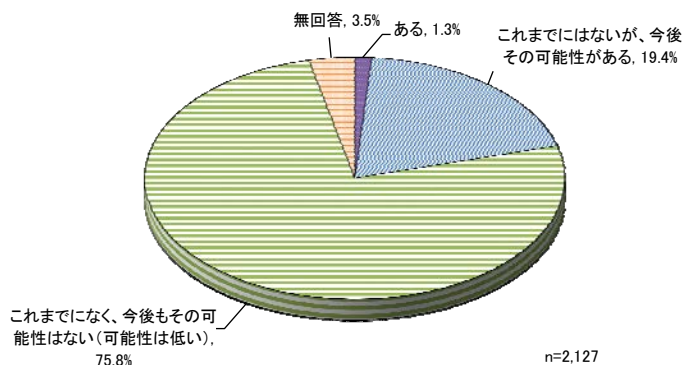
⑤経済的な理由による進学断念経験

経済的な理由により、子どもに進学を諦めさせたり学校を中退させたりしたことがあるかについてたずねたところ、「ある」が 1.3%、「これまでにはないが、今後その可能性がある」が 19.4%となっている（図表 8-5-1）。

この点について世帯類型別にみると、ひとり親世帯に該当する場合には、「ある」が 6.2%、「これまでにはないが、今後その可能性がある」が 50.3%と、合わせて 6 割近くとなっている（図表 8-5-2）。また、可処分所得の分類別にみると、「分類Ⅴ・Ⅵ」では「ある」「これまでにはないが、今後その可能性がある」との回答が合わせて 1 割未満であるのに対して、「分類Ⅰ・Ⅱ」では約 5 割となっており、回答状況の違いが明確にみられることがわかる（図表 8-5-3）。

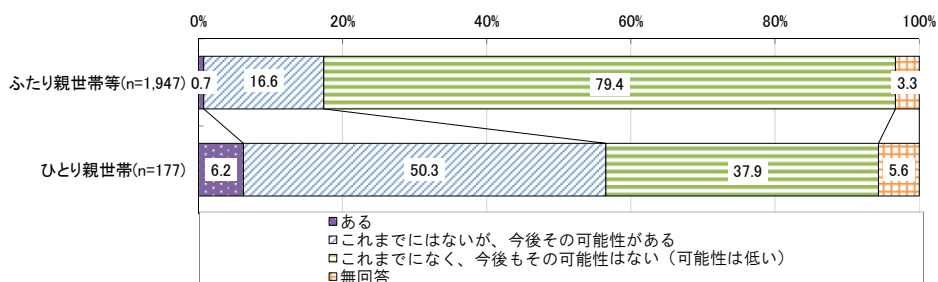
設問 あなたの世帯では、経済的な理由により、子どもに進学を諦めさせたり学校を中退させたりしたことはありますか（問 18）

図表 8-5-1 経済的な理由による進学断念・中退の有無

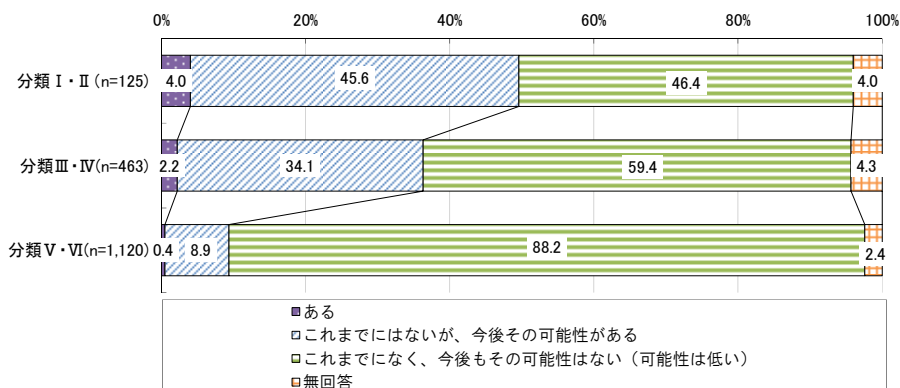


※宛名の方が 18 歳未満の子どもの場合に、その保護者が回答。

図表 8-5-2 世帯類型別、経済的な理由による進学断念・中退の有無



図表 8-5-3 可処分所得の分類別、経済的な理由による進学断念・中退の有無



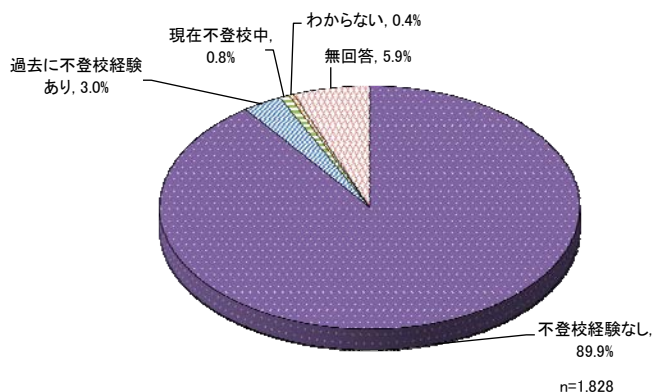
⑥不登校経験

宛名の子ども・若者が小学生以上の場合に、不登校経験の有無についてたずねたところ、「過去に不登校経験あり」が3.0%、「現在不登校中」が0.8%となっている（図表 8-6-1）。

この点について、回答者属性・世帯類型別にみると、ひとり親世帯の場合には、宛名の本人については9.2%、兄弟姉妹を含めた場合には17.5%の世帯で不登校経験がある子ども・若者がいるという状況となっている（図表 8-6-2）。また、可処分所得の分類別にみると、所得の水準が低い場合ほど、不登校経験を有する子ども・若者がいる世帯の割合が高くなっている（図表 8-6-3）。

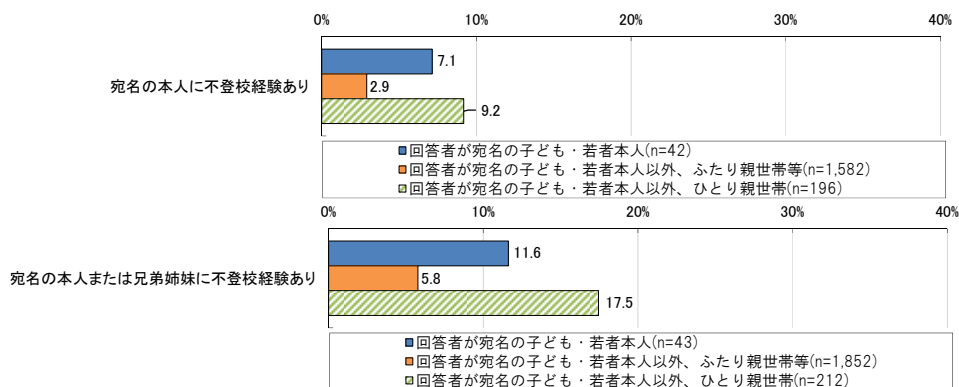
設問 宛名でお送りさせていただいた0歳から24歳未満の方のことについて、また、その兄弟姉妹のことについて、それぞれ以下の①～⑨の点についてお教えてください（問9⑦不登校の有無）

図表 8-6-1 宛名の子ども・若者の不登校経験



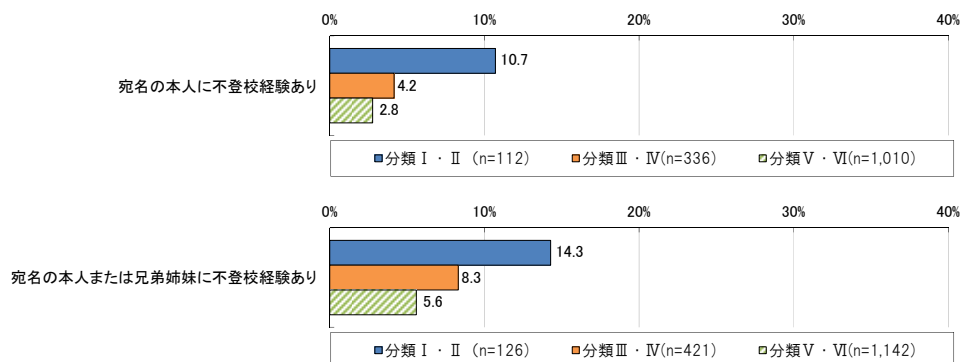
※宛名の子どもが小学生以上の場合のみ

図表 8-6-2 世帯類型別、子ども・若者の不登校経験



※「宛名の本人または兄弟姉妹に不登校経験あり」については、小学生以上の兄弟姉妹の状況についても合わせて集計

図表 8-6-3 可処分所得の分類別、子ども・若者の不登校経験



※「宛名の本人または兄弟姉妹に不登校経験あり」については、小学生以上の兄弟姉妹の状況についても合わせて集計

⑦子ども・若者の最終学歴

宛名の子ども・若者について、学校等を既に卒業している者の最終学歴についてみると、「大学卒業」が最も多く、37.7%となっている（図表 8-7-1）。

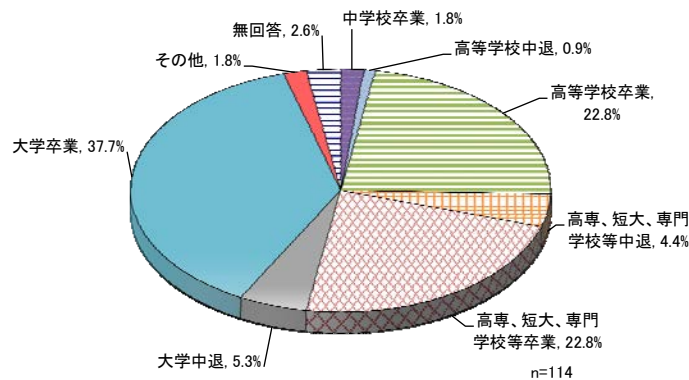
また、兄弟姉妹を含めて、学校等を既に卒業している者の最終学歴についてみると、「大学卒業」が 47.4%と最も多く、次いで「高専、短大、専門学校等卒業」が 18.2%となっている（図表 8-7-2）。なお、「高等学校中退」は 2.1%、「高専、短大、専門学校等中退」は 4.0%、「大学中退」は 3.3%となっており、進学した後に中退した者も一定程度の割合で見られる。

兄弟姉妹を含めた最終学歴の状況について回答者属性・世帯類型別にみると、保護者がひとり親世帯に該当する場合には、「高等学校卒業」が 33.3%となっており、「大学卒業」の割合（33.3%）と同水準となっている（図表 8-7-3）。また、「高等学校中退」「高専、短大、専門学校等中退」「大学中退」の割合について、それぞれふたり親世帯等と比較して高くなっている。

可処分所得の分類別にみると、「分類Ⅴ・Ⅵ」の場合には「大学卒業」が 59.9%であるのに対して、「分類Ⅰ・Ⅱ」の場合には 20.0%となっており、状況に明確な違いがあることがわかる（図表 8-7-4）。

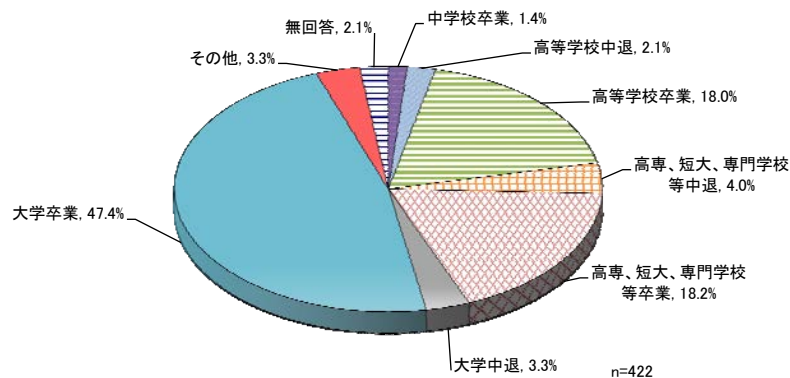
設問 宛名でお送りさせていただいた 0 歳から 24 歳未満の方のことに、また、その兄弟姉妹のことに、それぞれ以下の①～⑨の点について教えてください（問 9⑧最終学歴）

図表 8-7-1 宛名の子ども・若者の最終学歴



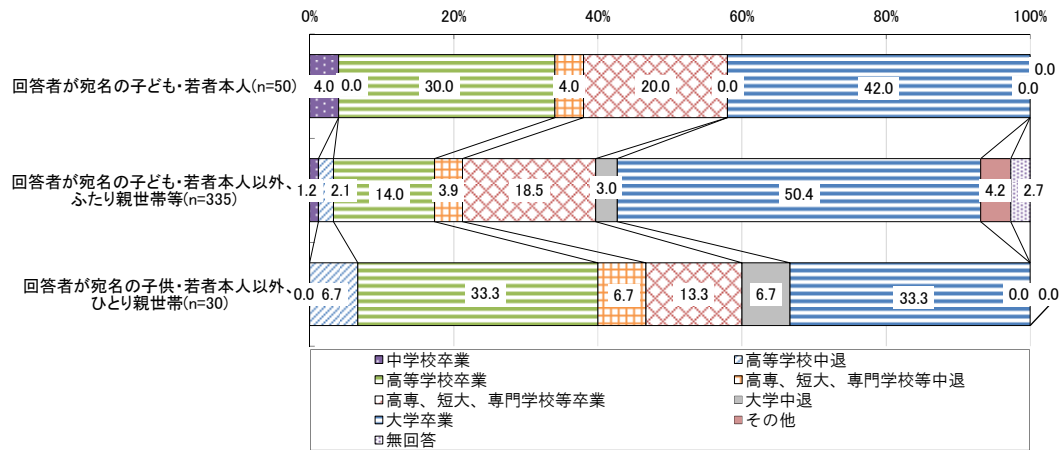
※宛名の子ども・若者について「学校等は既に卒業等している」場合のみ集計。なお、ここでの「その他」は、「大学院中退」「大学院修了」「その他教育機関中退」「その他教育機関卒業」「その他」を合わせた値である。

図表 8-7-2 子ども・若者の最終学歴（兄弟姉妹を含めた集計）



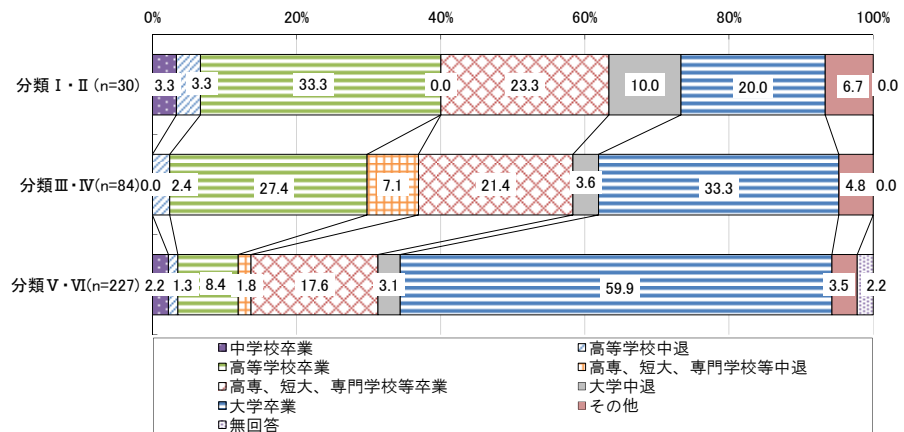
※兄弟姉妹を含み「学校等は既に卒業等している」場合のみ集計。なお、ここでの「その他」は、「大学院中退」「大学院修了」「その他教育機関中退」「その他教育機関卒業」「その他」を合わせた値である。

図表 8-7-3 回答者属性・世帯類型別、若者の最終学歴（兄弟姉妹を含めた集計）



※兄弟姉妹を含み「学校等は既に卒業等している」場合のみ集計。なお、ここでの「その他」は、「大学院中退」「大学院修了」「その他教育機関中退」「その他教育機関卒業」「その他」を合わせた値である。

図表 8-7-4 可処分所得の分類別、若者の最終学歴（兄弟姉妹を含めた集計）



※兄弟姉妹を含み「学校等は既に卒業等している」場合のみ集計。なお、ここでの「その他」は、「大学院中退」「大学院修了」「その他教育機関中退」「その他教育機関卒業」「その他」を合わせた値である。

⑧学校等卒業後の就業等の状況

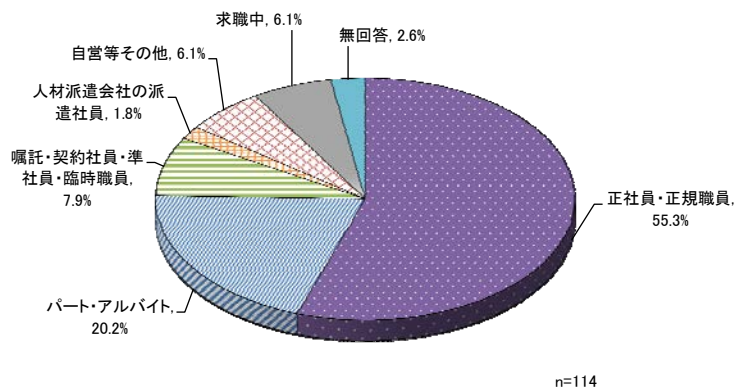
宛名の子ども・若者について、学校等を既に卒業している者の就業等の状況についてみると、「正社員・正規社員」が55.3%と最も多く、次いで「パート・アルバイト」が20.2%となっている（図表8-8-1）。また、兄弟姉妹を含めて、学校等を既に卒業している者の就業等の状況についてみると、「正社員・正規社員」が59.5%と最も多く、「パート・アルバイト」は15.9%となっている（図表8-8-2）。

兄弟姉妹を含めた学校等卒業後の就業等の状況について回答者属性・世帯類型別にみると、保護者がひとり親世帯に該当する場合には、「パート・アルバイト」が40.0%となっており、「正社員・正規職員」の割合（36.7%）よりも若干高くなっている（図表8-8-3）。

可処分所得の分類別にみると、「分類Ⅴ・Ⅵ」の場合には「正社員・正規職員」が62.1%であるのに対して、「分類Ⅰ・Ⅱ」の場合には53.3%となっており、状況に若干の違いがみられる（図表8-8-4）。

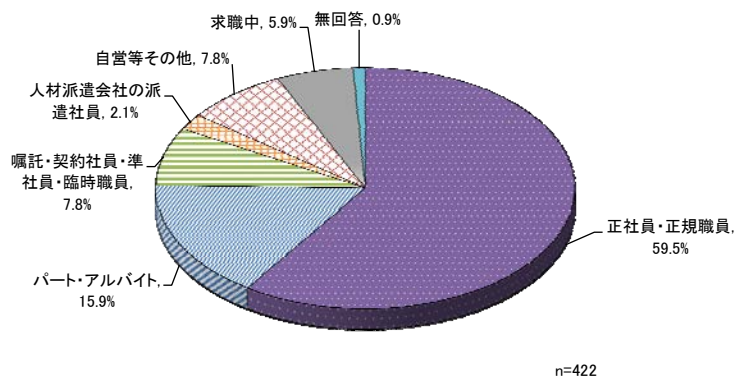
設問 宛名でお送りさせていただいた0歳から24歳未満の方のこについて、また、その兄弟姉妹のこについて、それぞれ以下の①～⑨の点についてお教えてください（問9⑨就業等の状況）

図表8-8-1 宛名の子ども・若者の就業等の状況



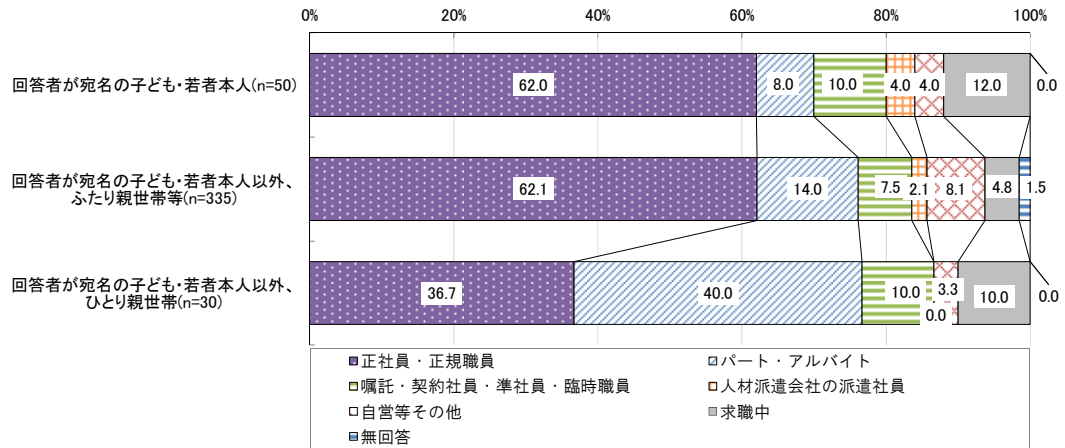
※宛名の子ども・若者について「学校等は既に卒業等している」場合のみ集計。なお、ここでの「自営等その他」は、「自営業主（商店主・農業など）」「自家営業の手伝い」「主夫・主婦」「その他」を合わせた値である。

図表8-8-2 子ども・若者の就業等の状況（兄弟姉妹を含めた集計）



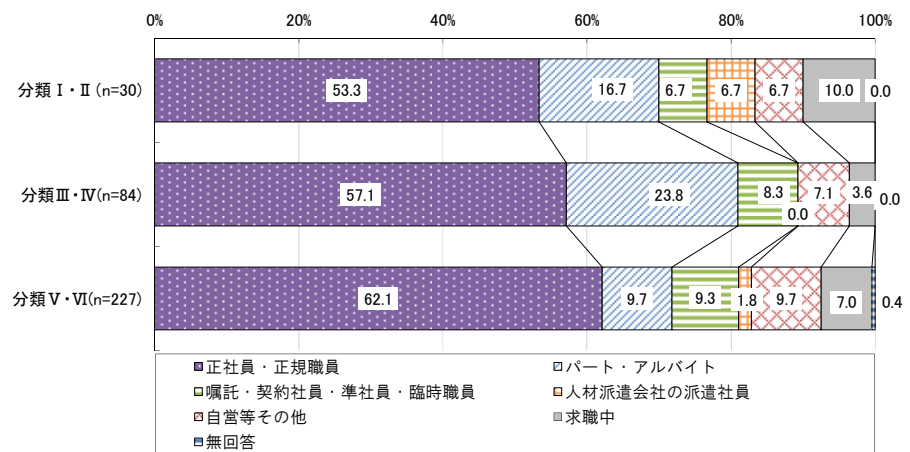
※兄弟姉妹を含み「学校等は既に卒業等している」場合のみ集計。なお、ここでの「自営等その他」は、「自営業主（商店主・農業など）」「自家営業の手伝い」「主夫・主婦」「その他」を合わせた値である。

図表 8-8-3 世帯類型別、子ども・若者の卒業後の進路（兄弟姉妹を含めた集計）



※兄弟姉妹を含み「学校等は既に卒業等している」場合のみ集計。なお、ここでの「自営等その他」は、「自営業主（商店主・農業など）」「自家営業の手伝い」「主夫・主婦」「その他」を合わせた値である。

図表 8-8-4 可処分所得の分類別、若者の卒業後の状況（兄弟姉妹を含めた集計）



※兄弟姉妹を含み「学校等は既に卒業等している」場合のみ集計。なお、ここでの「自営等その他」は、「自営業主（商店主・農業など）」「自家営業の手伝い」「主夫・主婦」「その他」を合わせた値である。

(9) 貧困の背景、貧困の連鎖

①保護者自身の親との関係性

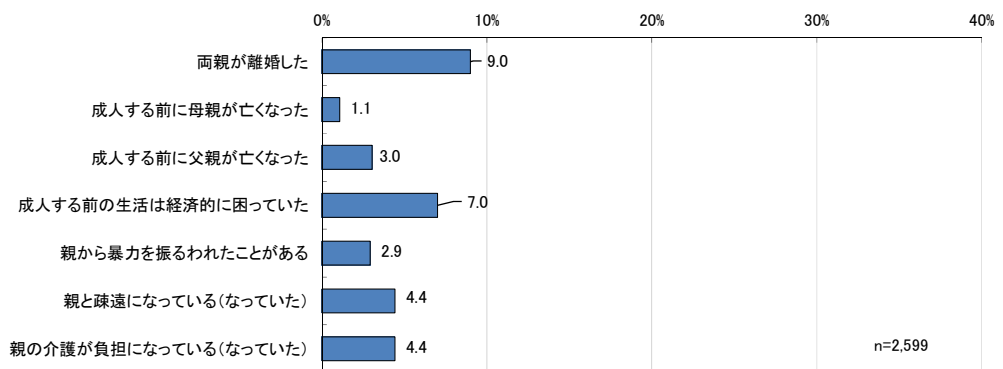
貧困の背景にある要因や連鎖の状況に関し、アンケートに回答した保護者の親との関係性についてみると、「両親が離婚した」が9.0%、「成人する前の生活は経済的に困っていた」は7.0%となっている（図表9-1-1）。

この点について世帯類型別にみると、ひとり親世帯に該当する場合には、「両親が離婚した」との回答割合が2割以上となっており、ふたり親世帯等と比較して高くなっている（図表9-1-2）。なお、ひとり親世帯では、「成人する前の生活は経済的に困っていた」や、「親から暴力を振るわれたことがある」「親と疎遠になっている(なっていた)」「親の介護が負担になっている(なっていた)」についても、回答割合が比較的高くなっている。

可処分所得の分類別にみると、「分類Ⅰ・Ⅱ」の場合に、「両親が離婚した」は15.2%、「成人する前の生活は経済的に困っていた」は15.9%となっており、「分類Ⅴ・Ⅵ」と比べて高くなっている（図表9-1-3）。

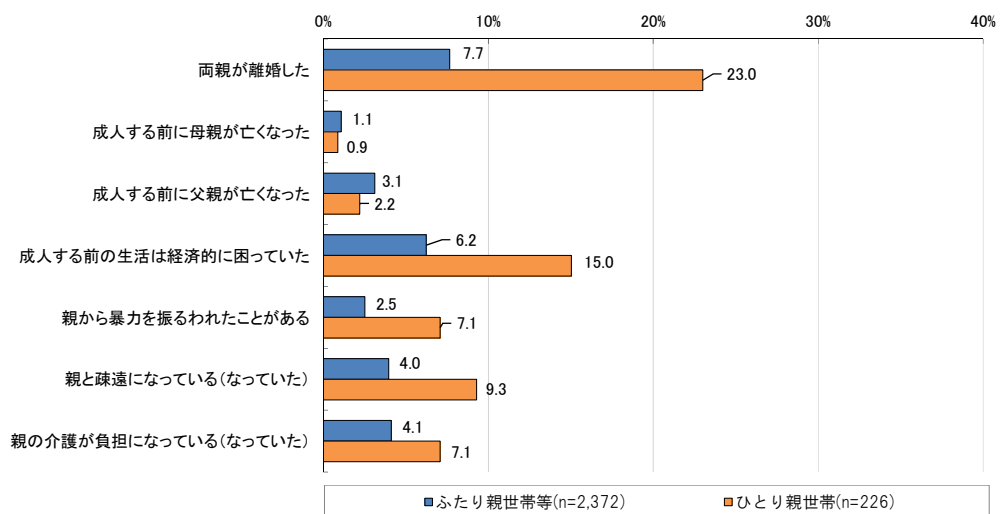
設問 あなたは、以下のような経験をしたことがありますか（問28・複数回答）

図表9-1-1 保護者の親との関係性



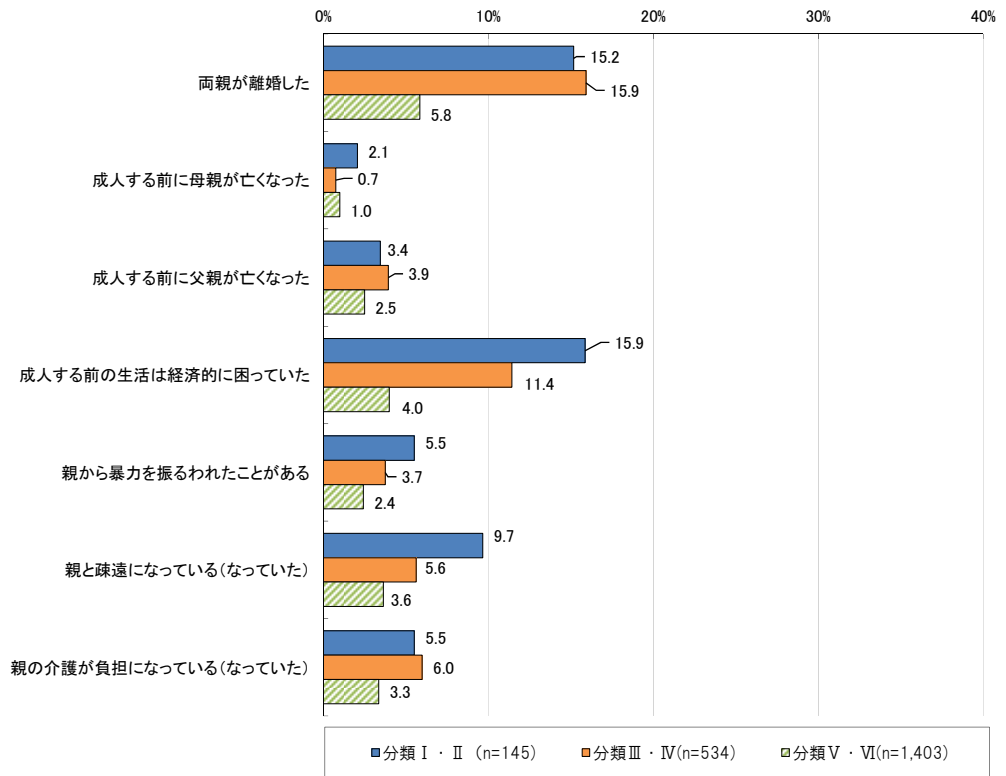
※回答者が「父親」「母親」のいずれか以外のもはここでは集計の対象外とした。
 ※集計には無回答であったものも分母に含む。

図表9-1-2 世帯類型別、保護者の親との関係性



※回答者が「父親」「母親」のいずれか以外のもはここでは集計の対象外とした。
 ※集計には無回答であったものも分母に含む。

図表 9-1-3 可処分所得の分類別、保護者の親との関係性



※回答者が「父親」「母親」のいずれか以外のもはここでは集計の対象外とした。
 ※集計には無回答であったものも分母に含む。

②配偶者間の関係性

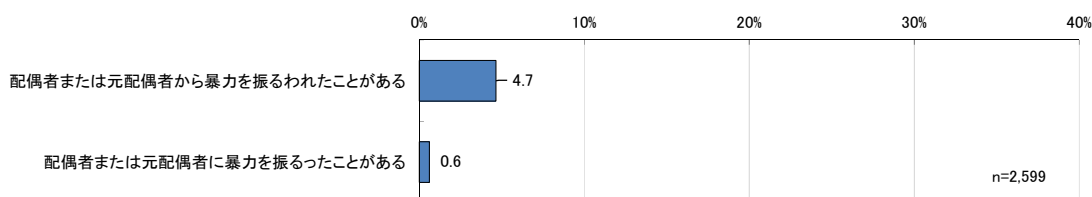
配偶者との関係、特に暴力の有無についてみると、「配偶者または元配偶者から暴力を振るわれたことがある」は4.7%、「暴力を振るったことがある」は0.6%となっている（図表9-2-1）。

この点について世帯類型別にみると、ひとり親世帯に該当する場合には、「配偶者または元配偶者から暴力を振るわれたことがある」との回答割合が2割以上となっている（図表9-2-2）。

また、可処分所得の分類別にみると、「分類Ⅰ・Ⅱ」の場合に、「暴力を振るわれたことがある」の回答割合が1割以上となっている（図表9-2-3）。

設問 あなたは、以下のような経験をしたことがありますか（問28・複数回答）

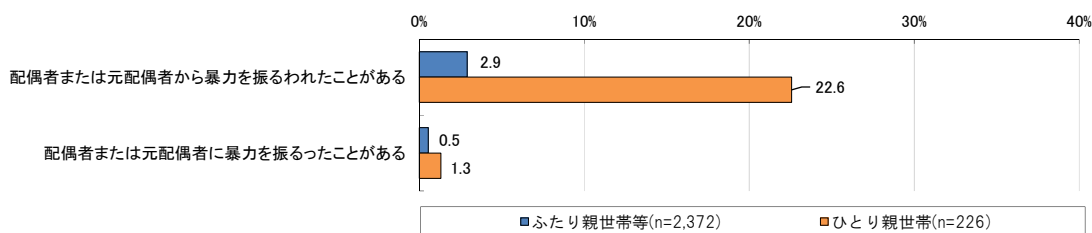
図表9-2-1 配偶者との関係性



※回答者が「父親」「母親」のいずれか以外のものはここでは集計の対象外とした。

※集計には無回答であったものも分母に含む。

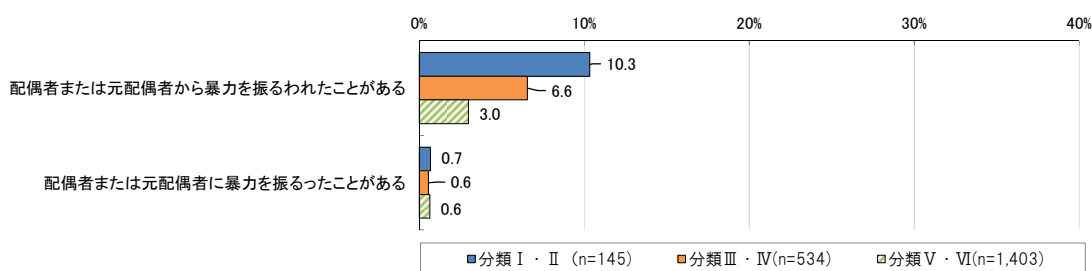
図表9-2-2 世帯類型別、配偶者との関係性



※回答者が「父親」「母親」のいずれか以外のものはここでは集計の対象外とした。

※集計には無回答であったものも分母に含む。

図表9-2-3 可処分所得の分類別、配偶者との関係性



※回答者が「父親」「母親」のいずれか以外のものはここでは集計の対象外とした。

※集計には無回答であったものも分母に含む。

③学歴の再生産

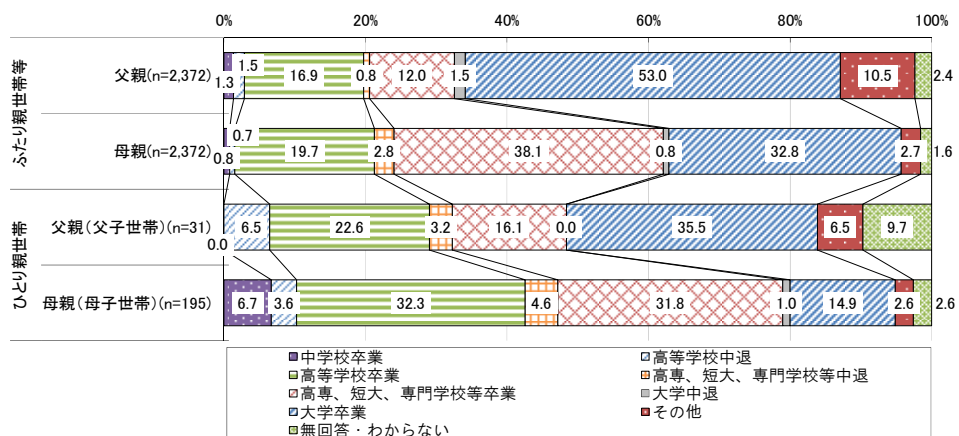
貧困の背景にある要因として、保護者の学歴についてみると、父親の最終学歴について「大学卒業」と回答した割合は、ふたり親世帯等では 53.0%であるのに対して、父子世帯では 35.5%となっている（図表 9-3-1）。「中学校卒業」あるいは「高等学校中退」と回答した割合に着目すると、ふたり親世帯等では 2.8%であるのに対して、父子世帯では 6.5%となっている。

また、母親の学歴について「大学卒業」と回答した割合は、ふたり親世帯等では 32.8%、母子世帯では 14.9%となっている。「中学校卒業」あるいは「高等学校中退」と回答した割合は、ふたり親世帯等では 1.5%であるのに対して、母子世帯では 10.3%となっている。

また、保護者の学歴と子ども・若者の学歴との関係について把握した。集計対象数との関係から、ここでは、ふたり親世帯等に限定し、父親・母親の学歴の組み合わせとして、「ともに非大学卒業」「いずれかが大学卒業」「ともに大学卒業」の 3 つに分類し、兄弟姉妹も含めて学校等を既に卒業した子ども・若者の最終学歴との関係性についてみると、「ともに大学卒業」の場合は「大学卒業」が 72.4%であるのに対し、「ともに非大学卒業」の場合にはその割合は 28.1%となっており、明確な違いがあることがわかる（図表 9-3-2）。

設問 あなたの最終学歴は以下のうちどれですか（問 29・複数回答）

図表 9-3-1 保護者の学歴



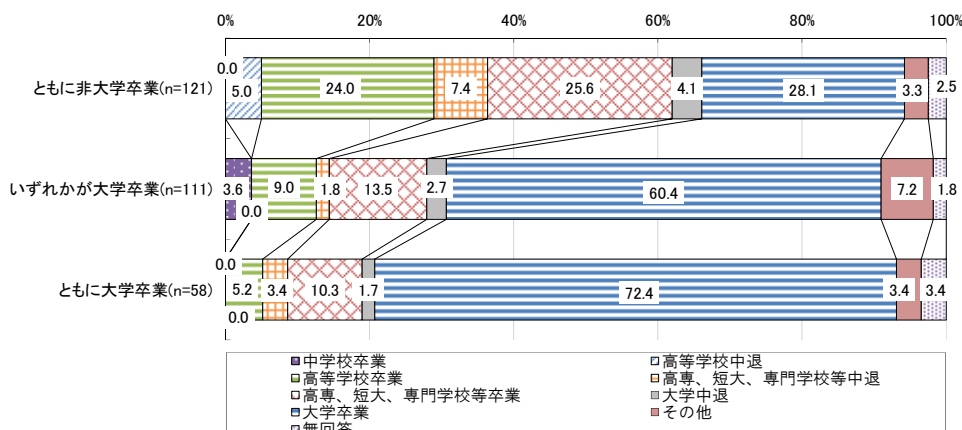
※回答者が「父親」「母親」のいずれか以外のもものはここでは集計の対象外とした。

※「父親」の回答は、回答者が「父親」の場合の本人の最終学歴と、回答者が「母親」の場合の配偶者の最終学歴を合計して算出している。「母親」の回答は、回答者が「母親」の場合の本人の最終学歴と、回答者が「父親」の場合の配偶者の最終学歴を合計して算出している。

※学歴について「その他」は、「大学院中退」「大学院修了」「その他教育機関中退」「その他教育機関卒業」「その他」を合わせた値である。

設問 宛名でお送りさせていただいた0歳から24歳未満の方のことで、また、その兄弟姉妹のことで、それぞれ以下の①～⑨の点について教えてください（問9⑧最終学歴）

図表 9-3-2 保護者の学歴と子ども・若者の学歴との関係性



※ふたり親世帯等についてのみ集計した。

※保護者の学歴について「大学卒業」には「大学院中退」「大学院修了」の場合を含む。なお、学歴について無回答のものも集計の対象外とした。

※子ども・若者の学歴については、兄弟姉妹を含み「学校等は既に卒業等している」場合のみ集計。なお、ここでの「その他」は、「大学院中退」「大学院修了」「その他教育機関中退」「その他教育機関卒業」「その他」を合わせた値である。

(10) 必要としている支援

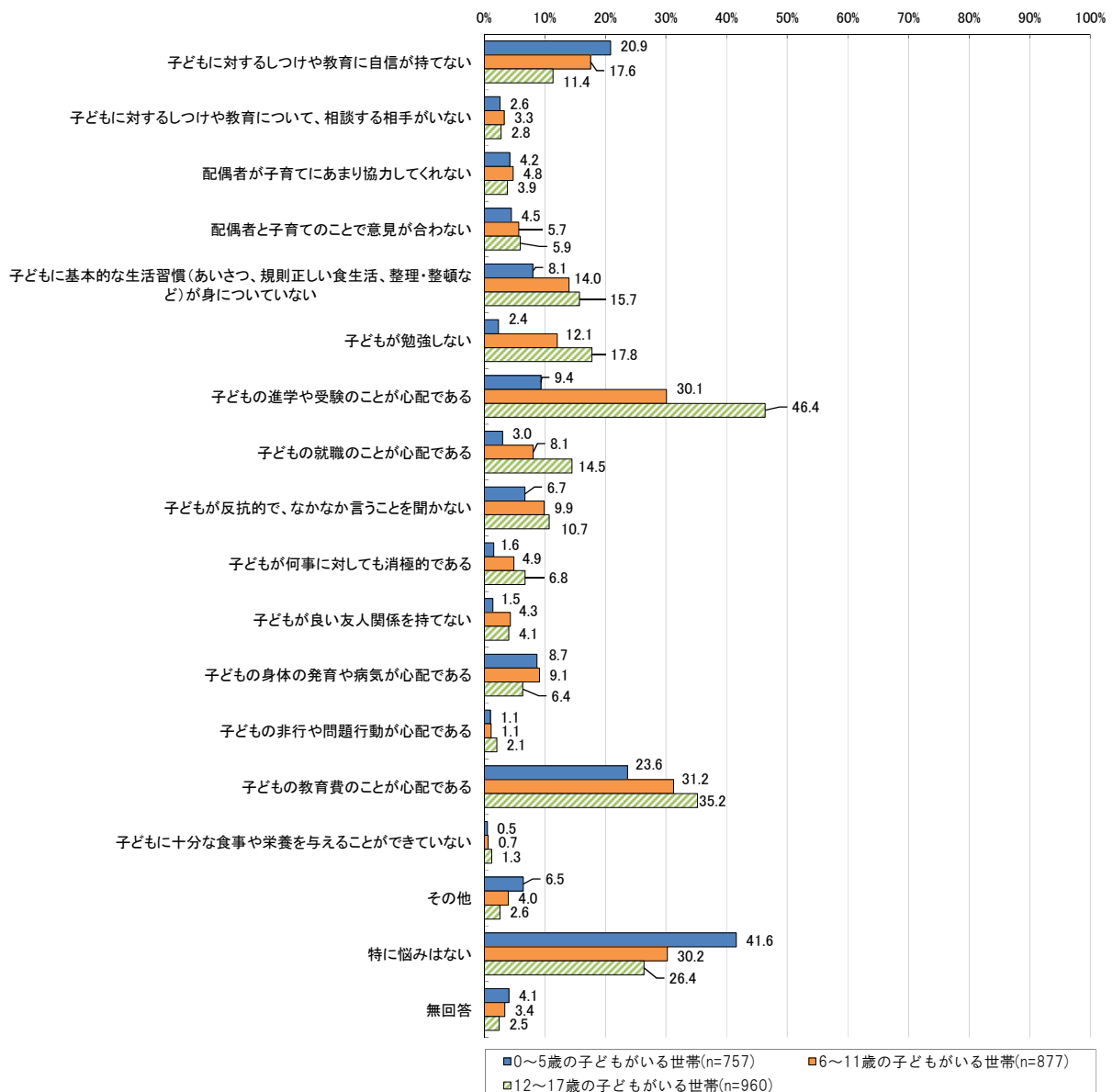
①子どものことについての悩み

子どものことで現在悩んでいることについて、世帯に含まれる子どもの年齢段階別にみると、子どもの年齢が高くなるにつれ、「子どもの進学や受験のことが心配である」の回答割合が高くなっていることがわかる（図表 10-1-1）。

「0～5歳」「6～11歳」「12～17歳」の子どもが含まれる世帯について、それぞれ世帯類型別に悩んでいることの回答についてみると、ひとり親世帯に該当する場合には、いずれの場合についても「子どもの教育費のことが心配である」の回答割合が比較的高くなっている（図表 10-1-2、図表 10-1-3、図表 10-1-4）。また、可処分所得の分類別にみると、やはり「子どもの教育費のことが心配である」の回答割合について、「分類Ⅰ・Ⅱ」の場合に高くなっていることがわかる（図表 10-1-5、図表 10-1-6、図表 10-1-7）。

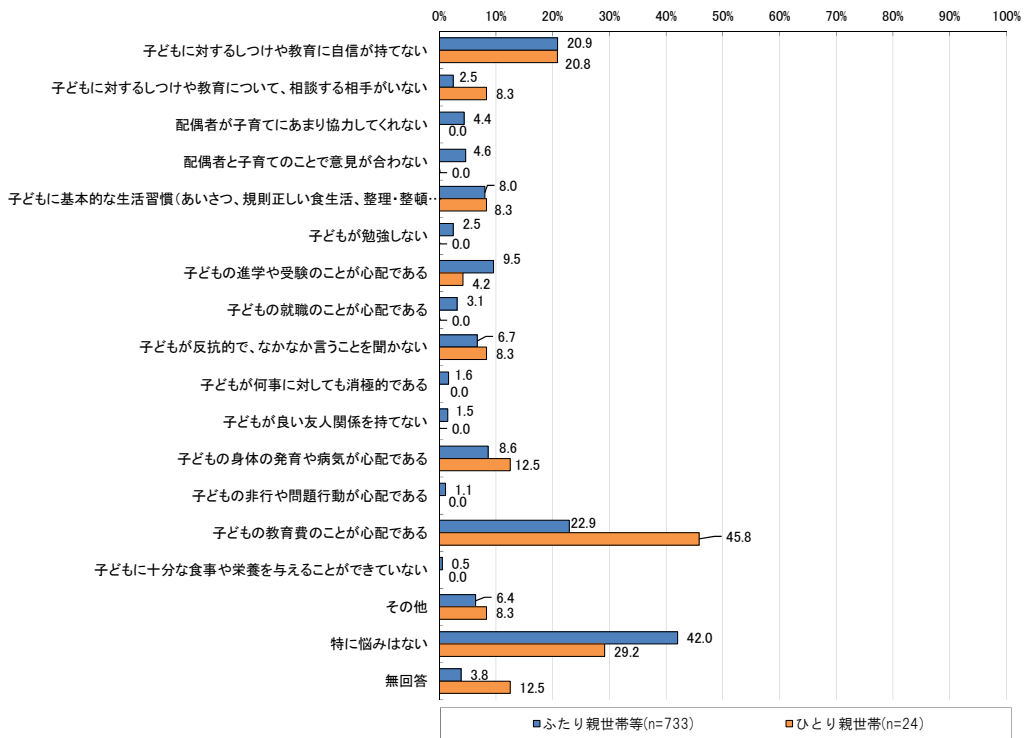
設問 子どものことについて、現在悩んでいることはありますか（問 14・複数回答）

図表 10-1-1 世帯に含まれる子どもの年齢段階別、現在悩んでいること

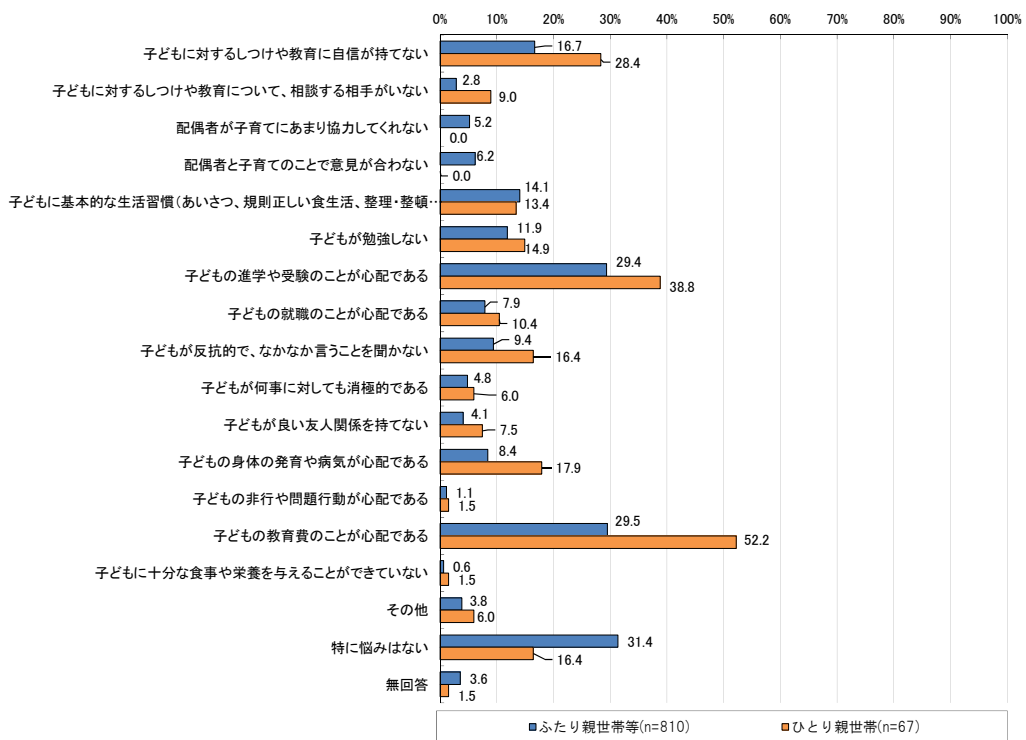


※宛名の方が18歳未満の子どもの場合に、その保護者が回答。

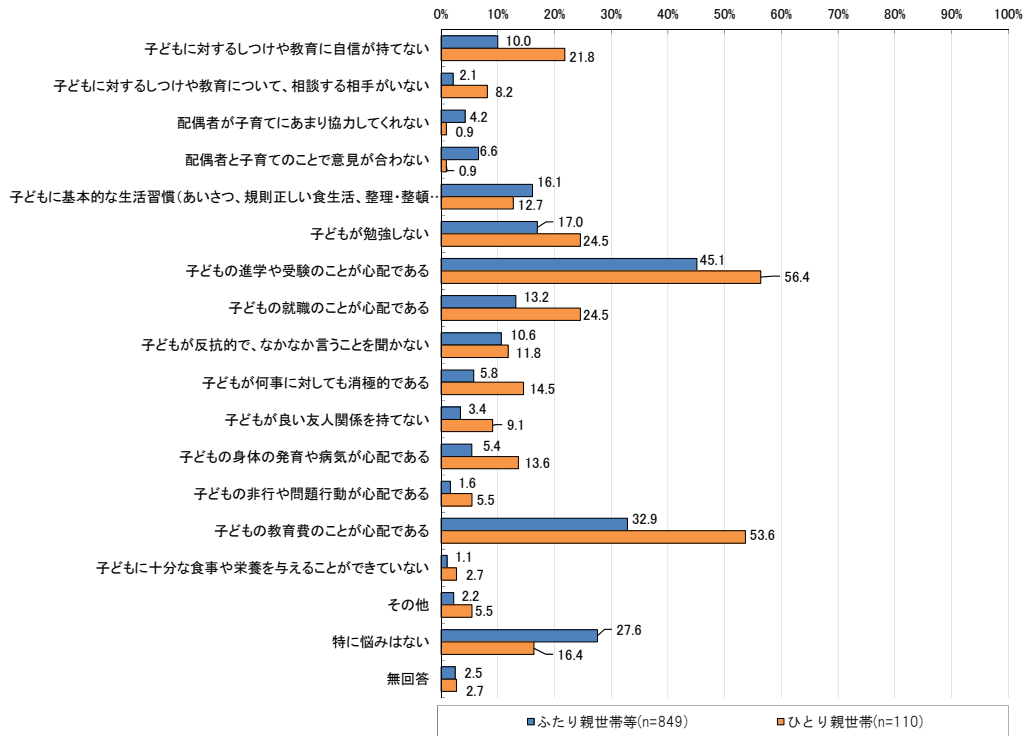
図表 10-1-2 世帯類型別、現在悩んでいること（0～5歳の子どもがいる世帯）



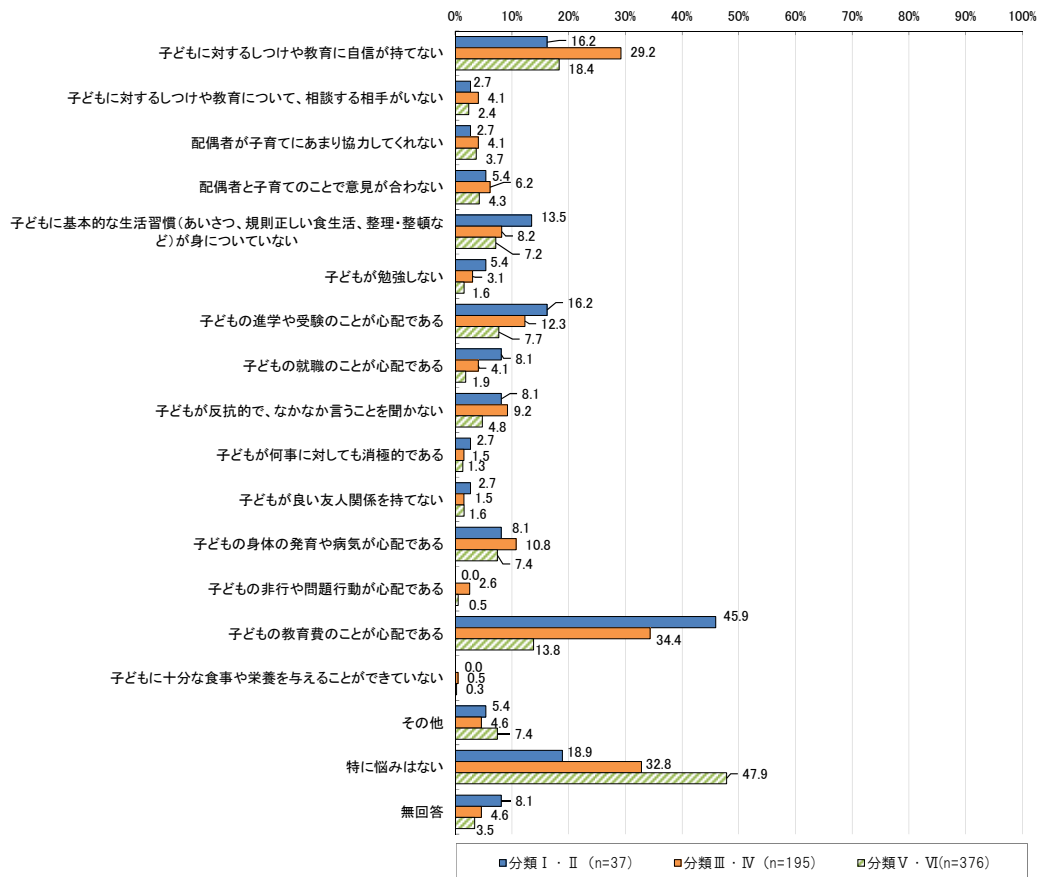
図表 10-1-3 世帯類型別、現在悩んでいること（6～11歳の子どもがいる世帯）



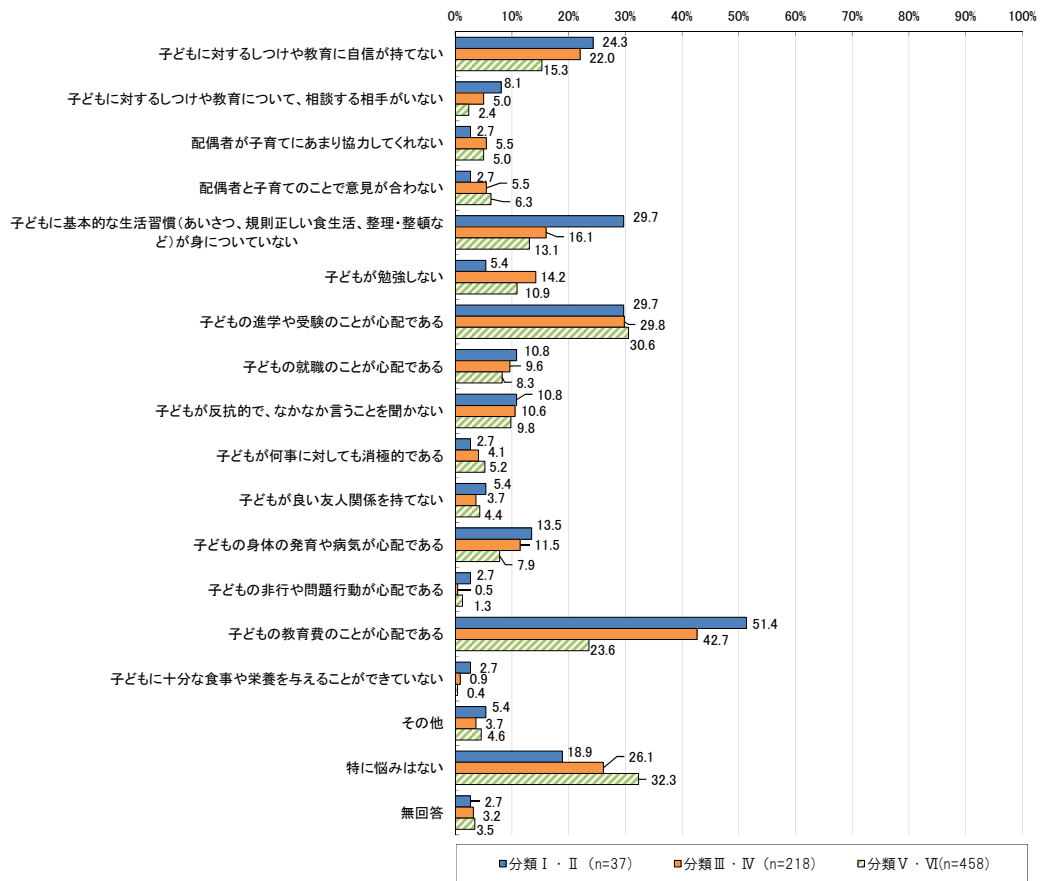
図表 10-1-4 世帯類型別、現在悩んでいること（12～17歳の子どもがいる世帯）



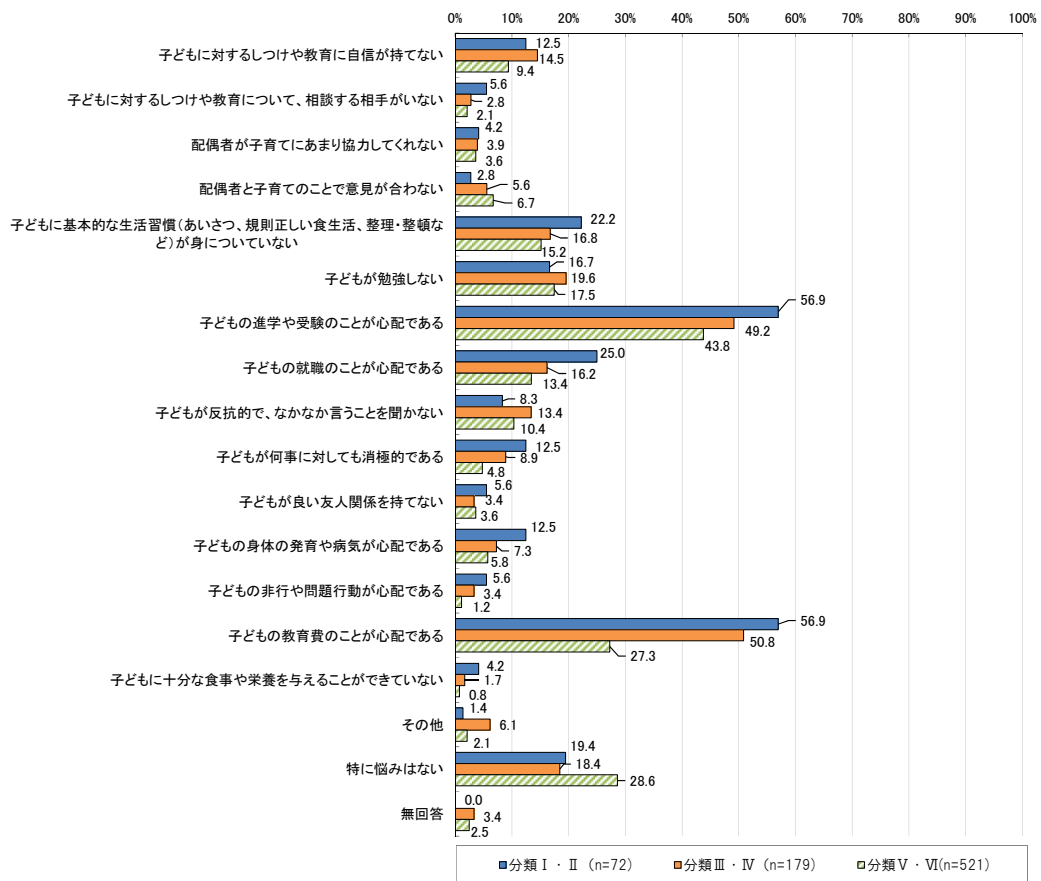
図表 10-1-5 可処分所得の分類別、現在悩んでいること（0～5歳の子どもがいる世帯）



図表 10-1-6 可処分所得の分類別、現在悩んでいること（6～11歳の子どもがいる世帯）



図表 10-1-7 可処分所得の分類別、現在悩んでいること（12～17歳の子どもがいる世帯）



②子どもにとってあるとよいと思う支援

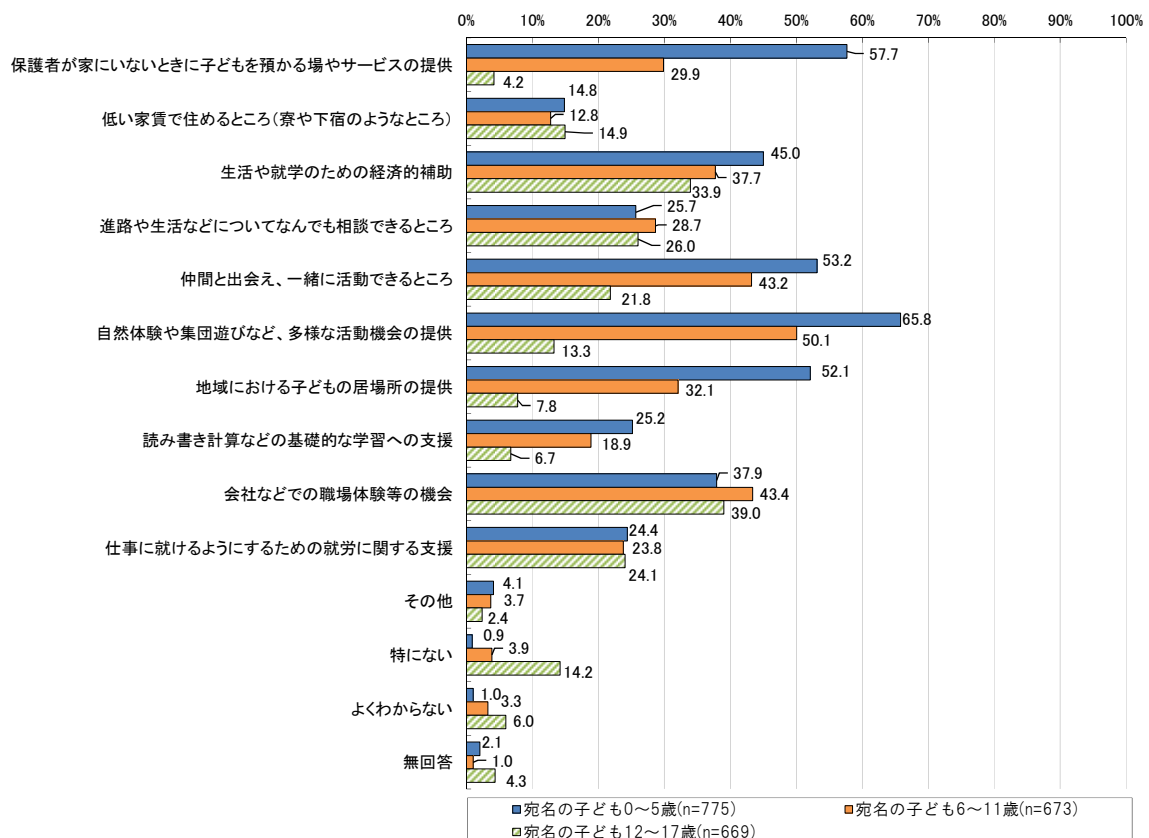
子どもにとって、現在、または将来的に、あるとよいと思う支援について宛名の子どもの年齢段階別にみると、宛名の子どもが0～5歳の場合について、「保護者が家にいないときに子どもを預かる場やサービスの提供」「仲間と出会え、一緒に活動できる場所」「自然体験や集団遊びなど、多様な活動機会の提供」「地域における子どもの居場所の提供」などについて、それぞれ回答割合が比較的高くなっている（図表 10-2-1）。なお、宛名の子どもが6～11歳の場合については、「進路や生活などについてなんでも相談できる場所」や「会社などでの職場体験等の機会」の割合が比較的高くなっている。

宛名の子どもの年齢が「0～5歳」「6～11歳」「12～17歳」のそれぞれについて、世帯類型別にありとよいと思う支援の内容についてみると、ひとり親世帯に該当する場合には、いずれの場合についても「低い家賃で住める場所（寮や下宿のような場所）」や「生活や就学のための経済的補助」について、回答割合が比較的高くなっている（図表 10-2-2、図表 10-2-3、図表 10-2-4）。

また、可処分所得の分類別にみると、やはり「低い家賃で住める場所（寮や下宿のような場所）」や「生活や就学のための経済的補助」について、「分類Ⅰ・Ⅱ」の場合など、所得の水準が低い場合に回答割合が高くなっている（図表 10-2-5、図表 10-2-6、図表 10-2-7）。

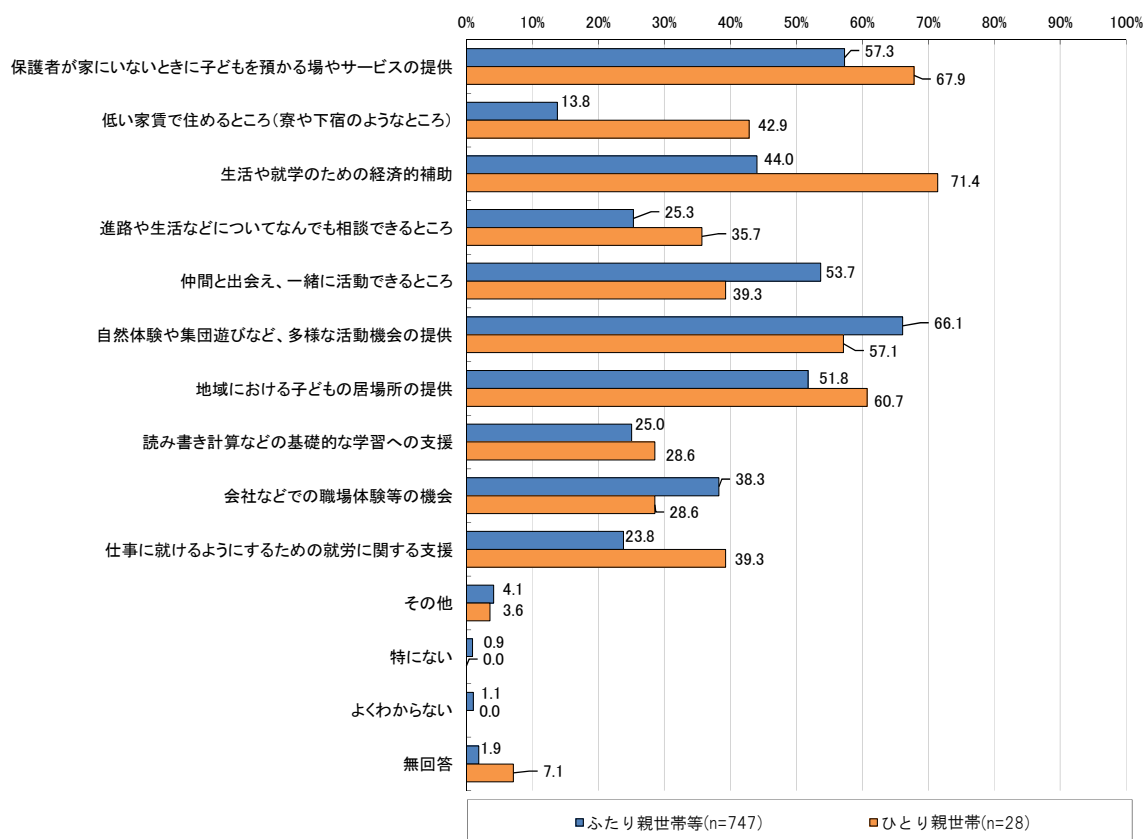
設問 宛名の子どもにとって、現在、または将来的に、どのような支援があるとよいと思いますか
（問 23・複数回答）

図表 10-2-1 宛名の子どもの年齢段階別、あるとよいと思う支援策

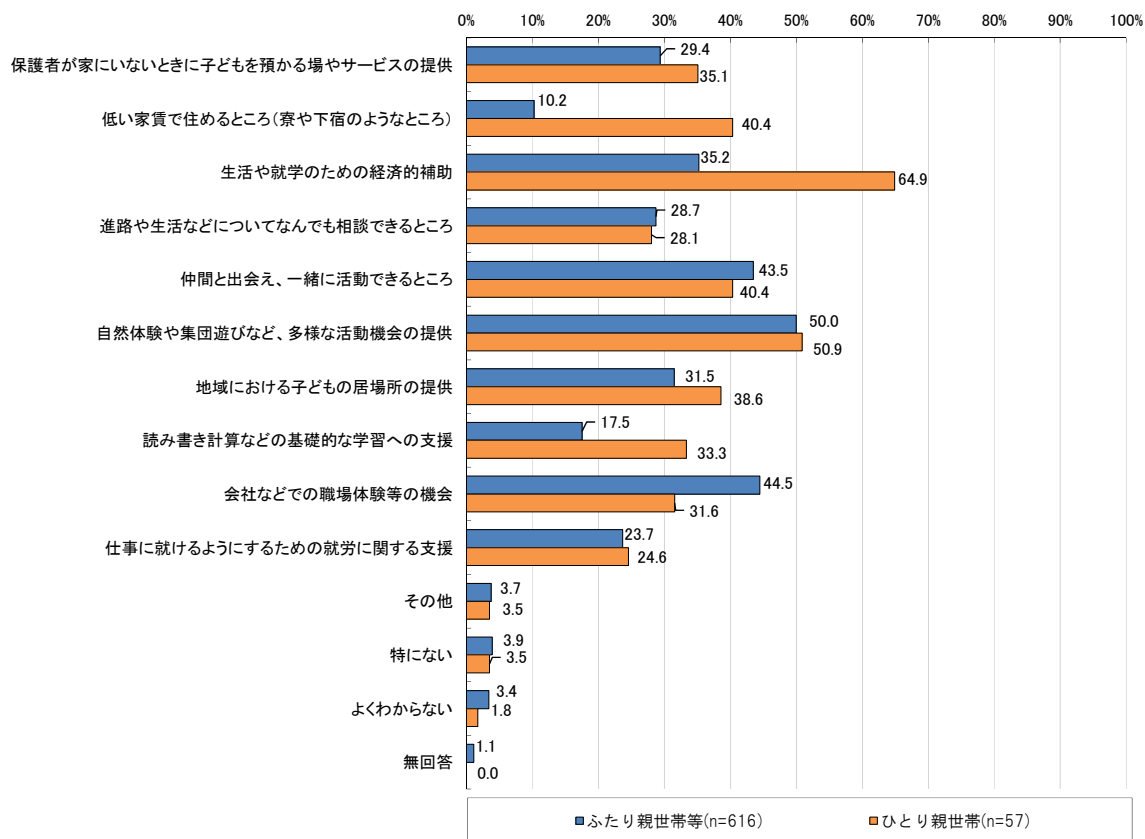


※宛名の方が18歳未満の子どもの場合に、その保護者が回答。

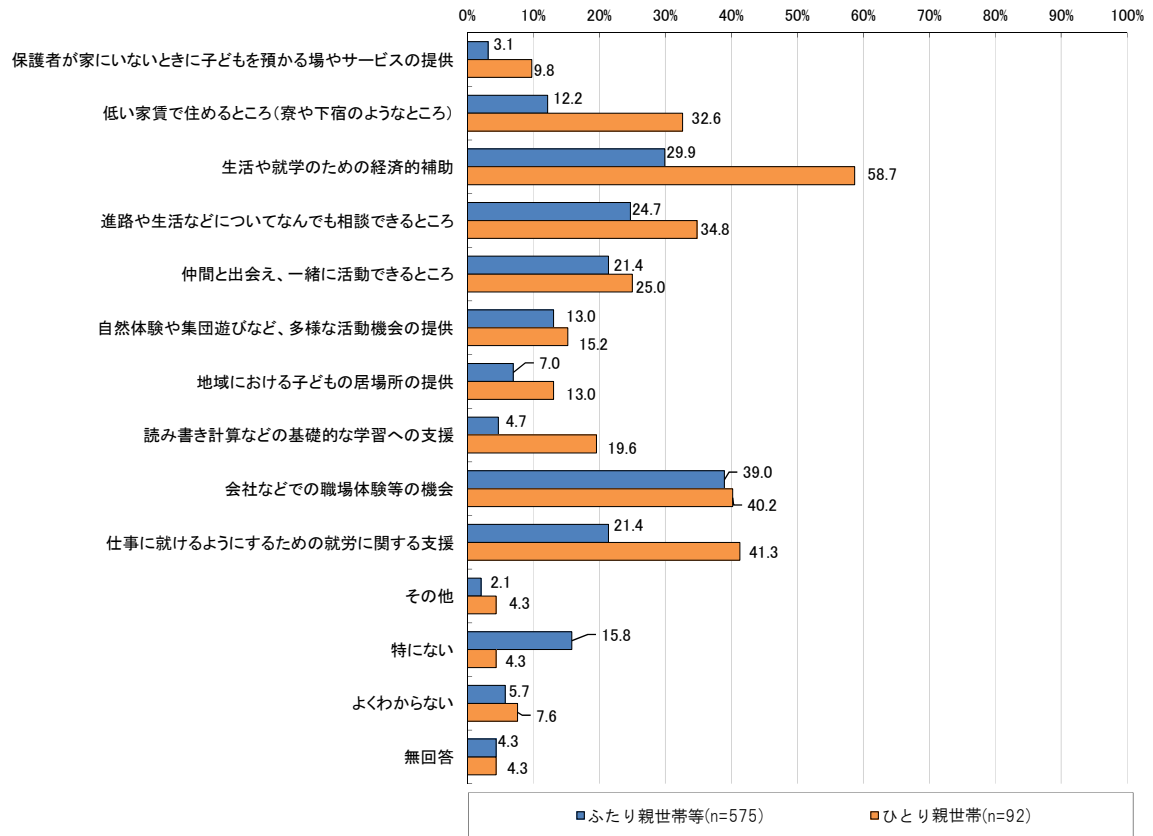
図表 10-2-2 世帯類型別、あるとよいと思う支援策（宛名の子どもの年齢 0～5 歳）



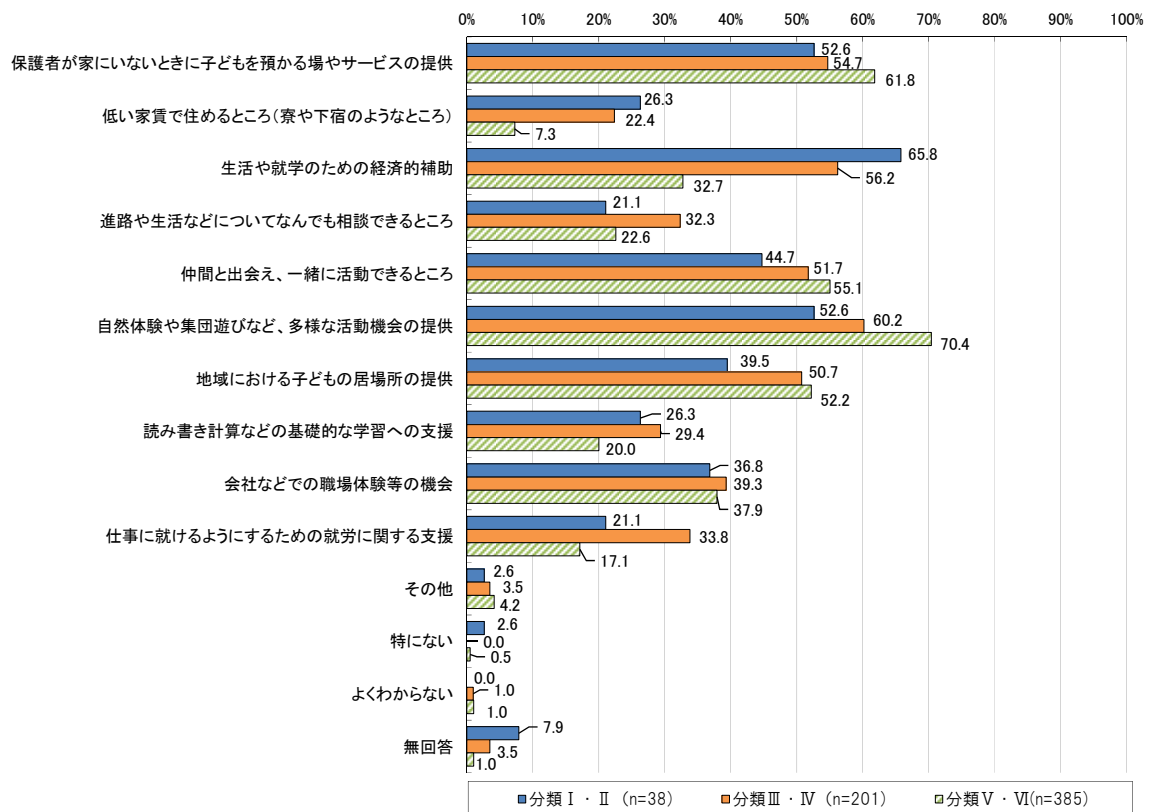
図表 10-2-3 世帯類型別、あるとよいと思う支援策（宛名の子どもの年齢 6～11 歳）



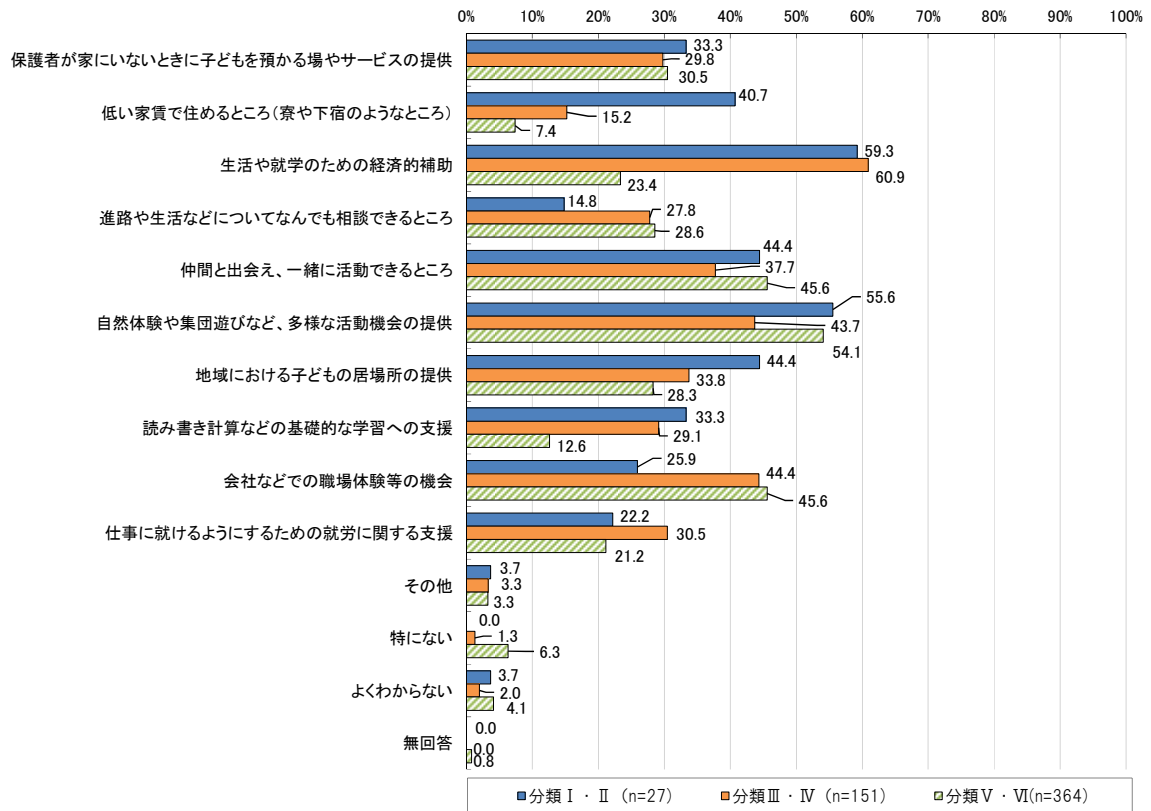
図表 10-2-4 世帯類型別、あるとよいと思う支援策（宛名の子どもの年齢 12～17 歳）



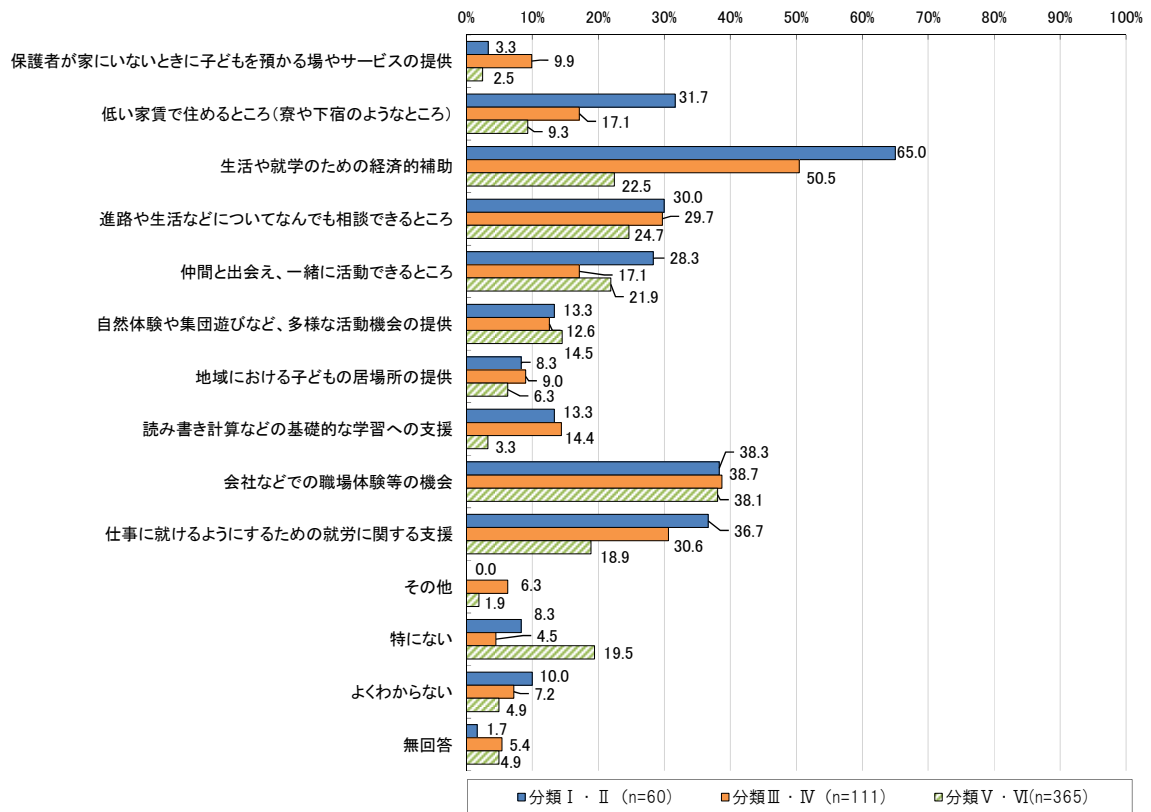
図表 10-2-5 可処分所得の分類別、あるとよいと思う支援策（宛名の子どもの年齢 0～5 歳）



図表 10-2-6 可処分所得の分類別、あるとよいと思う支援策（宛名の子どもの年齢 6～11 歳）



図表 10-2-7 可処分所得の分類別、あるとよいと思う支援策（宛名の子どもの年齢 12～17 歳）



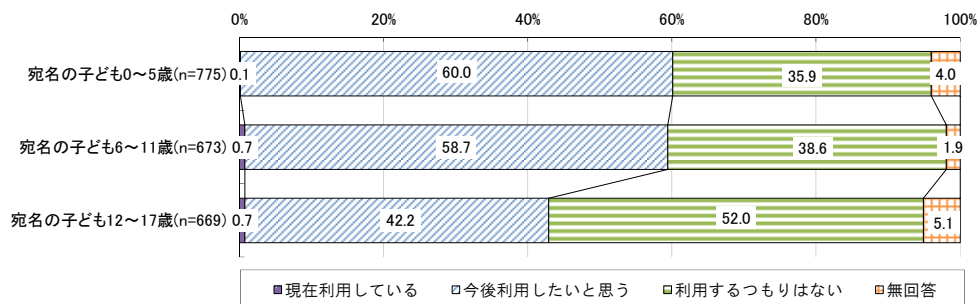
③学習支援制度の利用意向

学生ボランティア等による無料の学習支援制度に関し、宛名の子どもの年齢段階別に利用意向についてみると、宛名の子どもが「0～5歳」または「6～11歳」の場合について、「今後利用したいと思う」の割合が約6割となっている（図表 10-3-1）。

宛名の子どもの年齢が「0～5歳」「6～11歳」「12～17歳」のそれぞれについて、世帯類型別に利用意向についてみると、ひとり親世帯に該当する場合には、いずれの場合についても「今後利用したいと思う」の回答割合が比較的高くなっている（図表 10-3-2）。また、可処分所得の分類別にみると、「分類Ⅴ・Ⅵ」に比べ「分類Ⅰ・Ⅱ」または「分類Ⅲ・Ⅳ」の場合に、「今後利用したいと思う」の回答割合が比較的高くなっている（図表 10-3-3）。

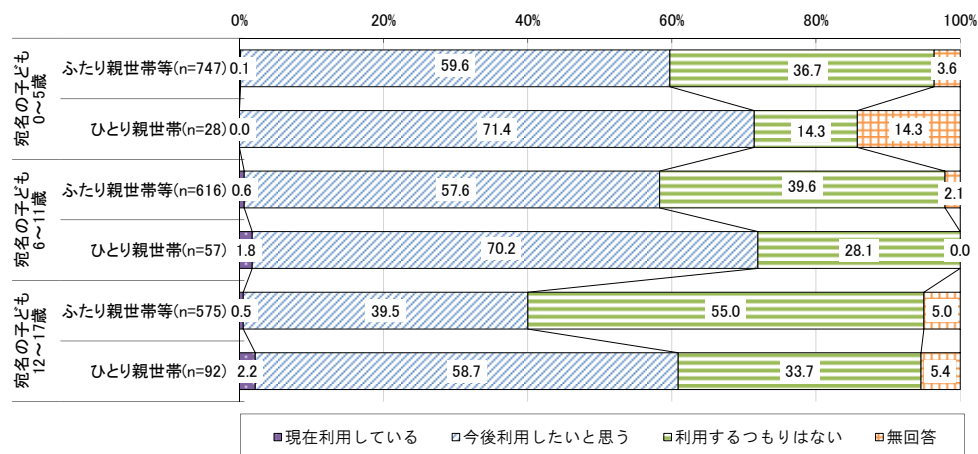
設問 宛名の子どもについて、学生ボランティア等による、無料の学習支援制度（学習の手助けなど）があった場合、利用したいと思いますか（問 22）

図表 10-3-1 宛名の子どもの年齢段階別、学習支援制度の利用意向

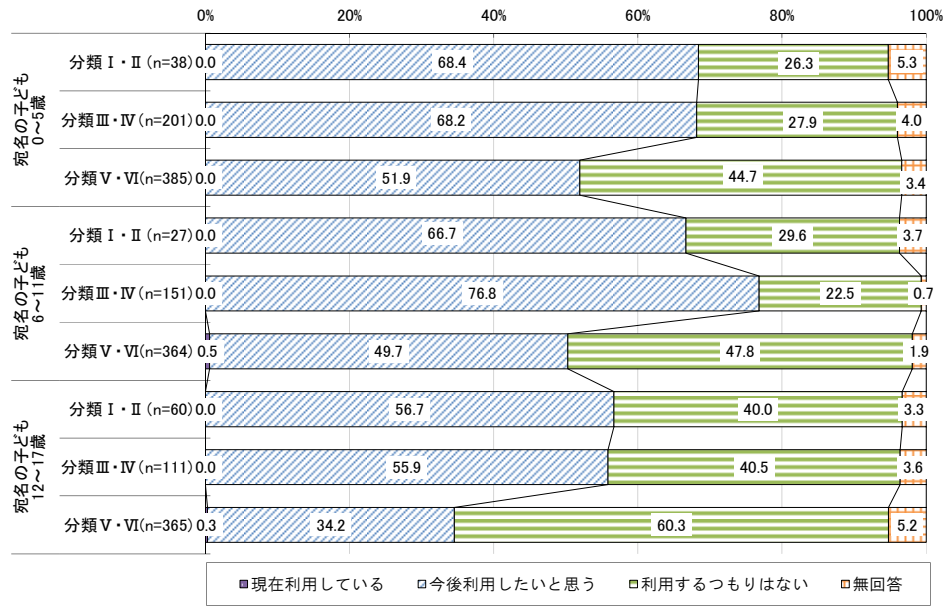


※宛名の方が18歳未満の子どもの場合に、その保護者が回答。

図表 10-3-2 宛名の子どもの年齢段階別、世帯類型別、学習支援制度の利用意向



図表 10-3-3 宛名の子どもの年齢段階別、可処分所得の分類別、学習支援制度の利用意向



※「分類Ⅴ・Ⅵ」の場合で「現在利用している」との回答が見られるが、「学生ボランティア等による無料の学習支援制度」に関して、どのようなものを利用しているのか等、詳細を把握することは難しい。

④相談相手の有無

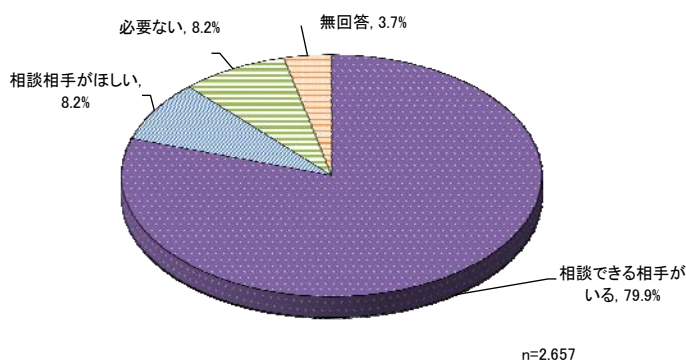
心おきなく相談できる相手がいるかについてみると、全体としては、「相談できる相手がいる」が79.9%、「相談相手がほしい」が8.2%、「必要ない」が8.2%となっている（図表 10-4-1）。

この点について、回答者属性・世帯類型別にみると、ひとり親世帯に該当する場合には、「相談相手がほしい」との回答割合が高くなっていることがわかる（図表 10-4-2）。また、可処分所得の分類別にみると、「相談相手がほしい」との回答は、「分類Ⅲ・Ⅳ」で最も高くなっている（図表 10-4-3）。

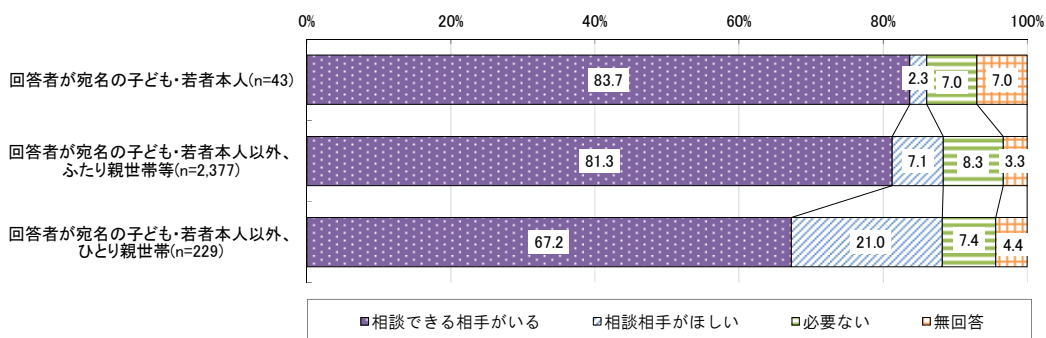
なお、「相談できる相手がいる」と回答した場合にはその相談相手について、「相談相手がほしい」と回答した場合には相談したい相手についてたずねたところ、相談したい相手について、「カウンセラーなどの専門家」が51.6%と最も高くなっている（図表 10-4-4）。

設問 あなたには、現在心おきなく相談できる相手がありますか（問 30）

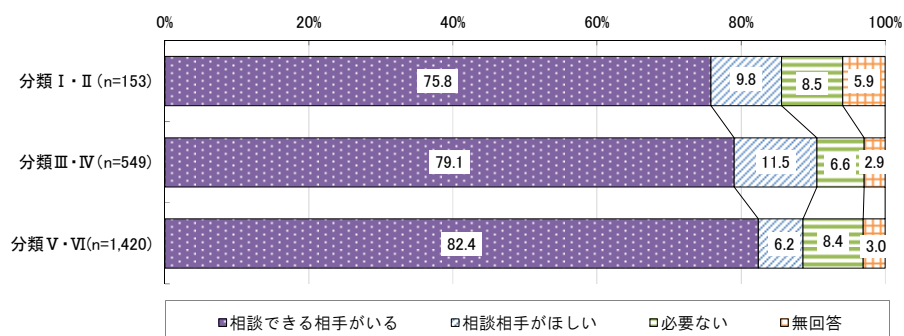
図表 10-4-1 相談相手の有無



図表 10-4-2 回答者属性・世帯類型別、相談相手の有無

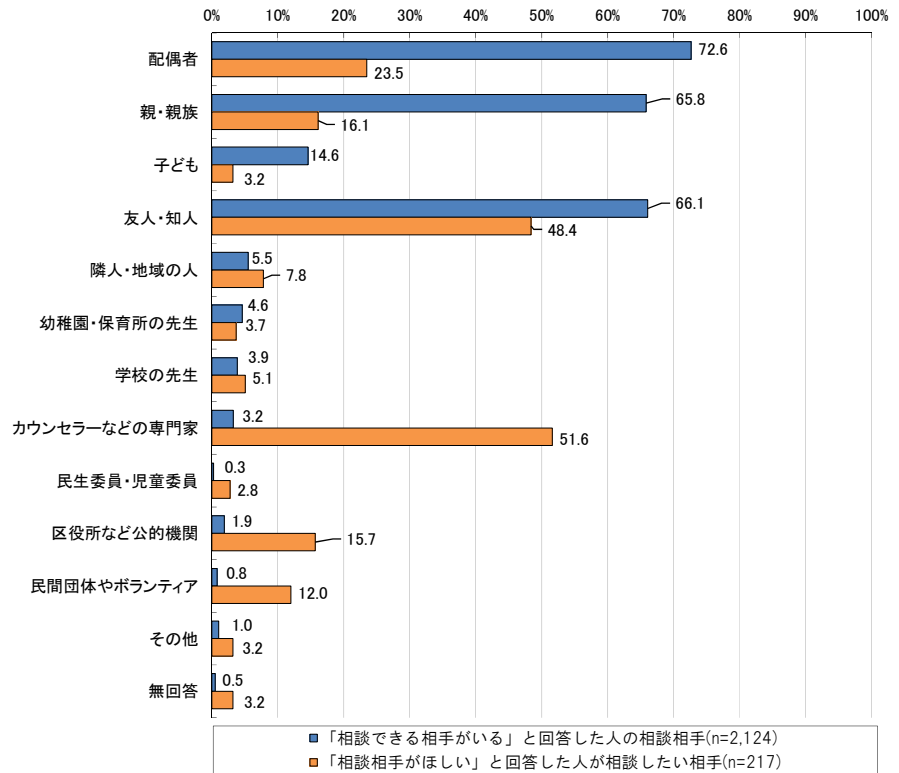


図表 10-4-3 可処分所得の分類別、相談相手の有無



設問 その相談相手は誰ですか、また相談相手がほしい方はどのような相手に相談したいと思いま
すか（問 30-1、複数回答）

図表 10-4-4 相談できる相手、ならびに相談したいと思う相手



3. 参考資料

(1) 調査票

横浜市 子ども・若者のいる世帯の生活状況及び就業に関する調査 調査票

< 調査ご協力のお願い >

みなさまには、日ごろから横浜市へご協力をいただきありがとうございます。
横浜市では、子育てしやすい環境づくりと子ども・青少年の健やかな成長のため、
保育所待機児童対策や学齢期の放課後の居場所づくりの充実、地域の親子や青少年の
居場所づくりや、区役所などでの子どもや子育て家庭に対する相談・支援体制の充実に取り
組んでいます。

一方で、国の調査によれば、我が国の子どもの貧困率は16.3%（2012年）となり、先進国
の中でも厳しい状況となっています。また、生活保護を受給している世帯のお子さんの
高等学校等進学率は全体と比較して、低い状況があるなど、家庭の経済状況がお子さ
んの将来の進路・職業選択に関連があることが指摘されています。

家庭の経済状況に関わらず、横浜の未来を創る全ての子ども・青少年の健やかな成長
を支え、将来の可能性をより高めるため、子ども・青少年施策や一人ひとりの状況に応
じたきめ細やかな支援を一層充実させていくことが必要と考え、横浜市では現在、子ど
もの貧困対策に関する計画の策定に向けた検討を進めています。

この計画に、横浜市内の子ども・若者や子育て家庭の状況をしっかりと把握した上で、
より効果的な施策を盛り込むため、子ども・若者のいる世帯の皆様の日ごろの暮らしやお子
さんの様子、子育てに感じていらっしゃる悩みや、保護者等の就業や所得状況を伺う
アンケート調査を実施させていただきます。

ご回答いただいた内容は、計画内容の検討とともに、広く子ども・青少年支援施策の充
実に向けた検討に活用させていただきます。ぜひ、ご協力くださいますようお願いいた
します。

平成27年8月 横浜市こども青少年局

< 調査について >

この調査は、正規の手続きを経て住民基本台帳から無作為に抽出した、平成27年4月1日現在の年齢
が0歳から24歳未満の子ども・若者の方がひとり以上いらっしゃる世帯に送付させていただいておりま
す。本アンケート実施の趣旨をご理解の上、ご協力をお願いいたします。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、8月24日（月）までに同封の返信用封筒にてご返送いただきます
よう、ご協力のほどお願い申し上げます。（切手を貼る必要はありません）

【ご回答いただいた調査票は、上記の目的以外に使用することはありません。】

この調査に関する御意見・お問い合わせは、
横浜市こども青少年局企画調整課へ御連絡ください。

電話：045-671-4281 F A X：045-663-8061 E M A I L：kd-kikaku@city.yokohama.jp

< 記入上の注意 >

- 1 未成年の方など、保護者の方と住居と生計を共にしている場合には、保護者の方がお答えください。ひとり暮らしをされている方や、自ら生計を立てている方などの場合には、宛名のご本人がお答えください。
- 2 回答は、回答欄に数字等を記入するものと、回答の数字を○で1つまたは複数囲むものがあります。設問の指示に沿ってお答えください。

最初に、調査に回答いただく方（あなた）のことについておたずねします

問1 この調査に回答いただいている方（あなた）の、宛名でお送りさせていただいた0歳から24歳未満の方からみた続柄についてお教えてください。（あてはまる番号1つに○をつけてください）

- | | | | |
|-------|---------------------|-------|-------|
| 1. 母親 | 2. 父親 | 3. 祖母 | 4. 祖父 |
| 5. 本人 | 6. その他（具体的に： _____） | | |

問2 現在のお住まいの地区についてお教えてください。（あてはまる番号1つに○をつけてください）

- | | | | |
|---------|---------|----------|--------|
| 1. 鶴見区 | 2. 神奈川区 | 3. 西区 | 4. 中区 |
| 5. 南区 | 6. 港南区 | 7. 保土ヶ谷区 | 8. 旭区 |
| 9. 磯子区 | 10. 金沢区 | 11. 港北区 | 12. 緑区 |
| 13. 青葉区 | 14. 都筑区 | 15. 戸塚区 | 16. 栄区 |
| 17. 泉区 | 18. 瀬谷区 | | |

世帯の状況についておたずねします

※あなたの世帯について、平成27年4月1日現在の状況をお教えてください。年齢についても、平成27年4月1日時点でお考えください。

※世帯とは、普段住居と生計を共にしている方々（世帯員）の集まりをいいます。

※世帯員には、旅行や出張などで一時的（3か月以内）に自宅を離れている人や船員など就業場所を移動する人も含みます。

※また、病院・診療所に入院している人も含みますが、住民登録を病院・診療所に移している人は除きます。

※さらに、単身赴任や学業で世帯を離れている人、老人福祉施設などの社会福祉施設に入所している人も除きます。

問3 普段一緒にお住まいで、生計を共にしている方（世帯員）は、あなたを含めて何人ですか。

世帯員人数 （あなたを含めて）
<input type="text"/> 人

問4 世帯員のうち、子ども・若者（平成27年4月1日現在0歳から24歳未満の方）の人数についてお教えてください。

※学業等で世帯を離れている方や、生計を別に行っている方は人数に含まれません

世帯員のうち 子ども・若者の人数
□ 人

平成27年4月1日現在の世帯員のうち子ども・若者の人数が「0人」の場合

調査はこれで終わりです。
同封の返信用封筒でご返送ください。
ご協力ありがとうございました。

世帯員のうち子ども・若者の人数が1人以上の場合には、年齢別の人数について回答の上、問5以降の質問にお答えください

子ども・若者の人数			
0～5歳	6～11歳	12～17歳	18～23歳
□ 人	□ 人	□ 人	□ 人

問5 あなたの世帯に含まれる方全員の、宛名でお送りさせていただいた0歳から24歳未満の方から見た続柄についてお教えてください。（あてはまる番号すべてに○をつけてください）

1. 母親	2. 父親	3. 祖母	4. 祖父
5. 本人	6. 兄弟姉妹	7. 配偶者	8. 子ども（息子・娘）
9. その他（具体的に： _____）			

問6 あなたの世帯の世帯主（家計の主たる収入を得ている人）はどなたですか。宛名でお送りさせていただいた0歳から24歳未満の方から見た続柄についてお教えてください。（あてはまる番号1つに○をつけてください）

1. 母親	2. 父親	3. 祖母	4. 祖父
5. 本人	6. 兄弟姉妹	7. 配偶者	8. 子ども（息子・娘）
9. その他（具体的に： _____）			

問7 あなたの世帯の世帯主の方の生年月（西暦）についてお教えてください。

世帯主の方の生年月（西暦）	□ 年 □ 月
---------------	---------

問8 あなたの世帯は、「ひとり親世帯」に該当しますか。（あてはまる番号1つに○をつけてください）

※この調査で「ひとり親世帯」とは、死別、離別、未婚などにより、現に配偶者のいない男性または女性が、20歳未満の子どもを育てている世帯とします。
 ※単身赴任、出稼ぎ、子どもの就学などのため、一時的に別居している場合は除きます。また法律上の婚姻はしていないが、事実上の婚姻関係にある場合も「ひとり親世帯」からは除かれます。
 ※法律上の離婚にまでいたっていないが、離婚に向けて具体的な手続きが進んでいる場合などは「ひとり親世帯」に該当するものとします。

1. 該当しない	2. 該当する（死別）	3. 該当する（離婚）
4. 該当する（未婚）	5. 該当する（別居）	6. 該当する（その他： _____）

宛名の方のことや、兄弟姉妹のことについておたずねします

問9 宛名でお送りさせていただいた0歳から24歳未満の方のことについて、また、その兄弟姉妹のことについて、それぞれ以下の①～⑨の点について教えてください。

- ※兄弟姉妹が4人以上いらっしゃる場合には、年長の方から順に4番目の方までご回答ください。
- ※②～④、⑥～⑨については、それぞれあてはまる番号1つに○をつけてください。⑤については、あてはまる番号すべてに○をつけてください。
- ※⑥、⑦には、学校教育機関等の在籍状況が「小学生」以上の場合について回答してください。⑧、⑨には、学校教育機関等の在籍状況が「学校等は既に卒業等している」場合について回答してください。
- ※「不登校」とは、「何らかの心理的、情緒的、身体的あるいは社会的要因・背景により、登校しない、あるいはしたくともできない状況にあるため年間30日以上欠席した者のうち、病気や経済的な理由による者を除いたもの」を意味します。
- ※「身体障害」とは、視覚障害・聴覚障害・平衡機能障害・音声・言語障害（咀嚼障害を含む）、肢体不自由、心臓・腎臓等の内部障害の5種類に関する障害（身体障害者手帳を所有している方）が該当します。
- ※「発達障害」とは、自閉症、アスペルガー症候群、学習障害、注意欠陥多動性障害、その他の広汎性発達障害等が該当します。
- ※障害等に関する「その他」とは、「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（障害者総合支援法）」に定める難病等が該当します。

宛名の方

①生年月（西暦）	年	月	②性別	1. 男性	2. 女性
③学校教育機関等の在籍状況	1. 未就園 4. 小学校 7. 高専、短大、専門学校等 10. その他教育機関	2. 保育所 5. 中学校 8. 大学 11. 進学等準備中	3. 幼稚園 6. 高等学校 9. 大学院 12. 学校等は既に卒業等している		
④健康状態	1. よい 4. あまりよくない	2. まあよい 5. よくない	3. 普通 6. わからない		
⑤障害等の有無	1. 特になし 4. 発達障害	2. 身体障害 5. その他	3. 知的な遅れ 6. わからない		
⑥学校等での勉強全般	1. 成績良好 4. やや遅れている	2. まあまあ良好 5. かなり遅れている	3. 普通 6. わからない		
⑦不登校の有無	1. 不登校経験なし 4. わからない	2. 過去に不登校経験あり	3. 現在不登校中		
⑧最終学歴	1. 中学校卒業 4. 高専、短大、専門学校等中退 7. 大学卒業 10. その他教育機関中退	2. 高等学校中退 5. 高専、短大、専門学校等卒業 8. 大学院中退 11. その他教育機関卒業	3. 高等学校卒業 6. 大学中退 9. 大学院修了 12. その他 ()		
⑨就業等の状況	1. 求職中 3. パート・アルバイト 5. 人材派遣会社の派遣社員 7. 自家営業の手伝い 9. その他 ()	2. 正社員・正規職員 4. 嘱託・契約社員・準社員・臨時職員 6. 自営業主（店主・農業者など） 8. 主夫・主婦			

⇒宛名の方に兄弟姉妹がいらっしゃらない場合には、続いて、7ページの間10以降にお答えください。
兄弟姉妹がいらっしゃる場合には、5ページ以降の回答欄にも同様にお答えください。

きょうだいしまい にんめ
 <兄弟姉妹1人目>

①生年月(西暦)	年 月	②性別	1. 男性	2. 女性
③学校教育機関等の 在籍状況	1. 未就園 4. 小学校 7. 高専、短大、専門学校等 10. その他教育機関	2. 保育所 5. 中学校 8. 大学 11. 進学等準備中	3. 幼稚園 6. 高等学校 9. 大学院 12. 学校等は既に卒業等している	
④健康状態	1. よい 4. あまりよくない	2. まあよい 5. よくない	3. 普通 6. わからない	
⑤障害等の有無	1. 特にな 4. 発達障害	2. 身体障害 5. その他	3. 知的な遅れ 6. わからない	
⑥学校等での勉強全般 (小学生以上の場合)	1. 成績良好 4. やや遅れている	2. まあまあ良好 5. かなり遅れている	3. 普通 6. わからない	
⑦不登校の有無 (小学生以上の場合)	1. 不登校経験なし 4. わからない	2. 過去に不登校経験あり	3. 現在不登校中	
⑧最終学歴 (「学校等は既に卒業等 している」場合)	1. 中学校卒業 4. 高専、短大、専門学校等中退 7. 大学卒業 10. その他教育機関中退	2. 高等学校中退 5. 高専、短大、専門学校等卒業 8. 大学院中退 11. その他教育機関卒業	3. 高等学校卒業 6. 大学中退 9. 大学院修了 12. その他()	
⑨就業等の状況 (「学校等は既に卒業等 している」場合)	1. 求職中 3. パート・アルバイト 5. 人材派遣会社の派遣社員 7. 自家営業の手伝い 9. その他()	2. 正社員・正規職員 4. 嘱託・契約社員・準社員・臨時職員 6. 自営業主(商店主・農業など) 8. 主夫・主婦		

きょうだいしまい にんめ
 <兄弟姉妹2人目>

①生年月(西暦)	年 月	②性別	1. 男性	2. 女性
③学校教育機関等の 在籍状況	1. 未就園 4. 小学校 7. 高専、短大、専門学校等 10. その他教育機関	2. 保育所 5. 中学校 8. 大学 11. 進学等準備中	3. 幼稚園 6. 高等学校 9. 大学院 12. 学校等は既に卒業等している	
④健康状態	1. よい 4. あまりよくない	2. まあよい 5. よくない	3. 普通 6. わからない	
⑤障害等の有無	1. 特にな 4. 発達障害	2. 身体障害 5. その他	3. 知的な遅れ 6. わからない	
⑥学校等での勉強全般 (小学生以上の場合)	1. 成績良好 4. やや遅れている	2. まあまあ良好 5. かなり遅れている	3. 普通 6. わからない	
⑦不登校の有無 (小学生以上の場合)	1. 不登校経験なし 4. わからない	2. 過去に不登校経験あり	3. 現在不登校中	
⑧最終学歴 (「学校等は既に卒業等 している」場合)	1. 中学校卒業 4. 高専、短大、専門学校等中退 7. 大学卒業 10. その他教育機関中退	2. 高等学校中退 5. 高専、短大、専門学校等卒業 8. 大学院中退 11. その他教育機関卒業	3. 高等学校卒業 6. 大学中退 9. 大学院修了 12. その他()	
⑨就業等の状況 (「学校等は既に卒業等 している」場合)	1. 求職中 3. パート・アルバイト 5. 人材派遣会社の派遣社員 7. 自家営業の手伝い 9. その他()	2. 正社員・正規職員 4. 嘱託・契約社員・準社員・臨時職員 6. 自営業主(商店主・農業など) 8. 主夫・主婦		

きょうだいしまい にんめ
 <兄弟姉妹3人目>

①生年月 (西暦)	年	月	②性別	1. 男性	2. 女性
③学校教育機関等の 在籍状況	1. 未就園 2. 保育所 3. 幼稚園 4. 小学校 5. 中学校 6. 高等学校 7. 高専、短大、専門学校等 8. 大学 9. 大学院 10. その他教育機関 11. 進学等準備中 12. 学校等は既に卒業等している				
④健康状態	1. よい 2. まあよい 3. 普通 4. あまりよくない 5. よくない 6. わからない				
⑤障害等の有無	1. 特にない 2. 身体障害 3. 知的な遅れ 4. 発達障害 5. その他 6. わからない				
⑥学校等での勉強全般 (小学生以上の場合)	1. 成績良好 2. まあまあ良好 3. 普通 4. やや遅れている 5. かなり遅れている 6. わからない				
⑦不登校の有無 (小学生以上の場合)	1. 不登校経験なし 2. 過去に不登校経験あり 3. 現在不登校中 4. わからない				
⑧最終学歴 (「学校等は既に卒業等 している」場合)	1. 中学校卒業 2. 高等学校中退 3. 高等学校卒業 4. 高専、短大、専門学校等中退 5. 高専、短大、専門学校等卒業 6. 大学中退 7. 大学卒業 8. 大学院中退 9. 大学院修了 10. その他教育機関中退 11. その他教育機関卒業 12. その他 ()				
⑨就業等の状況 (「学校等は既に卒業等 している」場合)	1. 求職中 2. 正社員・正規職員 3. パート・アルバイト 4. 嘱託・契約社員・準社員・臨時職員 5. 人材派遣会社の派遣社員 6. 自営業主 (商店主・農業など) 7. 自家営業の手伝い 8. 主夫・主婦 9. その他 ()				

きょうだいしまい にんめ
 <兄弟姉妹4人目>

①生年月 (西暦)	年	月	②性別	1. 男性	2. 女性
③学校教育機関等の 在籍状況	1. 未就園 2. 保育所 3. 幼稚園 4. 小学校 5. 中学校 6. 高等学校 7. 高専、短大、専門学校等 8. 大学 9. 大学院 10. その他教育機関 11. 進学等準備中 12. 学校等は既に卒業等している				
④健康状態	1. よい 2. まあよい 3. 普通 4. あまりよくない 5. よくない 6. わからない				
⑤障害等の有無	1. 特にない 2. 身体障害 3. 知的な遅れ 4. 発達障害 5. その他 6. わからない				
⑥学校等での勉強全般 (小学生以上の場合)	1. 成績良好 2. まあまあ良好 3. 普通 4. やや遅れている 5. かなり遅れている 6. わからない				
⑦不登校の有無 (小学生以上の場合)	1. 不登校経験なし 2. 過去に不登校経験あり 3. 現在不登校中 4. わからない				
⑧最終学歴 (「学校等は既に卒業等 している」場合)	1. 中学校卒業 2. 高等学校中退 3. 高等学校卒業 4. 高専、短大、専門学校等中退 5. 高専、短大、専門学校等卒業 6. 大学中退 7. 大学卒業 8. 大学院中退 9. 大学院修了 10. その他教育機関中退 11. その他教育機関卒業 12. その他 ()				
⑨就業等の状況 (「学校等は既に卒業等 している」場合)	1. 求職中 2. 正社員・正規職員 3. パート・アルバイト 4. 嘱託・契約社員・準社員・臨時職員 5. 人材派遣会社の派遣社員 6. 自営業主 (商店主・農業など) 7. 自家営業の手伝い 8. 主夫・主婦 9. その他 ()				

あてな かた さいみまん ばあい ほごしゃ かた
宛名の方が18歳未満の場合に、その保護者の方におたずねします
 あてな かた ほんにん かいとう ばあい あてな かた さいいじょう ばあい
※宛名の方ご本人が回答している場合や、宛名の方が18歳以上の場合など、
 がいとう かた たい いこう こた
該当しない方は、10 ページの間24以降にお答えください

問10 宛名の子どもは、普段（月曜日～金曜日）、朝決まった時間に起きられますか。（あてはまる番号1つに○をつけてください）

- | | |
|-------------------|------------------|
| 1. 起きられる | 2. どちらかといえば起きられる |
| 3. どちらかといえば起きられない | 4. 起きられない |
| 5. わからない | |

問11 宛名の子どもは、1週間に朝ごはんをどれくらい食べていますか。（あてはまる番号1つに○をつけてください）

- | | | |
|----------------|--------------|----------------|
| 1. 毎日食べる | 2. 週に5日以上食べる | 3. 週に3, 4日は食べる |
| 4. 週に1, 2日は食べる | 5. ほとんど食べない | 6. わからない |

問12 宛名の子どもは、1週間にお風呂（シャワーのみの場合も含む）にどれくらい入っていますか。（あてはまる番号1つに○をつけてください）

- | | | |
|---------------|-------------|---------------|
| 1. 毎日入る | 2. 週に5日以上入る | 3. 週に3, 4日は入る |
| 4. 週に1, 2日は入る | 5. ほとんど入らない | 6. わからない |

問13 普段、子どもだけでごはんを食べることがありますか。（あてはまる番号1つに○をつけてください）

- | | | | | |
|---------|-----------|-----------|-----------|----------|
| 1. よくある | 2. ときどきある | 3. ほとんどない | 4. まったくない | 5. わからない |
|---------|-----------|-----------|-----------|----------|

問14 子どものことについて、現在悩んでいることはありますか。（あてはまる番号すべてに○をつけてください）

- | |
|---|
| 1. 子どもに対するしつけや教育に自信が持てない |
| 2. 子どもに対するしつけや教育について、相談する相手がいない |
| 3. 配偶者が子育てにあまり協力してくれない |
| 4. 配偶者と子育てのことで意見が合わない |
| 5. 子どもに基本的な生活習慣（あいさつ、規則正しい食生活、整理・整頓など）が身につけていない |
| 6. 子どもが勉強しない |
| 7. 子どもの進学や受験のことが心配である |
| 8. 子どもの就職のことが心配である |
| 9. 子どもが反抗的で、なかなか言うことを聞かない |
| 10. 子どもが何事に対しても消極的である |
| 11. 子どもが良い友人関係を持ってない |
| 12. 子どもの身体の発育や病気が心配である |
| 13. 子どもの非行や問題行動が心配である |
| 14. 子どもの教育費のことが心配である |
| 15. 子どもに十分な食事や栄養を与えることができていない |
| 16. その他（ |
| 17. 特に悩みはない |

問15 あなたの世帯では、次の(ア)(イ)のようなことがどれくらいありますか。

(ア) 家族で買い物に出かけること (あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. よくある 2. ときどきある 3. あまりない 4. ない

(イ) 子どもに勉強を教えること (あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. よくある 2. ときどきある 3. あまりない 4. ない

問16 あなたの世帯では、次の(ア)(イ)のようなことがどれくらいありますか。

(ア) 家族で旅行に行くこと (あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. 年2回以上の頻度である 2. 年1回程度の頻度である
3. 年1回より頻度は少ないがときどきある 4. ほとんどない

(イ) 家族でファミリーレストラン等で外食すること (あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. 月2回以上の頻度である 2. 月1回程度の頻度である
3. 月1回より頻度は少ないがときどきある 4. ほとんどない

問17 あなたの世帯では、過去1年間に、お金が足りなくて、子どもが必要とする文具や教材が買えないことがありましたか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. よくあった 2. ときどきあった 3. ほとんどなかった 4. まったくなかった

問18 あなたの世帯では、経済的な理由により、子どもに進学を諦めさせたり学校を中退させたりしたことはありますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. ある
2. これまでにはないが、今後その可能性がある
3. これまでになく、今後もその可能性はない (可能性は低い)

問19 あなたの世帯では、過去1年間に、子どもについて病気や怪我の治療のために病院や診療所を受診したほうがよいと思ったのに、実際には受診しなかったことがありますか。(「ある」場合には、その理由について、あてはまる番号すべてに○をつけてください)

1. ない (病院や診療所を受診したほうがよいと思った場合は、必ず受診した)
2. ある (病院や診療所に行く時間がなかったため)
3. ある (身体上の理由で、病院や診療所まで行くことが困難であったため)
4. ある (病院や診療所までの距離が遠く、通院することが困難であったため)
5. ある (公的医療保険に加入しておらず、医療費を支払うことが難しかったため)
6. ある (公的医療保険に加入はしていたが、医療費を支払うことが難しかったため)
7. ある (その他の理由・具体的に：)

問20 子どもにとって次のことはどの程度重要だと思いますか。(ア)～(エ)のそれぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけてください

	非常に重要である	重要である	少しは重要である	重要でない
(ア) 一生懸命勉強すること	1	2	3	4
(イ) 高校卒業後大学・短大・専門学校等に進学すること	1	2	3	4
(ウ) 一生懸命働くこと	1	2	3	4
(エ) 家族の介護やきょうだいの世話をすること	1	2	3	4

問21 宛名の子どもは、現在習い事等をしてしていますか。(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

1. 学習塾	2. 通信教育	3. 英会話
4. 習字・そろばん	5. 音楽・絵画	6. スポーツ・ダンス
7. その他 ()		8. 特に行っていない

問22 宛名の子どもについて、学生ボランティア等による、無料の学習支援制度(学習の手助けなど)があった場合、利用したいと思いますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. 現在利用している	2. 今後利用したいと思う	3. 利用するつもりはない
-------------	---------------	---------------

問23 宛名の子どもにとって、現在、または将来的に、どのような支援があるとよいと思いますか。(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

1. 保護者が家にいないときに子どもを預かる場やサービスの提供
2. 低い家賃で住めるところ(寮や下宿のようなところ)
3. 生活や就学のための経済的補助
4. 進路や生活などについてなんでも相談できる場所
5. 仲間と出会え、一緒に活動できる場所
6. 自然体験や集団遊びなど、多様な活動機会の提供
7. 地域における子どもの居場所の提供
8. 読み書き計算などの基礎的な学習への支援
9. 会社などでの職場体験等の機会
10. 仕事に就けるようにするための就労に関する支援
11. その他 ()
12. 特にない
13. よくわからない

⇒引き続き、問24以降にお答えください

あなたのことについておたずねします

問24 あなたは、過去1年間に次のようなことを経験しましたか。(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

- | | | |
|-------------|------------------|-------|
| 1. 横浜市内での転居 | 2. 横浜市外から横浜市への転居 | 3. 離職 |
| 4. 転職 (1回) | 5. 転職 (2回以上) | 6. 離婚 |
| 7. 配偶者との死別 | 8. いずれも該当しない | |

問25 あなたは、現在収入をとまなう仕事をしていますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. している (ひとつの仕事をしている) 2. している (複数の仕事をしている) 3. していない

→ (問25:2-1へ)

(問25-1-1 と問25-1-2 は、現在、収入をとまなう仕事を「している」方におたずねします)

問25-1-1 現在の仕事の就業形態は次のどれにあてはまりますか。(複数の仕事をお持ちの方は、主な仕事について、1つだけに○をつけてください)

- | | |
|---------------------|----------------|
| 1. 正社員・正規職員 | 2. パート・アルバイト |
| 3. 嘱託・契約社員・準社員・臨時職員 | 4. 人材派遣会社の派遣社員 |
| 5. 自営業主 (商店主・農業など) | 6. 自家営業の手伝い |
| 7. その他 () | |

問25-1-2 現在の仕事からの年間の所得 (税込み、賞与分も含む) は大体いくらぐらいですか。

また、残業時間等を含めた一週間あたりの平均就業時間は何時間ぐらいですか。

それぞれ口の中にご記入ください。

※自営業主の方などの所得については、収入から必要経費を差し引いた所得金額を記入してください

年間の所得 約	<input type="text"/>	万円	一週間あたりの平均就業時間 約	<input type="text"/>	時間
---------	----------------------	----	-----------------	----------------------	----

⇒引き続き、問26以降にお答えください

(問25-2-1～問25-2-3 は、現在、収入をとまなう仕事を「していない」方におたずねします)

問25-2-1 あなたは現在働きたいと思っていますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. 今すぐに働きたい 2. 今は働けないがそのうち働きたい 3. 働きたいと思わない

→ (問26以降へ)

問25-2-2 今すぐ働きたいと思われているのに、働いていない理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | |
|---------------------|
| 1. 仕事の探し方がわからない |
| 2. 収入について条件のあう仕事がない |
| 3. 時間について条件のあう仕事がない |
| 4. 年齢制限のため仕事がない |
| 5. 仕事に必要な専門知識や資格がない |
| 6. 子どもの保育の手だてがない |
| 7. その他 () |

問25-2-3 どのような状況になれば働きたいと思えますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | |
|--------------------------|
| 1. 子どもの保育の手だてができれば |
| 2. 子どもが小学校に入学したら |
| 3. 子どもの問題 (健康など) が解決したら |
| 4. 自分自身の問題 (健康など) が解決したら |
| 5. 学校や職業訓練などが終了したら |
| 6. 仕事に必要な資格や技能を身につけたら |
| 7. その他 () |

⇒引き続き、問26以降にお答えください

問26 あなたの現在の健康状態はいかがですか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. よい 2. まあよい 3. 普通 4. あまりよくない 5. よくない

問27 あなたは、過去1年間で、病気・障害等に関する次のような経験がありますか。(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

1. 病気・障害等が原因で1週間以上入院していた
 2. 病気・障害等が原因で連続して1週間以上仕事を休んでいた
 3. 病気・障害等が原因で仕事をやめた 4. 気分がひどく落ち込んでいた
 5. なかなか眠れないことがあった 6. いずれも経験してない

問27-1 (問27-1は、問27で、1.～3.のいずれかを回答した方にうかがいます)
 差し支えない範囲で、病名や障害の種類について教えてください。

問28 あなたは、以下のような経験をしたことがありますか。(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

1. あなたの両親が離婚した 2. あなたが成人する前に母親が亡くなった
 3. あなたが成人する前に父親が亡くなった 4. あなたが成人する前の生活は経済的に困っていた
 5. 親から暴力を振るわれたことがある 6. 親と疎遠になっている(なっていた)
 7. 親の介護が負担になっている(なっていた) 8. 配偶者または元配偶者から暴力を振るわれたことがある
 9. 配偶者または元配偶者に暴力を振るったことがある 10. 上記のいずれも経験したことがない

問29 あなたの最終学歴は以下のうちどれですか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. 中学校卒業 2. 高等学校中退
 3. 高等学校卒業 4. 高専、短大、専門学校等中退
 5. 高専、短大、専門学校等卒業 6. 大学中退
 7. 大学卒業 8. 大学院中退
 9. 大学院修了 10. その他の教育機関中退
 11. その他の教育機関卒業 12. その他()

問30 あなたには、現在心おきなく相談できる相手がありますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. 相談できる相手がいる 2. 相談相手がほしい 3. 必要ない ⇒ 問31以降へ

問30-1 (「相談できる相手がいる」または「相談相手がほしい」とお答えの方にうかがいます)
 その相談相手は誰ですか、また相談相手がほしい方はどのような相手に相談したいと思
 いますか。(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

1. 配偶者 2. 親・親族 3. 子ども
 4. 友人・知人 5. 隣人・地域の人 6. 幼稚園・保育所の先生
 7. 学校の先生 8. カウンセラーなどの専門家 9. 民生委員・児童委員
 10. 区役所など公的機関 11. 民間団体やボランティア 12. その他()

⇒引き続き、問31以降にお答えください

あなたの配偶者の方についておたずねします

(ここでの「配偶者」には、法律上の婚姻はしていないが、事実上の婚姻関係にある人も含みます)
 ※未婚の方やひとり親の方など、該当しない方は、14 ページの問37以降にお答えください

問31 配偶者の方について、過去1年間に次のようなことはありましたか。(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

- | | | |
|--------------|------------|--------------|
| 1. 離職 | 2. 転職 (1回) | 3. 転職 (2回以上) |
| 4. いずれも該当しない | 5. わからない | |

問32 配偶者の方は、現在収入をとまなう仕事をしていますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

- | | | |
|-----------------------|----------------------|----------|
| 1. している (ひとつの仕事をしている) | 2. している (複数の仕事をしている) | 3. していない |
|-----------------------|----------------------|----------|
- (問32-2-1へ)

(問32-1-1と問32-1-2は、現在、配偶者の方が収入をとまなう仕事を「している」場合におたずねします)

問32-1-1 配偶者の方の現在の仕事の就業形態は次のどれにあてはまりますか。(複数の仕事をお持ちの場合は、主な仕事について、1つだけに○をつけてください)

- | | |
|---------------------|----------------|
| 1. 正社員・正規職員 | 2. パート・アルバイト |
| 3. 嘱託・契約社員・準社員・臨時職員 | 4. 人材派遣会社の派遣社員 |
| 5. 自営業主 (商店主・農業など) | 6. 自家営業の手伝い |
| 7. その他 () | |

問32-1-2 配偶者の方の、現在の仕事からの年間所得 (税込み、賞与分も含む) は大体いくらぐらいですか。また、残業時間等を含めた一週間あたりの平均就業時間は何時間ぐらいですか。それぞれ口の中にご記入ください。

※自営業主の方などの所得については、収入から必要経費を差し引いた所得金額を記入してください

年間の所得 約	<input type="text"/>	万円	一週間あたりの平均就業時間 約	<input type="text"/>	時間
---------	----------------------	----	-----------------	----------------------	----

⇒引き続き、問33以降にお答えください

(問32-2-1～問32-2-3は、現在、配偶者の方が収入をとまなう仕事を「していない」方におたずねします)

問32-2-1 配偶者の方は現在働きたいと思っておりますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

- | | | |
|-------------------|---------------------------|---------------------|
| 1. <u>今すぐ働きたい</u> | 2. <u>今は働けないがそのうち働きたい</u> | 3. <u>働きたいと思わない</u> |
|-------------------|---------------------------|---------------------|
- (問33以降へ)

問32-2-2 今すぐ働きたいと思われているのに、働いていない理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | |
|---------------------|
| 1. 仕事の探し方がわからない |
| 2. 収入について条件のあう仕事がない |
| 3. 時間について条件のあう仕事がない |
| 4. 年齢制限のため仕事がない |
| 5. 仕事に必要な専門知識や資格がない |
| 6. 子どもの保育の手だてがない |
| 7. その他 () |

問32-2-3 どのような状況になれば働きたいと思えますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | |
|-------------------------|
| 1. 子どもの保育の手だてができれば |
| 2. 子どもが小学校に入学したら |
| 3. 子どもの問題 (健康など) が解決したら |
| 4. 自分の問題 (健康など) が解決したら |
| 5. 学校や職業訓練などが終了したら |
| 6. 仕事に必要な資格や技能を身につけたら |
| 7. その他 () |

⇒引き続き、問33以降にお答えください

問33 配偶者の方の現在の健康状態はいかがですか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. よい
2. まあよい
3. 普通
4. あまりよくない
5. よくない
6. わからない

問34 配偶者の方は、過去1年間で、病気・障害等に関する次のような経験がありますか。(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

1. 病気・障害等が原因で1週間以上入院していた
2. 病気・障害等が原因で連続して1週間以上仕事を休んでいた
3. 病気・障害等が原因で仕事をやめた
4. 気分がひどく落ち込んでいた
5. なかなか眠れないことがあった
6. いずれも経験してない
7. わからない

問34-1 (問34-1は、問34で、1. ~ 3. のいずれかを回答した方にうかがいます)

差し支えない範囲で、病名や障害の種類について教えてください。

問35 配偶者の方は、以下のような経験をしたことがありますか。(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

1. 両親が離婚した
2. 成人する前に母親が亡くなった
3. 成人する前に父親が亡くなった
4. 成人する前の生活は経済的に困っていた
5. 親から暴力を振るわれたことがある
6. 親と疎遠になっている(なっていた)
7. 親の介護が負担になっている(なっていた)
8. 配偶者または元配偶者から暴力を振るわれたことがある
9. 配偶者または元配偶者に暴力を振るったことがある
10. 上記のいずれも経験したことがない
11. わからない

問36 配偶者の方の最終学歴は以下のうちどれですか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. 中学校卒業
2. 高等学校中退
3. 高等学校卒業
4. 高専、短大、専門学校等中退
5. 高専、短大、専門学校等卒業
6. 大学中退
7. 大学卒業
8. 大学院中退
9. 大学院修了
10. その他の教育機関中退
11. その他の教育機関卒業
12. その他 ()
13. わからない

⇒引き続き、問37以降にお答えください

現在の暮らしの状況についておたずねします

問37 現在の住居の状況について教えてください。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

- | | | |
|----------------|------------|-----------------|
| 1. 持家 | 2. 市営・県営住宅 | 3. 公社・公団(UR)の賃貸 |
| 4. 社宅 | 5. 借家 | 6. 間借 |
| 7. その他(具体的に:) | | |

問38 あなたの世帯では、次のような借入金がありますか。(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

- | | |
|----------------------------|-------------------|
| 1. 住宅・土地の購入のための借入金(住宅ローン) | 2. 車の購入のための借入金 |
| 3. 教育のための借入金(返済が必要な奨学金を含む) | 4. 親族や友人・知人からの借入金 |
| 5. 母子福祉資金貸付金など自治体等からの借入金 | 6. その他の借入金() |
| 7. 借入金はない | |

問39 あなたの世帯では、過去1年間に、経済的な理由で家賃・住宅ローンの滞納、各種料金の未払い、債務の返済ができないことがありましたか。((ア)～(エ)のそれぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけてください)

※各種の支払いや借入金がない場合などは、「該当しない」を選択してください

	なかった	あった	該当しない
(ア) 家賃・住宅ローンの滞納	1	2	3
(イ) 電気料金・ガス料金・水道料金の未払い	1	2	3
(ウ) 電話料金の未払い	1	2	3
(エ) その他の債務不履行	1	2	3

問40 あなたの世帯では、過去1年間に、お金が足りなくて、必要とする食料が買えないことがありましたか。ただし、嗜好品は含みません。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

- | | | | |
|----------|------------|-------------|-------------|
| 1. よくあった | 2. ときどきあった | 3. ほとんどなかった | 4. まったくなかった |
|----------|------------|-------------|-------------|

問41 あなたの世帯では、過去1年間に、お金が足りなくて、必要とする衣料が買えないことがありましたか。ただし、高価な衣服や貴金属・宝飾品は含みません。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

- | | | | |
|----------|------------|-------------|-------------|
| 1. よくあった | 2. ときどきあった | 3. ほとんどなかった | 4. まったくなかった |
|----------|------------|-------------|-------------|

問42 現在の暮らしの状況を総合的にみて、どう感じていますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

- | | | | | |
|-------------|-------------|-------|----------|----------|
| 1. 大変ゆとりがある | 2. ややゆとりがある | 3. 普通 | 4. やや苦しい | 5. 大変苦しい |
|-------------|-------------|-------|----------|----------|

世帯の家計のこと等についておたずねします

問43 あなたの世帯に含まれる方で、昨年1年間（平成26年1月1日～12月31日の期間）に、同時に複数の仕事を掛け持ちした人はいますか。（あてはまる番号すべてに○をつけてください）

※宛名でお送りさせていただいた0歳から24歳未満の方からみた続柄で回答してください。

- | | | | | | |
|--------|---------------------|-------|-------|--------------|---------|
| 1. 母親 | 2. 父親 | 3. 祖母 | 4. 祖父 | 5. 本人 | 6. 兄弟姉妹 |
| 7. 配偶者 | 8. その他（具体的に： _____） | | | 9. 該当する人はいない | |

問44 あなたの世帯に含まれる方で、昨年1年間（平成26年1月1日～12月31日の期間）に、深夜（22時～5時頃）や早朝（5時～8時）の時間を勤務時間として仕事をしていた人はいますか。（あてはまる番号すべてに○をつけてください）

※宛名でお送りさせていただいた0歳から24歳未満の方からみた続柄で回答してください。

- | | | | | | |
|--------|---------------------|-------|-------|--------------|---------|
| 1. 母親 | 2. 父親 | 3. 祖母 | 4. 祖父 | 5. 本人 | 6. 兄弟姉妹 |
| 7. 配偶者 | 8. その他（具体的に： _____） | | | 9. 該当する人はいない | |

問45 あなたの世帯では、昨年1年間（平成26年1月1日～12月31日の期間）で、「働いて得た所得」（雇用者所得、事業所得、農耕・畜産所得、家内労働所得）はありましたか。（あてはまる番号すべてに○をつけてください）

※世帯とは、普段同居と生計を共にしている方々（世帯員）の集まりをいいます。世帯員全員の分を合わせてお考えください。（本調査票の2ページ下部の説明を再度ご確認ください）

※問38 で回答いただいた各種の借入金は、所得には含めません。

※「雇用者所得」については、勤め先から受け取った給料、賃金、賞与（ボーナス）についてお考えください。アルバイト等による所得も含まれます。

※「事業所得」、「農耕・畜産所得」、「家内労働所得」については、収入から、必要な経費を差し引いた所得でお考えください。

※宛名でお送りさせていただいた0歳から24歳未満の方からみた続柄で回答してください。

- | | |
|-------------------------------------|------------------|
| 1. 母親が働いて得た所得 | 2. 父親が働いて得た所得 |
| 3. 祖母が働いて得た所得 | 4. 祖父が働いて得た所得 |
| 5. 本人が働いて得た所得 | 6. 兄弟姉妹が働いて得た所得 |
| 7. 配偶者が働いて得た所得 | 8. その他の方が働いて得た所得 |
| 9. 平成26年1月1日～12月31日の期間、働いて得た所得はなかった | |

問46 あなたの世帯では、昨年1年間（平成26年1月1日～12月31日の期間）で、次の（ア）～（ク）のような所得はありましたか。（それぞれ、あてはまる番号1つに○をつけてください）

※世帯とは、普段住居と生計を共にしている方々（世帯員）の集まりをいいます。世帯員全員の分を合わせてお考えください。（本調査票の2ページ下部の説明を再度ご確認ください）
 ※問38で回答いただいた各種の借入金、所得には含めません。
 ※各所得について説明の内容を読んでお答えください。

	説明	あり	なし
（ア）財産による所得	※家屋や土地を貸すことによって得た収入や、預貯金、公社債、株式などから得られた利子、配当金（源泉分離課税分を含む）についてお考えください。 ※ただし、家や土地の売却代金、引き出した預貯金、生命保険・損害保険からの受取金を除きます。	1	2
（イ）公的年金・恩給による所得	※国民年金、基礎年金、厚生年金（厚生年金基金からの年金を含む）、共済年金、障害年金、福祉年金、恩給などからの受取額でお考えください。	1	2
（ウ）雇用保険による所得	※雇用保険法の失業等給付の受取額（育児休業給付、介護休業給付を含む）でお考えください。	1	2
（エ）児童手当等による所得	※児童手当、児童扶養手当、特別児童扶養手当、児童育成手当などの児童に関する社会保障給付金についてお考えください。	1	2
（オ）その他の社会保障給付金による所得	※生活保護による扶助、医療保険による傷病てあて金・出産手当金、労働者災害補償保険など、その他法令に基づく支給金についてお考えください。	1	2
（カ）仕送りによる所得	※定期的または継続的に送られてきた金銭の有無についてお考えください。 ※単身赴任者を送り出している世帯で、単身赴任者の口座から生活費等として定期的に引き出している場合は、それを含めてお考えください。	1	2
（キ）企業年金・個人年金等による所得	※「企業年金・個人年金等による所得」は、企業年金、生命保険会社・かんぽ生命・銀行・証券会社などの個人年金および年金型商品、国民年金基金、農業者年金等からの受取額についてお考えください。 ※ただし、厚生年金基金からの年金は、「公的年金・恩給」としてお考えください。	1	2
（ク）その他の所得	※上記（ア）～（キ）以外の、冠婚葬祭の金、各種祝い金、せん別、見舞金などについてお考えください。	1	2

問47 問46 で回答いただいた内容について、あらためておたずねします。あなたの世帯では、昨年1年間（平成26年1月1日～12月31日の期間）で、次のような形での所得はありますか。（あてはまる番号すべてに○をつけてください）

- | | | |
|---------------|---------------|------------------|
| 1. 親・親族からの仕送り | 2. 元配偶者からの養育費 | 3. 遺族基礎年金・遺族厚生年金 |
| 4. 生活保護 | 5. 児童扶養手当 | 6. いずれも該当しない |

問48 問45、問46 でお答えいただいた所得のうち、主な所得はどれですか。次の選択肢の中から所得の多い順に5つまで選び、その番号を口の中にご記入ください。

※「働いて得た所得」については、宛名でお送りさせていただいた0歳から24歳未満の方からみた続柄で回答してください。

最も所得の多いもの	<input type="text"/>	2番目に多いもの	<input type="text"/>	3番目に多いもの	<input type="text"/>
		4番目に多いもの	<input type="text"/>	5番目に多いもの	<input type="text"/>

< 選択肢 >

- | | |
|--------------------|-----------------|
| ① 母親が働いて得た所得 | ② 父親が働いて得た所得 |
| ③ 祖母が働いて得た所得 | ④ 祖父が働いて得た所得 |
| ⑤ 本人が働いて得た所得 | ⑥ 兄弟姉妹が働いて得た所得 |
| ⑦ 配偶者が働いて得た所得 | ⑧ その他の方が働いて得た所得 |
| ⑨ 財産による所得 | ⑩ 公的年金・恩給による所得 |
| ⑪ 雇用保険による所得 | ⑫ 児童手当等による所得 |
| ⑬ その他の社会保障給付金による所得 | ⑭ 仕送りによる所得 |
| ⑮ 企業年金・個人年金等による所得 | ⑯ その他の所得 |

問49 あなたの世帯の昨年1年間（平成26年1月1日～12月31日の期間）の所得の合計（税込み）はいくらですか。（金額を回答欄の中にご記入ください）

※世帯とは、普段住居と生計を共にしている方々（世帯員）の集まりをいいます。世帯員全員の分を合わせてお考えください。（本調査票の2ページの説明を再度ご確認ください）

※問45、問46 で回答いただいた、「働いて得た所得」から「その他の所得」まで、各種の所得の合計金額（税込み）をお教えください。

※可能であれば、昨年1年間（平成26年1月1日～12月31日の期間）の源泉徴収票や給与明細書、確定申告書などをもとにして回答してください。1年分の所得金額がわからないときは、1か月分の収入を12倍するなどして、1年分の金額を計算して記入してください。

※万円未満は四捨五入して、万円単位で記入してください。（1～4,999円は「0万円」、5,000～14,999円は「1万円」）

※問38 で回答いただいた各種の借入金は、所得には含めません。

世帯員全員の年間の所得の合計（税込み）	<input type="text"/>	万円
---------------------	----------------------	----

問50 あなたの世帯の昨年1年間（平成26年1月1日～12月31日の期間）の可処分所得（いわゆる手取り収入）がおおよそどのくらいか教えてください。

※問49 で回答いただいた世帯員全員の所得の合計額から、「所得税」「住民税」「社会保険料（医療保険（短期掛金））」「年金保険（長期掛金）」「介護保険」「雇用保険」「固定資産税」を除いた額がおおよそどのくらいか教えてください。

※回答は、あなたを含む世帯員人数（問3で回答いただいた人数）に応じて、選択肢よりいずれかあてはまる番号1つに○をつけてください。

$$\text{可処分所得 (問50)} = \text{所得 (問49)} - \left(\begin{array}{l} \text{「所得税」「住民税」} \\ \text{「社会保険料」「固定資産税」} \end{array} \right)$$

世帯員人数 (問3での回答人数)	可処分所得・選択肢					
「1人」の場合…	1. 60万円未満	2. 60万円～120万円未満	3. 120万円～180万円未満	4. 180万円～240万円未満	5. 240万円～300万円未満	6. 300万円以上
「2人」の場合…	1. 85万円未満	2. 85万円～175万円未満	3. 175万円～260万円未満	4. 260万円～345万円未満	5. 345万円～430万円未満	6. 430万円以上
「3人」の場合…	1. 105万円未満	2. 105万円～210万円未満	3. 210万円～315万円未満	4. 315万円～420万円未満	5. 420万円～525万円未満	6. 525万円以上
「4人」の場合…	1. 120万円未満	2. 120万円～245万円未満	3. 245万円～365万円未満	4. 365万円～485万円未満	5. 485万円～605万円未満	6. 605万円以上
「5人」の場合…	1. 135万円未満	2. 135万円～275万円未満	3. 275万円～410万円未満	4. 410万円～545万円未満	5. 545万円～680万円未満	6. 680万円以上
「6人」の場合…	1. 150万円未満	2. 150万円～300万円未満	3. 300万円～450万円未満	4. 450万円～600万円未満	5. 600万円～750万円未満	6. 750万円以上
「7人」の場合…	1. 160万円未満	2. 160万円～325万円未満	3. 325万円～485万円未満	4. 485万円～645万円未満	5. 645万円～805万円未満	6. 805万円以上
「8人」の場合…	1. 175万円未満	2. 175万円～345万円未満	3. 345万円～520万円未満	4. 520万円～695万円未満	5. 695万円～870万円未満	6. 870万円以上
「9人」以上の場合…	1. 185万円未満	2. 185万円～365万円未満	3. 365万円～550万円未満	4. 550万円～735万円未満	5. 735万円～920万円未満	6. 920万円以上

アンケートは以上で終わりです。ありがとうございました。

(2) 集計値

最初に、調査に回答いただく方（あなた）のことについておたずねします

問1 この調査に回答いただいている方—宛名の方からみた続柄について

	件数	割合 n=2,657	割合 (除無回答) n=2,654
母親	1,836	69.1	69.2
父親	763	28.7	28.7
祖母	6	0.2	0.2
祖父	2	0.1	0.1
本人	45	1.7	1.7
その他	2	0.1	0.1
無回答	3	0.1	—
全 体	2,657	100.0	100.0

問2 現在のお住まいの地区について

	件数	割合 n=2,657	割合 (除無回答) n=2,652
鶴見区	179	6.7	6.7
神奈川区	146	5.5	5.5
西区	69	2.6	2.6
中区	78	2.9	2.9
南区	108	4.1	4.1
港南区	149	5.6	5.6
保土ヶ谷区	125	4.7	4.7
旭区	163	6.1	6.1
磯子区	132	5.0	5.0
金沢区	133	5.0	5.0
港北区	255	9.6	9.6
緑区	133	5.0	5.0
青葉区	272	10.2	10.3
都筑区	192	7.2	7.2
戸塚区	220	8.3	8.3
栄区	102	3.8	3.8
泉区	102	3.8	3.8
瀬谷区	94	3.5	3.5
無回答	5	0.2	—
全 体	2,657	100.0	100.0

世帯の状況についておたずねします

問3 普段一緒にお住まいで、生計を共にしている方（世帯員）は、あなたを含めて何人ですか

	件数	割合 n=2,657	割合 (除無回答) n=2,654
1人	17	0.6	0.6
2人	113	4.3	4.3
3人	1,013	38.1	38.2
4人	1,142	43.0	43.0
5人	292	11.0	11.0
6人	66	2.5	2.5
7人	11	0.4	0.4
無回答	3	0.1	—
全 体	2,657	100.0	100.0

問4 世帯員のうち、子ども・若者（平成27年4月1日現在0歳から24歳未満の方）の人数について

世帯員のうち子ども・若者の人数	件数	割合	
		n=2,657	割合 (除無回答) n=2,654
0人	0	0.0	0.0
1人	1,197	45.1	45.1
2人	1,185	44.6	44.6
3人	235	8.8	8.9
4人	35	1.3	1.3
5人	2	0.1	0.1
無回答	3	0.1	—
全 体	2,657	100.0	100.0

問4 年齢別の子ども・若者の人数

子ども・若者の人数		0人	1人	2人	3人	4人以上	無回答	全体
件数	0～5歳	1871	581	183	16	2	4	2,657
	6～11歳	1740	687	217	9	0	4	2,657
	12～17歳	1646	740	251	16	0	4	2,657
	18～23歳	1,867	599	181	5	1	4	2,657
割合	0～5歳 n=2,657	70.4	21.9	6.9	0.6	0.1	0.2	100.0
	6～11歳 n=2,657	65.5	25.9	8.2	0.3	0.0	0.2	100.0
	12～17歳 n=2,657	61.9	27.9	9.4	0.6	0.0	0.2	100.0
	18～23歳 n=2,657	70.3	22.5	6.8	0.2	0.0	0.2	100.0
割合 (除無回答)	0～5歳 n=2,653	70.5	21.9	6.9	0.6	0.1	—	100.0
	6～11歳 n=2,653	65.6	25.9	8.2	0.3	0.0	—	100.0
	12～17歳 n=2,653	62.0	27.9	9.5	0.6	0.0	—	100.0
	18～23歳 n=2,653	70.4	22.6	6.8	0.2	0.0	—	100.0

問5 あなたの世帯に含まれる方全員一宛名の方からみた続柄について（複数回答）

	件数	割合	
		n=2,657	割合 (除無回答) n=2,653
母親	2,589	97.4	97.6
父親	2,388	89.9	90.0
祖母	134	5.0	5.1
祖父	80	3.0	3.0
本人	2,653	99.8	100.0
兄弟姉妹	1,531	57.6	57.7
配偶者	2	0.1	0.1
子ども（息子・娘）	1	0.0	0.0
その他	9	0.3	0.3
無回答	4	0.2	—
全 体	9,391	—	—

問6 世帯主一宛名の方からみた続柄について

	件数	割合	
		n=2,657	割合 (除無回答) n=2,628
母親	231	8.7	8.8
父親	2,355	88.6	89.6
祖母	7	0.3	0.3
祖父	12	0.5	0.5
本人	19	0.7	0.7
兄弟姉妹	2	0.1	0.1
配偶者	2	0.1	0.1
子ども（息子・娘）	0	0.0	0.0
その他	0	0.0	0.0
無回答	29	1.1	—
全 体	2,657	100.0	100.0

問7 世帯主の年齢 ※平成27年4月1日現在の年齢

	件数	割合 n=2,657	割合 (除無回答) n=2,634
20歳未満	3	0.1	0.1
20～29歳	91	3.4	3.5
30～39歳	625	23.5	23.7
40～49歳	1,144	43.1	43.4
50～59歳	673	25.3	25.6
60～69歳	85	3.2	3.2
70歳以上	13	0.5	0.5
無回答	23	0.9	—
全 体	2,657	100.0	100.0

問8 あなたの世帯は、「ひとり親世帯」に該当しますか

	件数	割合 n=2,657	割合 (除無回答) n=2,651
該当しない	2,420	91.1	91.3
該当する(死別)	32	1.2	1.2
該当する(離婚)	167	6.3	6.3
該当する(未婚)	12	0.5	0.5
該当する(別居)	16	0.6	0.6
該当する(その他)	4	0.2	0.2
無回答	6	0.2	—
全 体	2,657	100.0	100.0

宛名の方のことや、兄弟姉妹のことについておたずねします(※宛名の方についての集計のみ)

問9 ①年齢 ※平成27年4月1日現在の年齢

	件数	割合 n=2,657	割合 (除無回答) n=2,555
0～5歳	775	29.2	30.3
6～11歳	673	25.3	26.3
12～17歳	670	25.2	26.2
18～23歳	437	16.4	17.1
無回答	102	3.8	—
全 体	2,657	100.0	100.0

問9 ②性別

	件数	割合 n=2,657	割合 (除無回答) n=2,600
男性	1,358	51.1	52.2
女性	1,242	46.7	47.8
無回答	57	2.1	—
全 体	2,657	100.0	100.0

問9 ③学校教育機関等の在籍状況

	件数	割合 n=2,657	割合 (除無回答) n=2,621
未就園	337	12.7	12.9
保育所	269	10.1	10.3
幼稚園	187	7.0	7.1
小学校	692	26.0	26.4
中学校	360	13.5	13.7
高等学校	323	12.2	12.3
高専、短大、専門学校等	41	1.5	1.6
大学	269	10.1	10.3
大学院	10	0.4	0.4
その他教育機関	8	0.3	0.3
進学等準備中	11	0.4	0.4
学校等は既に卒業等している	114	4.3	4.3
無回答	36	1.4	—
全 体	2,657	100.0	100.0

問9 ④健康状態

	件数	割合 n=2,657	割合 (除無回答) n=2,615
よい	2,239	84.3	85.6
まあよい	152	5.7	5.8
普通	191	7.2	7.3
あまりよくない	27	1.0	1.0
よくない	5	0.2	0.2
わからない	1	0.0	0.0
無回答	42	1.6	—
全 体	2,657	100.0	100.0

問9 ⑤障害等の有無

	件数	割合 n=2,657	割合 (除無回答) n=2,610
特にない	2,447	92.1	93.8
身体障害	19	0.7	0.7
知的な遅れ	46	1.7	1.8
発達障害	76	2.9	2.9
その他	16	0.6	0.6
わからない	30	1.1	1.1
無回答	47	1.8	—
全 体	2,681	—	—

【問9③で「小学生」～「学校等は既に卒業している」と回答した人のみ】

問9 ⑥学校等での勉強全般

	件数	割合 n=1,828	割合 (除無回答) n=1,729
成績良好	359	19.6	20.8
まあまあ良好	499	27.3	28.9
普通	703	38.5	40.7
やや遅れている	91	5.0	5.3
かなり遅れている	57	3.1	3.3
わからない	20	1.1	1.2
無回答	99	5.4	—
全 体	1,828	100.0	100.0

【問9③で「小学生」～「学校等は既に卒業している」と回答した人のみ】

問9 ⑦不登校の有無

	件数	割合 n=1,828	割合 (除無回答) n=1,720
不登校経験なし	1,644	89.9	95.6
過去に不登校経験あり	55	3.0	3.2
現在不登校中	14	0.8	0.8
わからない	7	0.4	0.4
無回答	108	5.9	—
全 体	1,828	100.0	100.0

【問9③で「学校等は既に卒業している」と回答した人のみ】

問9 ⑧最終学歴

	件数	割合 n=114	割合 (除無回答) n=111
中学校卒業	2	1.8	1.8
高等学校中退	1	0.9	0.9
高等学校卒業	26	22.8	23.4
高専、短大、専門学校等中退	5	4.4	4.5
高専、短大、専門学校等卒業	26	22.8	23.4
大学中退	6	5.3	5.4
大学卒業	43	37.7	38.7
大学院中退	0	0.0	0.0
大学院修了	0	0.0	0.0
その他教育機関中退	0	0.0	0.0
その他教育機関卒業	1	0.9	0.9
その他	1	0.9	0.9
無回答	3	2.6	—
全 体	114	100.0	100.0

【問9③で「学校等は既に卒業している」と回答した人のみ】

問9 ⑨就業等の状況

	件数	割合 n=114	割合 (除無回答) n=111
求職中	7	6.1	6.3
正社員・正規職員	63	55.3	56.8
パート・アルバイト	23	20.2	20.7
嘱託・契約社員・準社員・臨時職員	9	7.9	8.1
人材派遣会社の派遣社員	2	1.8	1.8
自営業主（商店主・農業など）	0	0.0	0.0
自家営業の手伝い	1	0.9	0.9
主夫・主婦	1	0.9	0.9
その他	5	4.4	4.5
無回答	3	2.6	—
全 体	114	100.0	100.0

宛名の方が18歳未満の場合に、その保護者の方におたずねします

【問10～問23は、本人が回答している場合、宛名の方が18歳以上と回答した人は除く】

問10 宛名の子どもは、普段（月曜日～金曜日）、朝決まった時間に起きられますか

	件数	割合 n=2,127	割合 (除無回答) n=2,084
起きられる	1,376	64.7	66.0
どちらかといえば起きられる	556	26.1	26.7
どちらかといえば起きられない	108	5.1	5.2
起きられない	35	1.6	1.7
わからない	9	0.4	0.4
無回答	43	2.0	—
全 体	2,127	100.0	100.0

問11 宛名の子どもは、1週間に朝ごはんをどれくらい食べていますか

	件数	割合 n=2,127	割合 (除無回答) n=2,079
毎日食べる	1,878	88.3	90.3
週に5日以上食べる	114	5.4	5.5
週に3, 4日は食べる	41	1.9	2.0
週に1, 2日は食べる	13	0.6	0.6
ほとんど食べない	27	1.3	1.3
わからない	6	0.3	0.3
無回答	48	2.3	—
全 体	2,127	100.0	100.0

問12 宛名の子どもは、1週間にお風呂にどれくらい入っていますか

	件数	割合 n=2, 127	割合 (除無回答) n=2, 083
毎日入る	1, 922	90. 4	92. 3
週に5日以上入る	116	5. 5	5. 6
週に3, 4日は入る	37	1. 7	1. 8
週に1, 2日は入る	7	0. 3	0. 3
ほとんど入らない	1	0. 0	0. 0
わからない	0	0. 0	0. 0
無回答	44	2. 1	—
全 体	2, 127	100. 0	100. 0

問13 普段、子どもだけでごはんを食べることがありますか

	件数	割合 n=2, 127	割合 (除無回答) n=2, 080
よくある	106	5. 0	5. 1
ときどきある	456	21. 4	21. 9
ほとんどない	571	26. 8	27. 5
まったくない	945	44. 4	45. 4
わからない	2	0. 1	0. 1
無回答	47	2. 2	—
全 体	2, 127	100. 0	100. 0

問14 子どものことについて、現在悩んでいることはありますか（複数回答）

	件数	割合 n=2, 127	割合 (除無回答) n=2, 037
子どもに対するしつけや教育に自信が持てない	342	16. 1	16. 8
子どもに対するしつけや教育について、相談する相手がいない	59	2. 8	2. 9
配偶者が子育てにあまり協力してくれない	78	3. 7	3. 8
配偶者と子育てのことで意見が合わない	110	5. 2	5. 4
子どもに基本的な生活習慣（あいさつ、規則正しい食生活、整理・整頓など）が身につけていない	274	12. 9	13. 5
子どもが勉強しない	239	11. 2	11. 7
子どもの進学や受験のことが心配である	637	29. 9	31. 3
子どもの就職のことが心配である	194	9. 1	9. 5
子どもが反抗的で、なかなか言うことを聞かない	189	8. 9	9. 3
子どもが何事に対しても消極的である	90	4. 2	4. 4
子どもが良い友人関係を持ってない	72	3. 4	3. 5
子どもの身体の発育や病気が心配である	165	7. 8	8. 1
子どもの非行や問題行動が心配である	32	1. 5	1. 6
子どもの教育費のことが心配である	615	28. 9	30. 2
子どもに十分な食事や栄養を与えることができていない	20	0. 9	1. 0
その他	90	4. 2	4. 4
特に悩みはない	681	32. 0	33. 4
無回答	90	4. 2	—
全 体	3, 977	—	—

問15（ア）家族で買い物に出かけること

	件数	割合 n=2, 127	割合 (除無回答) n=2, 086
よくある	1, 077	50. 6	51. 6
ときどきある	756	35. 5	36. 2
あまりない	224	10. 5	10. 7
ない	29	1. 4	1. 4
無回答	41	1. 9	—
全 体	2, 127	100. 0	100. 0

問15 (イ) 子どもに勉強を教えること

	件数	割合 n=2, 127	割合 (除無回答) n=2, 073
よくある	600	28.2	28.9
ときどきある	771	36.2	37.2
あまりない	435	20.5	21.0
ない	267	12.6	12.9
無回答	54	2.5	—
全 体	2, 127	100.0	100.0

問16 (ア) 家族で旅行に行くこと

	件数	割合 n=2, 127	割合 (除無回答) n=2, 080
年2回以上の頻度である	645	30.3	31.0
年1回程度の頻度である	787	37.0	37.8
年1回より頻度は少ないがときどきある	290	13.6	13.9
ほとんどない	358	16.8	17.2
無回答	47	2.2	—
全 体	2, 127	100.0	100.0

問16 (イ) 家族でファミリーレストラン等で外食すること

	件数	割合 n=2, 127	割合 (除無回答) n=2, 080
月2回以上の頻度である	800	37.6	38.5
月1回程度の頻度である	589	27.7	28.3
月1回より頻度は少ないがときどきある	487	22.9	23.4
ほとんどない	204	9.6	9.8
無回答	47	2.2	—
全 体	2, 127	100.0	100.0

問17 過去1年間にお金足りなくて、子どもが必要とする文具や教材が買えないことがありましたか

	件数	割合 n=2, 127	割合 (除無回答) n=2, 078
よくあった	17	0.8	0.8
ときどきあった	84	3.9	4.0
ほとんどなかった	303	14.2	14.6
まったくなかった	1, 674	78.7	80.6
無回答	49	2.3	—
全 体	2, 127	100.0	100.0

問18 経済的な理由により、子どもに進学を諦めさせたり学校を中退させたりしたことはありますか

	件数	割合 n=2, 127	割合 (除無回答) n=2, 052
ある	27	1.3	1.3
これまではないが、今後その可能性がある	413	19.4	20.1
これまでになく、今後もその可能性はない(可能性は低い)	1, 612	75.8	78.6
無回答	75	3.5	—
全 体	2, 127	100.0	100.0

問19 過去1年間に、子どもについて病気や怪我の治療のために病院等を受診したほうがよいと思ったのに、
受診しなかったことがありますか

	件数	割合 n=2, 127	割合 (除無回答) n=2, 054
ない(病院や診療所を受診した方がよいと思った場合は、必ず受診した)	1, 790	84. 2	87. 1
ある(病院や診療所に行く時間がなかったため)	197	9. 3	9. 6
ある(身体上の理由で、病院や診療所まで行くことが困難であったため)	12	0. 6	0. 6
ある(病院や診療所までの距離が遠く、通院することが困難であったため)	18	0. 8	0. 9
ある(公的医療保険に加入しておらず、医療費を支払うことが難しいため)	4	0. 2	0. 2
ある(公的医療保険に加入はしていたが、医療費を支払うことが難しいため)	45	2. 1	2. 2
ある(その他の理由)	19	0. 9	0. 9
無回答	73	3. 4	—
全 体	2, 158	—	—

問20 子どもにとって次のことはどの程度重要だと思いますか

		非常に重 要である	重要であ る	少しは重 要である	重要でな い	無回答	全体	
件数	一生懸命勉強すること	930	944	196	3	54	2, 127	
	高校卒業後大学・短大・専門学校等に進学すること	656	877	456	84	54	2, 127	
件数	一生懸命働くこと	1278	696	75	15	63	2, 127	
	家族の介護やきょうだいの世話をすること	332	869	699	159	68	2, 127	
割合	一生懸命勉強すること	n=2, 127	43. 7	44. 4	9. 2	0. 1	2. 5	100. 0
	高校卒業後大学・短大・専門学校等に進学すること	n=2, 127	30. 8	41. 2	21. 4	3. 9	2. 5	100. 0
	一生懸命働くこと	n=2, 127	60. 1	32. 7	3. 5	0. 7	3. 0	100. 0
	家族の介護やきょうだいの世話をすること	n=2, 127	15. 6	40. 9	32. 9	7. 5	3. 2	100. 0
割合 (除無回答)	一生懸命勉強すること	n=2, 073	44. 9	45. 5	9. 5	0. 1	—	100. 0
	高校卒業後大学・短大・専門学校等に進学すること	n=2, 073	31. 6	42. 3	22. 0	4. 1	—	100. 0
	一生懸命働くこと	n=2, 064	61. 9	33. 7	3. 6	0. 7	—	100. 0
	家族の介護やきょうだいの世話をすること	n=2, 059	16. 1	42. 2	33. 9	7. 7	—	100. 0

問21 宛名の子どもは、現在習い事等をしていますか(複数回答)

	件数	割合 n=2, 127	割合 (除無回答) n=2, 068
学習塾	558	26. 2	27. 0
通信教育	238	11. 2	11. 5
英会話	188	8. 8	9. 1
習字・そろばん	120	5. 6	5. 8
音楽・絵画	262	12. 3	12. 7
スポーツ・ダンス	692	32. 5	33. 5
その他	40	1. 9	1. 9
特に行っていない	784	36. 9	37. 9
無回答	59	2. 8	—
全 体	2, 941	—	—

問22 宛名の子どもについて、学生ボランティア等による無料の学習支援制度があった場合、利用したいと思いますか

	件数	割合 n=2, 127	割合 (除無回答) n=2, 049
現在利用している	11	0. 5	0. 5
今後利用したいと思う	1, 148	54. 0	56. 0
利用するつもりはない	890	41. 8	43. 4
無回答	78	3. 7	—
全 体	2, 127	100. 0	100. 0

問23 宛名の子どものために、現在または将来的に、どのような支援があるとよいと思いますか（複数回答）

	件数	割合	
		n=2,127	割合 (除無回答) n=2,075
保護者が家にいないときに子どもを預かる場やサービスの提供	678	31.9	32.7
低い家賃で住める場所（寮や下宿のようなところ）	303	14.2	14.6
生活や就学のための経済的補助	833	39.2	40.1
進路や生活などについてなんでも相談できる場所	569	26.8	27.4
仲間と出合い、一緒に活動できる場所	850	40.0	41.0
自然体験や集団遊びなど、多様な活動機会の提供	938	44.1	45.2
地域における子どもの居場所の提供	673	31.6	32.4
読み書き計算などの基礎的な学習への支援	367	17.3	17.7
会社などでの職場体験等の機会	852	40.1	41.1
仕事に就けるようにするための就労に関する支援	511	24.0	24.6
その他	73	3.4	3.5
特になし	130	6.1	6.3
よくわからない	70	3.3	3.4
無回答	52	2.4	—
全 体	6,899	—	—

あなたのことについておたずねします

問24 あなたは、過去1年間に次のようなことを経験しましたか（複数回答）

	件数	割合	
		n=2,657	割合 (除無回答) n=2,604
横浜市内での転居	143	5.4	5.5
横浜市内外から横浜市への転居	106	4.0	4.1
離職	68	2.6	2.6
転職（1回）	95	3.6	3.6
転職（2回以上）	15	0.6	0.6
離婚	23	0.9	0.9
配偶者との死別	4	0.2	0.2
いずれも該当しない	2,201	82.8	84.5
無回答	53	2.0	—
全 体	2,708	—	—

問25 あなたは、現在収入をともなう仕事をしていますか

	件数	割合	
		n=2,657	割合 (除無回答) n=2,646
している（ひとつの仕事をしている）	1,843	69.4	69.7
している（複数の仕事をしている）	103	3.9	3.9
していない	700	26.3	26.5
無回答	11	0.4	—
全 体	2,657	100.0	100.0

【問25で「している」と回答した人のみ】

問25-1-1 現在の仕事の就業形態は次のどれにあてはまりますか

	件数	割合	
		n=1,946	割合 (除無回答) n=1,934
正社員・正規職員	1,072	55.1	55.4
パート・アルバイト	601	30.9	31.1
嘱託・契約社員・準社員・臨時職員	106	5.4	5.5
人材派遣会社の派遣社員	39	2.0	2.0
自営業主（商店主・農業など）	59	3.0	3.1
自家営業の手伝い	28	1.4	1.4
その他	29	1.5	1.5
無回答	12	0.6	—
全 体	1,946	100.0	100.0

【問25で「している」と回答した人のみ】

問25-1-2 現在の仕事からの年間の所得（税込み、賞与分も含む）は大体いくらぐらいですか

	件数	割合 n=1,946	割合 (除無回答) n=1,859
50万円未満	103	5.3	5.5
50万円～100万円未満	274	14.1	14.7
100万円～300万円未満	462	23.7	24.9
300万円～500万円未満	289	14.9	15.5
500万円～700万円未満	261	13.4	14.0
700万円～1000万円未満	286	14.7	15.4
1000万円以上	184	9.5	9.9
無回答	87	4.5	—
全 体	1,946	100.0	100.0

【問25で「していない」と回答した人のみ】

問25-2-1 あなたは現在働きたいと思っていますか

	件数	割合 n=700	割合 (除無回答) n=678
今すぐに働きたい	115	16.4	17.0
今は働けないがそのうち働きたい	415	59.3	61.2
働きたいと思わない	148	21.1	21.8
無回答	22	3.1	—
全 体	700	100.0	100.0

【問25-2-1で「今すぐに働きたい」と回答した人のみ】

問25-2-2 今すぐ働きたいと思われているのに、働いていない理由は何ですか（複数回答）

	件数	割合 n=115	割合 (除無回答) n=114
仕事の探し方がわからない	3	2.6	2.6
収入について条件のあう仕事がない	16	13.9	14.0
時間について条件のあう仕事がない	65	56.5	57.0
年齢制限のため仕事がない	20	17.4	17.5
仕事に必要な専門知識や資格がない	29	25.2	25.4
子どもの保育の手だてがない	31	27.0	27.2
その他	23	20.0	20.2
無回答	1	0.9	—
全 体	188	—	—

【問25-2-1で「今は働けないがそのうち働きたい」と回答した人のみ】

問25-2-3 どのような状況になれば働きたいと思いますか（複数回答）

	件数	割合 n=415	割合 (除無回答) n=411
子どもの保育の手だてができれば	119	28.7	29.0
子どもが小学校に入学したら	133	32.0	32.4
子どもの問題（健康など）が解決したら	47	11.3	11.4
自分の問題（健康など）が解決したら	62	14.9	15.1
学校や職業訓練などが終了したら	22	5.3	5.4
仕事に必要な資格や技能を身につけたら	46	11.1	11.2
その他	88	21.2	21.4
無回答	4	1.0	—
全 体	521	—	—

問26 あなたの現在の健康状態はいかがですか

	件数	割合 n=2,657	割合 (除無回答) n=2,628
よい	1,091	41.1	41.5
まあよい	602	22.7	22.9
普通	720	27.1	27.4
あまりよくない	193	7.3	7.3
よくない	22	0.8	0.8
無回答	29	1.1	—
全 体	2,657	100.0	100.0

問27 あなたは、過去1年間で、病気・障害等に関する次のような経験がありますか（複数回答）

	件数	割合 n=2,657	割合 (除無回答) n=2,610
病気・障害等が原因で1週間以上入院していた	71	2.7	2.7
病気・障害等が原因で連続して1週間以上仕事を休んでいた	67	2.5	2.6
病気・障害等が原因で仕事をやめた	25	0.9	1.0
気分がひどく落ち込んでいた	313	11.8	12.0
なかなか眠れないことがあった	332	12.5	12.7
いずれも経験していない	2,026	76.3	77.6
無回答	47	1.8	—
全 体	2,881	—	—

問28 あなたは、以下のような経験をしたことがありますか（複数回答）

	件数	割合 n=2,657	割合 (除無回答) n=2,571
あなたの両親が離婚した	241	9.1	9.4
あなたが成人する前に母親が亡くなった	30	1.1	1.2
あなたが成人する前に父親が亡くなった	82	3.1	3.2
あなたが成人する前の生活は経済的に困っていた	187	7.0	7.3
親から暴力を振るわれたことがある	77	2.9	3.0
親と疎遠になっている（なっていた）	116	4.4	4.5
親の介護が負担になっている（なっていた）	117	4.4	4.6
配偶者または元配偶者から暴力を振るわれたことがある	121	4.6	4.7
配偶者または元配偶者に暴力を振るったことがある	17	0.6	0.7
上記のいずれも経験したことがない	1,896	71.4	73.7
無回答	86	3.2	—
全 体	2,970	—	—

問29 あなたの最終学歴は以下のうちどれですか

	件数	割合 n=2,657	割合 (除無回答) n=2,614
中学校卒業	34	1.3	1.3
高等学校中退	25	0.9	1.0
高等学校卒業	508	19.1	19.4
高専、短大、専門学校等中退	56	2.1	2.1
高専、短大、専門学校等卒業	781	29.4	29.9
大学中退	22	0.8	0.8
大学卒業	1,041	39.2	39.8
大学院中退	3	0.1	0.1
大学院修了	138	5.2	5.3
その他の教育機関中退	0	0.0	0.0
その他の教育機関卒業	1	0.0	0.0
その他	5	0.2	0.2
無回答	43	1.6	—
全 体	2,657	100.0	100.0

問30 あなたには、現在心おきなく相談できる相手がありますか

	件数	割合 n=2,657	割合 (除無回答) n=2,560
相談できる相手がいる	2,124	79.9	83.0
相談相手がほしい	217	8.2	8.5
必要ない	219	8.2	8.6
無回答	97	3.7	—
全 体	2,657	100.0	100.0

【問30で「相談できる相手がいる」または「相談相手がほしい」と回答した人のみ】

問30-1 その相談相手は誰ですか、また相談相手がほしい方はどのような相手に相談したいと思いますか（複数回答）

	件数	割合 n=2,341	割合 (除無回答) n=2,323
配偶者	1,594	68.1	68.6
親・親族	1,433	61.2	61.7
子ども	317	13.5	13.6
友人・知人	1,508	64.4	64.9
隣人・地域の人	134	5.7	5.8
幼稚園・保育所の先生	106	4.5	4.6
学校の先生	93	4.0	4.0
カウンセラーなどの専門家	181	7.7	7.8
民生委員・児童委員	12	0.5	0.5
区役所など公的機関	74	3.2	3.2
民間団体やボランティア	43	1.8	1.9
その他	29	1.2	1.2
無回答	18	0.8	—
全 体	5,542	—	—

あなたの配偶者のことについておたずねします

問31 配偶者の方について、過去1年間に次のようなことはありましたか（複数回答）

	件数	割合 n=2,434	割合 (除無回答) n=2,326
離職	67	2.8	2.9
転職（1回）	98	4.0	4.2
転職（2回以上）	26	1.1	1.1
いずれも該当しない	2,132	87.6	91.7
わからない	10	0.4	0.4
無回答	108	4.4	—
全 体	2,441	—	—

問32 配偶者の方は、現在収入をとまなう仕事をしていますか

	件数	割合 n=2,434	割合 (除無回答) n=2,327
している（ひとつの仕事をしている）	1,945	79.9	83.6
している（複数の仕事をしている）	58	2.4	2.5
していない	324	13.3	13.9
無回答	107	4.4	—
全 体	2,434	100.0	100.0

【問32で「している」と回答した人のみ】

問32-1-1 配偶者の方の現在の仕事の就業形態は次のどれにあてはまりますか

	件数	割合 n=2,003	割合 (除無回答) n=1,991
正社員・正規職員	1,526	76.2	76.6
パート・アルバイト	248	12.4	12.5
嘱託・契約社員・準社員・臨時職員	68	3.4	3.4
人材派遣会社の派遣社員	11	0.5	0.6
自営業主（商店主・農業など）	109	5.4	5.5
自家営業の手伝い	12	0.6	0.6
その他	17	0.8	0.9
無回答	12	0.6	—
全 体	2,003	100.0	100.0

【問32で「している」と回答した人のみ】

問32-1-2 配偶者の方の、現在の仕事からの年間の所得（税込み、賞与分も含む）は大体いくらぐらいですか

	件数	割合 n=2,003	割合 (除無回答) n=1,836
50万円未満	40	2.0	2.2
50万円～100万円未満	106	5.3	5.8
100万円～300万円未満	198	9.9	10.8
300万円～500万円未満	357	17.8	19.4
500万円～700万円未満	447	22.3	24.3
700万円～1000万円未満	397	19.8	21.6
1000万円以上	291	14.5	15.8
無回答	167	8.3	—
全 体	2,003	100.0	100.0

【問32で「していない」と回答した人のみ】

問32-2-1 配偶者の方は現在働きたいと思っていますか

	件数	割合 n=324	割合 (除無回答) n=313
今すぐに働きたい	36	11.1	11.5
今は働けないがそのうち働きたい	153	47.2	48.9
働きたいと思わない	124	38.3	39.6
無回答	11	3.4	—
全 体	324	100.0	100.0

【問32-2-1で「今すぐに働きたい」と回答した人のみ】

問32-2-2 今すぐ働きたいと思われているのに、働いていない理由は何ですか（複数回答）

	件数	割合 n=36	割合 (除無回答) n=34
仕事の探し方がわからない	3	8.3	8.8
収入について条件のあう仕事がない	12	33.3	35.3
時間について条件のあう仕事がない	18	50.0	52.9
年齢制限のため仕事がない	6	16.7	17.6
仕事に必要な専門知識や資格がない	3	8.3	8.8
子どもの保育の手だてがない	9	25.0	26.5
その他	5	13.9	14.7
無回答	2	5.6	—
全 体	58	—	—

【問32-2-1で「今は働けないがそのうち働きたい」と回答した人のみ】

問32-2-3 どのような状況になれば働きたいと思いますか（複数回答）

	件数	割合 n=153	割合 (除無回答) n=149
子どもの保育の手だてができれば	47	30.7	31.5
子どもが小学校に入学したら	48	31.4	32.2
子どもの問題（健康など）が解決したら	8	5.2	5.4
自分の問題（健康など）が解決したら	18	11.8	12.1
学校や職業訓練などが終了したら	7	4.6	4.7
仕事に必要な資格や技能を身につけたら	8	5.2	5.4
その他	35	22.9	23.5
無回答	4	2.6	—
全 体	175	—	—

問33 配偶者の方の現在の健康状態はいかがですか

	件数	割合 n=2,434	割合 (除無回答) n=2,326
よい	894	36.7	38.4
まあよい	576	23.7	24.8
普通	678	27.9	29.1
あまりよくない	138	5.7	5.9
よくない	27	1.1	1.2
わからない	13	0.5	0.6
無回答	108	4.4	—
全 体	2,434	100.0	100.0

問34 配偶者の方は、過去1年間で、病気・障害等に関する次のような経験がありますか

	件数	割合 n=2,434	割合 (除無回答) n=2,305
病気・障害等が原因で1週間以上入院していた	48	2.0	2.1
病気・障害等が原因で連続して1週間以上仕事を休んでいた	62	2.5	2.7
病気・障害等が原因で仕事をやめた	10	0.4	0.4
気分がひどく落ち込んでいた	142	5.8	6.2
なかなか眠れないことがあった	183	7.5	7.9
いずれも経験していない	1,862	76.5	80.8
わからない	106	4.4	4.6
無回答	129	5.3	—
全 体	2,542	—	—

問35 配偶者の方は、以下のような経験をしたことがありますか（複数回答）

	件数	割合 n=2,434	割合 (除無回答) n=2,289
両親が離婚した	168	6.9	7.3
成人する前に母親が亡くなった	29	1.2	1.3
成人する前に父親が亡くなった	68	2.8	3.0
成人する前の生活は経済的に困っていた	102	4.2	4.5
親から暴力を振るわれたことがある	51	2.1	2.2
親と疎遠になっている（なっていた）	90	3.7	3.9
親の介護が負担になっている（なっていた）	59	2.4	2.6
配偶者または元配偶者から暴力を振るわれたことがある	19	0.8	0.8
配偶者または元配偶者に暴力を振るったことがある	31	1.3	1.4
上記のいずれも経験したことがない	1,742	71.6	76.1
わからない	97	4.0	4.2
無回答	145	6.0	—
全 体	2,601	—	—

問36 配偶者の方の最終学歴は以下のうちどれですか

	件数	割合 n=2,434	割合 (除無回答) n=2,326
中学校卒業	36	1.5	1.5
高等学校中退	38	1.6	1.6
高等学校卒業	452	18.6	19.4
高専、短大、専門学校等中退	41	1.7	1.8
高専、短大、専門学校等卒業	485	19.9	20.9
大学中退	36	1.5	1.5
大学卒業	1,056	43.4	45.4
大学院中退	7	0.3	0.3
大学院修了	167	6.9	7.2
その他の教育機関中退	0	0.0	0.0
その他の教育機関卒業	4	0.2	0.2
その他	1	0.0	0.0
わからない	3	0.1	0.1
無回答	108	4.4	—
全 体	2,434	100.0	100.0

現在の暮らしの状況についておたずねします

問37 現在の住居の状況について教えてください

	件数	割合 n=2,657	割合 (除無回答) n=2,634
持家	1,929	72.6	73.2
市営・県営住宅	29	1.1	1.1
公社・公団(UR)の賃貸	74	2.8	2.8
社宅	132	5.0	5.0
借家	381	14.3	14.5
間借	37	1.4	1.4
その他	52	2.0	2.0
無回答	23	0.9	—
全 体	2,657	100.0	100.0

問38 あなたの世帯では、次のような借入金がありますか(複数回答)

	件数	割合 n=2,657	割合 (除無回答) n=2,636
住宅・土地の購入のための借入金(住宅ローン)	1,499	56.4	56.9
車の購入のための借入金	349	13.1	13.2
教育のための借入金(返済が必要な奨学金を含む)	267	10.0	10.1
親族や友人・知人からの借入金	95	3.6	3.6
母子福祉資金貸付金など自治体等からの借入金	11	0.4	0.4
その他の借入金	102	3.8	3.9
借入金はない	846	31.8	32.1
無回答	21	0.8	—
全 体	3,190	—	—

問39 過去1年間に、経済的な理由で家賃・住宅ローンの滞納、各種料金の未払い、債務の返済ができないことがありましたか

		なかった	あった	該当しない	無回答	全体	
件数	家賃・住宅ローンの滞納	1911	57	637	52	2,657	
	電気料金・ガス料金・水道料金の未払い	1995	101	521	40	2,657	
	電話料金の未払い	2016	68	529	44	2,657	
	その他の債務不履行	1,755	68	777	57	2,657	
割合	家賃・住宅ローンの滞納	n=2,657	71.9	2.1	24.0	2.0	100.0
	電気料金・ガス料金・水道料金の未払い	n=2,657	75.1	3.8	19.6	1.5	100.0
	電話料金の未払い	n=2,657	75.9	2.6	19.9	1.7	100.0
	その他の債務不履行	n=2,657	66.1	2.6	29.2	2.1	100.0
割合 (除非該当・無回答)	家賃・住宅ローンの滞納	n=1,968	97.1	2.9	—	—	100.0
	電気料金・ガス料金・水道料金の未払い	n=2,096	95.2	4.8	—	—	100.0
	電話料金の未払い	n=2,084	96.7	3.3	—	—	100.0
	その他の債務不履行	n=1,823	96.3	3.7	—	—	100.0

問40 過去1年間に、お金が足りなくて、必要とする食料が買えないことがありましたか (嗜好品は含みません)

	件数	割合 n=2,657	割合 (除無回答) n=2,647
よくあった	16	0.6	0.6
ときどきあった	105	4.0	4.0
ほとんどなかった	340	12.8	12.8
まったくなかった	2,186	82.3	82.6
無回答	10	0.4	—
全 体	2,657	100.0	100.0

問41 過去1年間に、お金が足りなくて、必要とする衣料が買えないことがありましたか (高価な衣服や貴金属・宝飾品は含みません)

	件数	割合 n=2,657	割合 (除無回答) n=2,652
よくあった	31	1.2	1.2
ときどきあった	142	5.3	5.4
ほとんどなかった	352	13.2	13.3
まったくなかった	2,127	80.1	80.2
無回答	5	0.2	—
全 体	2,657	100.0	100.0

問42 現在の暮らしの状況を総合的にみて、どう感じていますか

	件数	割合 n=2,657	割合 (除無回答) n=2,645
大変ゆとりがある	74	2.8	2.8
ややゆとりがある	506	19.0	19.1
普通	1,245	46.9	47.1
やや苦しい	666	25.1	25.2
大変苦しい	154	5.8	5.8
無回答	12	0.5	—
全 体	2,657	100.0	100.0

世帯の家計のこと等についておたずねします

問43 あなたの世帯の方で、昨年1年間（平成26年1月1日～12月31日）に同時に複数の仕事を掛け持ちした人はいますか（複数回答） ※宛名の0歳から24歳未満の方からみた続柄で回答してください

	件数	割合 n=2,657	割合 (除無回答) n=2,630
母親	104	3.9	4.0
父親	67	2.5	2.5
祖母	5	0.2	0.2
祖父	2	0.1	0.1
本人	12	0.5	0.5
兄弟姉妹	13	0.5	0.5
配偶者	0	0.0	0.0
その他	1	0.0	0.0
該当する人はいない	2,440	91.8	92.8
無回答	27	1.0	—
全 体	2,671	—	—

問44 あなたの世帯の方で、昨年1年間（平成26年1月1日～12月31日）に、深夜や早朝を勤務時間として仕事をしてきた人はいますか（複数回答） ※宛名の0歳から24歳未満の方からみた続柄で回答してください

	件数	割合 n=2,657	割合 (除無回答) n=2,631
母親	138	5.2	5.2
父親	457	17.2	17.4
祖母	2	0.1	0.1
祖父	3	0.1	0.1
本人	37	1.4	1.4
兄弟姉妹	45	1.7	1.7
配偶者	1	0.0	0.0
その他	0	0.0	0.0
該当する人はいない	1,999	75.2	76.0
無回答	26	1.0	—
全 体	2,708	—	—

問45 あなたの世帯では、昨年1年間（平成26年1月1日～12月31日）で、「働いて得た所得」はありましたか

※宛名の0歳から24歳未満の方からみた続柄で回答してください

	件数	割合 n=2,657	割合 (除無回答) n=2,598
母親が働いて得た所得	1,469	55.3	56.5
父親が働いて得た所得	2,231	84.0	85.9
祖母が働いて得た所得	26	1.0	1.0
祖父が働いて得た所得	23	0.9	0.9
本人が働いて得た所得	142	5.3	5.5
兄弟姉妹が働いて得た所得	195	7.3	7.5
配偶者が働いて得た所得	2	0.1	0.1
その他の方が働いて得た所得	19	0.7	0.7
平成26年1月1日～12月31日の期間、働いて得た所得はなかった	142	5.3	5.5
無回答	59	2.2	—
全 体	4,308	—	—

問46 あなたの世帯では、昨年1年間（平成26年1月1日～12月31日）で、次のような所得はありましたか

		あり	なし	無回答	全体	
件数	財産による所得	357	2193	107	2,657	
	公的年金・恩給による所得	173	2368	116	2,657	
	雇用保険による所得	167	2353	137	2,657	
	児童手当等による所得	1823	773	61	2,657	
	その他の社会保障給付金による所得	161	2363	133	2,657	
	仕送りによる所得	59	2470	128	2,657	
	企業年金・個人年金等による所得	55	2472	130	2,657	
	その他の所得	341	2,181	135	2,657	
割合	財産による所得	n=2,657	13.4	82.5	4.0	100.0
	公的年金・恩給による所得	n=2,657	6.5	89.1	4.4	100.0
	雇用保険による所得	n=2,657	6.3	88.6	5.2	100.0
	児童手当等による所得	n=2,657	68.6	29.1	2.3	100.0
	その他の社会保障給付金による所得	n=2,657	6.1	88.9	5.0	100.0
	仕送りによる所得	n=2,657	2.2	93.0	4.8	100.0
	企業年金・個人年金等による所得	n=2,657	2.1	93.0	4.9	100.0
	その他の所得	n=2,657	12.8	82.1	5.1	100.0
割合 (除無回答)	財産による所得	n=2,550	14.0	86.0	—	100.0
	公的年金・恩給による所得	n=2,541	6.8	93.2	—	100.0
	雇用保険による所得	n=2,520	6.6	93.4	—	100.0
	児童手当等による所得	n=2,596	70.2	29.8	—	100.0
	その他の社会保障給付金による所得	n=2,524	6.4	93.6	—	100.0
	仕送りによる所得	n=2,529	2.3	97.7	—	100.0
	企業年金・個人年金等による所得	n=2,527	2.2	97.8	—	100.0
	その他の所得	n=2,522	13.5	86.5	—	100.0

問47 あなたの世帯では、昨年1年間（平成26年1月1日～12月31日）で、次のような形での所得はありますか（複数回答）

	件数	割合 n=2,657	割合 (除無回答) n=2,574
親・親族からの仕送り	62	2.3	2.4
元配偶者からの養育費	51	1.9	2.0
遺族基礎年金・遺族厚生年金	41	1.5	1.6
生活保護	27	1.0	1.0
児童扶養手当	557	21.0	21.6
いずれも該当しない	1,900	71.5	73.8
無回答	83	3.1	—
全 体	2,721	—	—

問48 最も所得が多いものはどれですか

※宛名の0歳から24歳未満の方からみた続柄で回答してください

	件数	割合 n=2,657	割合 (除無回答) n=2,528
母親が働いて得た所得	216	8.1	8.5
父親が働いて得た所得	2,193	82.5	86.7
祖母が働いて得た所得	3	0.1	0.1
祖父が働いて得た所得	8	0.3	0.3
本人が働いて得た所得	13	0.5	0.5
兄弟姉妹が働いて得た所得	3	0.1	0.1
配偶者が働いて得た所得	2	0.1	0.1
その他の方が働いて得た所得	2	0.1	0.1
財産による所得	10	0.4	0.4
公的年金・恩給による所得	19	0.7	0.8
雇用保険による所得	1	0.0	0.0
児童手当等による所得	17	0.6	0.7
その他の社会保障給付金による所得	17	0.6	0.7
仕送りによる所得	11	0.4	0.4
企業年金・個人年金等による所得	7	0.3	0.3
その他の所得	6	0.2	0.2
無回答	129	4.9	—
全 体	2,657	100.0	100.0

問49 あなたの世帯の昨年1年間（平成26年1月1日～12月31日）の所得の合計（税込み）はいくらですか

	件数	割合	
		n=2, 657	割合 (除無回答) n=2, 348
100万円未満	22	0.8	0.9
100万円～300万円未満	114	4.3	4.9
300万円～500万円未満	261	9.8	11.1
500万円～700万円未満	493	18.6	21.0
700万円～1000万円未満	692	26.0	29.5
1000万円～2000万円未満	710	26.7	30.2
2000万円以上	56	2.1	2.4
無回答	309	11.6	—
全 体	2, 657	100.0	100.0

問50 あなたの世帯の昨年1年間（平成26年1月1日～12月31日）の可処分所得がおおよそどのくらいか教えてください

	件数	割合	
		n=2, 122	割合 (除無回答) n=2, 122
分類1（貧困線以下）	50	2.4	2.4
分類2（貧困線以下）	103	4.9	4.9
分類3	226	10.7	10.7
分類4	323	15.2	15.2
分類5	424	20.0	20.0
分類6	996	46.9	46.9
無回答	0	0.0	—
全 体	2, 122	100.0	100.0

実態把握のための調査実施結果報告書
(市民アンケート)

平成 27 年 12 月

発 行 : 横浜市こども青少年局企画調整課
〒231-0017
横浜市中区港町 1-1
電 話 045-671-4281
F A X 045-663-8061
調 査 分 析 : 株式会社浜銀総合研究所